

# 米に関するマンスリーレポート

(平成29年2月号)



## 【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

## 【利用上の注意】

1. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
2. 本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあり得ます。

**農林水産省**

国産の消費拡大に向けた国民運動



フード・アクション・ニッポンが、お米の生産者と共に、  
2/15-17 スーパーマーケット・トレードショーに出展！

# ISMITS 2017

SUPERMARKET TRADE SHOW  
スーパーマーケット・トレードショー

会期 2017年2月15日(水)16日(木)17日(金)  
10:00-17:00 (最終日は16:00まで)

会場 幕張メッセ(全館)



フード・アクション・ニッポンは、事業者支援の一環として、2017.2.15(水)～17(金)に幕張メッセにて開催される「スーパーマーケット・トレードショー」に、フード・アクション・ニッポンの推進パートナーである、お米の生産者と共同出展いたします。

「スーパーマーケットトレードショー」は、一般社団法人新日本スーパーマーケット協会が主催し、スーパーマーケットを中心とする流通業界に、最新情報を発信する商談展示会です。今回から会場が幕張メッセに変更となり、約2000社・3300小間の規模で開催されます。展示内容のカテゴリーごとにゾーニング分けされたレイアウトの展開や、来場バイヤーが休憩や情報整理を目的に利用できるラウンジなど、来場者が商談しやすい工夫がされています。

フード・アクション・ニッポンのブースでは、それぞれのお米・米加工品の魅力を通して、国産農林水産物の消費拡大に向けたPRを行います。ぜひ、ブースにご来場ください！

ブース位置：9ホール 9-510

共同出展社

- 2月15日(水) ①大潟村カントリーエレベーター公社②蓬田③信州ファーム荻原④六星⑤千姓⑥平藤台共同生産組合 ⑦農事組合法人多良木のびる
- 2月16日(木) ①金井農園②信州ファーム荻原③新篠津村クリーンあやひめ生産組合④農事組合法人多良木のびる⑤千姓⑥蓬田⑦大潟村カントリーエレベーター公社
- 2月17日(金) ①花里農場②太陽と大地③アグリフォレスターコバヤシ④金井農園⑤東ファーム⑥新篠津村クリーンあやひめ生産組合 ⑦農事組合法人多良木のびる



事前来場登録はコチラから

<https://www.foodtable.jp/Visitor/Registration/jp>

# 目次

- 今月の特集① 業務用向け販売量について  
今月の特集② 産地別の事前契約及び複数年契約数量の状況  
今月の特集③ 酒造好適米の需要量調査結果（変更）の状況

## I 米の需給・契約・販売

- 1 主食用米等の需給見通し（米の基本指針（平成28年11月28日））
  - (1) 平成27/28年の需要実績（確定値） . . . . . 1
  - (2) 平成28/29年及び平成29/30年の需要見通し（推計値） . . . . . 1
  - (3) 平成28/29年及び平成29/30年の主食用米等の需給見通し . . . . . 2
  - (4) 民間流通における6月末在庫量の推移 . . . . . 3
- 2 米の契約・販売
  - (1) 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入札の結果 . . . . . 7
  - (2) 平成28年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成28年12月末現在） . . . . . 8
  - (3) 産地別事前契約数量 . . . . . 11

## II 米の在庫情報

- (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成22年7月末～平成28年12月末）（速報） . . . 13
- (2) 産地別民間在庫の状況（前年同月比） . . . . . 15
- (3) 平成27・28年産の産地別民間在庫の推移  
（うるち米、平成28年7月末から平成29年6月末）（速報） . . . . . 17

## III 米の価格情報

- 1 相対取引価格・数量
  - (1) 相対取引価格（年産別） . . . . . 25
  - (2) 価格帯別分析結果（平成28年12月） . . . . . 26
  - (3) 相対取引価格・数量（平成28年産米、産地品種銘柄別、平成28年12月分） . . . . . 27
  - (4) スポット価格の状況 . . . . . 30
- 2 米の先物取引価格の推移 . . . . . 31
- 3 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成29年1月分） . . . . . 32

## IV 主食用米以外（輸出を含む）

- 1 28年産米の作付状況
  - (1) 28年産米の用途別作付面積及び生産量 . . . . . 34
  - (2) 主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率） . . . . . 34
  - (3) 新規需要米の用途別認定状況 . . . . . 34
- 2 加工用米及び新規需要米の取組状況概要 . . . . . 35
- 3 主食用米（生産数量目標の枠内）のうち加工原材料用向け販売数量  
及び加工用米生産量の状況 . . . . . 36
- 4 飼料用米の需要量 . . . . . 37
- 5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について . . . . . 39
- 6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について . . . . . 40

## V 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金 . . . . . 41
- (2) 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策） . . . . . 45
- (3) 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策） . . . . . 47
- (4) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業 . . . . . 49

## VI 消費動向

- (1) 米の消費動向（米穀機構による調査） . . . . . 51
- (2) 購入数量の推移（家計調査） . . . . . 52
- (3) 消費者物価指数の推移 . . . . . 53
- (4) 小売物価統計の推移 . . . . . 54
- (5) 小売価格の推移（POSデータ） . . . . . 55

## VII MA米（一般・SBS）の動向

- (1) MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別） . . . . . 56
- (2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成28年度） . . . . . 57
- (3) SBS輸入米の見積合わせ結果（平成28年度） . . . . . 57

## VIII その他

- (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果 . . . . . 58
- (2) 平成28年産水稻の作付面積及び収穫量 . . . . . 59



## 【業務用向け販売量について】

主食用米の消費量の約3割を占める業務用米の実態を把握するため、平成27年7月から平成28年6月までの1年間において、年間玄米取扱量4,000トン以上の販売事業者が、精米販売を行った数量（約340万トン）のうち、中食・外食等の業務用向けに販売した数量（産地品種銘柄別）について、調査を実施。  
（調査対象業者234社 回収率94%）

－ 本調査にご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。－

### <当データを見る上での留意事項>

- ▶ 年間玄米取扱量4,000トン以上の販売事業者が、業務用向けに精米販売した数量であり、小売店等に精米販売し、その後、業務用に仕向けられたものは含まれていない。
- ▶ 業務用向けの販売先は、コンビニエンスストア、スーパー、弁当屋、給食事業等の中食事業者及び牛丼、回転寿司等のファーストフード店、ファミリーレストラン、ホテル等宿泊施設等の外食事業者である。
- ▶ 業務用向けには、主に米卸売業者から供給されるが、家庭内食向けには、米卸売業者経由の他に農家直売や縁故米等からも供給されるため、米卸売業者からの供給量のみで作成した当データは、業務用向けの割合が高く出る傾向がある。

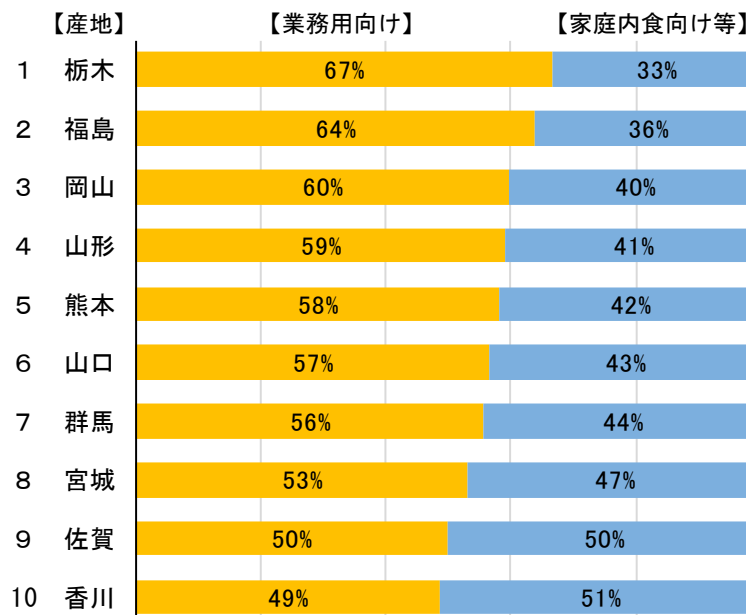
### 1 県産米に占める販売先割合（業務用向けの販売割合が高い上位10県）

- ・ 年間玄米取扱量4,000トン以上の販売事業者が精米販売を行った数量のうち、約4割が業務用向けに販売されている。
- ・ 栃木、福島、岡山では6割以上が業務用向けに販売されている。



注：家庭内食向け等とは、精米販売量全体から業務用向け販売量を差し引いたものである。

### 業務用向けの販売割合が高い上位10県



## 2 県産米に占める販売先割合（全体版・産地品種銘柄別内訳）

（平成27年産主食用米生産量5万トン以上の産地）

産地	業務用向け(産地品種銘柄別内訳)					家庭内食向け等
北海道	27%	ななつぼし 12%	きらら397 7%	その他 8%		73%
青森	41%	まっしぐら 31%	つがるロマン 10%	その他 0%		59%
岩手	37%	ひとめぼれ 34%	その他 4%			63%
宮城	53%	ひとめぼれ 49%	その他 4%			47%
秋田	22%	あきたこまち 12%	ひとめぼれ 4%	その他 5%		78%
山形	59%	はえぬき 51%	ひとめぼれ 4%	その他 4%		41%
福島	64%	コシヒカリ 44%	ひとめぼれ 12%	天のつぶ 3%	その他 4%	36%
茨城	44%	コシヒカリ 36%	その他 7%			56%
栃木	67%	コシヒカリ 51%	あさひの夢 10%	その他 5%		33%
群馬	56%	あさひの夢 42%	ゆめまつり 9%	その他 5%		44%
埼玉	40%	彩のかがやき 13%	彩のきずな 10%	コシヒカリ 10%	その他 7%	60%
千葉	28%	ふさこがね 12%	コシヒカリ 10%	ふさおとめ 4%	その他 2%	72%
新潟	20%	コシヒカリ 14%	こしいぶき 5%	その他 1%		80%
富山	27%	コシヒカリ 21%	てんたかく 4%	その他 2%		73%
石川	39%	コシヒカリ 21%	ゆめみづほ 14%	その他 5%		61%
福井	27%	コシヒカリ 13%	ハナエチゼン 5%	その他 9%		73%
長野	38%	コシヒカリ 32%	あきたこまち 5%	その他 1%		62%
岐阜	36%	ハツシモ 23%	その他 14%			64%
静岡	12%	コシヒカリ 5%	その他 7%			88%
愛知	25%	あいちのかおり 17%	コシヒカリ 4%	その他 4%		75%

産地	業務用向け(産地品種銘柄別内訳)					家庭内食向け等
三重	22%	コシヒカリ 10%	その他 12%			78%
滋賀	36%	キヌヒカリ 11%	日本晴 7%	コシヒカリ 7%	その他 10%	64%
京都	34%	コシヒカリ 24%	キヌヒカリ 8%	その他 2%		66%
兵庫	15%	コシヒカリ 6%	キヌヒカリ 4%	その他 6%		85%
鳥取	31%	きぬむすめ 15%	ひとめぼれ 9%	コシヒカリ 7%	その他 0%	69%
島根	34%	コシヒカリ 19%	きぬむすめ 11%	その他 4%		66%
岡山	60%	アケボノ 31%	ヒノヒカリ 6%	その他 23%		40%
広島	42%	コシヒカリ 18%	あきろまん 5%	ヒノヒカリ 5%	その他 14%	58%
山口	57%	コシヒカリ 16%	ひとめぼれ 15%	ヒノヒカリ 14%	その他 12%	43%
徳島	26%	キヌヒカリ 14%	コシヒカリ 9%	その他 3%		74%
香川	49%	ヒノヒカリ 35%	その他 14%			51%
愛媛	15%	ヒノヒカリ 4%	その他 10%			85%
高知	11%	コシヒカリ 9%	その他 2%			89%
福岡	34%	ヒノヒカリ 14%	元気つくし 9%	夢つくし 7%	その他 4%	66%
佐賀	50%	ヒノヒカリ 21%	さがびより 16%	夢しずく 10%	その他 2%	50%
長崎	12%	にこまる 4%	ヒノヒカリ 3%	その他 5%		88%
熊本	58%	ヒノヒカリ 14%	森のくまん 8%	コシヒカリ 5%	その他 32%	42%
大分	33%	ヒノヒカリ 23%	その他 10%			67%
宮崎	12%	ヒノヒカリ 6%	コシヒカリ 3%	その他 3%		88%
鹿児島	21%	ヒノヒカリ 12%	あきほなみ 7%	その他 2%		79%

注：業務用向けの販売先は、コンビニエンスストア、スーパー、弁当屋、給食事業等の中食事業者及び牛丼、回転寿司等のファーストフード店、ファミリーレストラン、ホテル等宿泊施設等の外食事業者である。

### 3 全国の業務用向け販売量に占める産地品種銘柄別割合(上位20産地品種銘柄)

- 北海道、東北など主産地の米が上位を占めており、とりわけ「山形はえぬき」、「宮城ひとめぼれ」、「栃木コシヒカリ」の3銘柄で業務用向け販売量全体の約25%を占めている。

	産地	品種銘柄	業務用販売量全体に占める割合(※)
1	山形	はえぬき	9%
2	宮城	ひとめぼれ	9%
3	栃木	コシヒカリ	7%
4	福島	コシヒカリ	5%
5	茨城	コシヒカリ	4%
6	北海道	ななつぼし	4%
7	青森	まっしぐら	4%
8	岩手	ひとめぼれ	4%
9	秋田	あきたこまち	3%
10	北海道	きらら397	2%

	産地	品種銘柄	業務用販売量全体に占める割合(※)
11	新潟	コシヒカリ	2%
12	栃木	あさひの夢	1%
13	富山	コシヒカリ	1%
14	長野	コシヒカリ	1%
15	福島	ひとめぼれ	1%
16	青森	つがるロマン	1%
17	千葉	ふさこがね	1%
18	秋田	ひとめぼれ	1%
19	石川	コシヒカリ	1%
20	千葉	コシヒカリ	1%

※ 業務用販売量全体に占める割合とは、各産地品種銘柄ごとの業務用向け販売量を、全国の業務用向け販売量で除したものである。

### 4 価格帯別販売量

- 業務用向けに販売された産地品種銘柄ごとに、平成27年産米の相対取引価格(年産平均)を用いて、価格帯別の販売量をみると、15,000円/60kg以上の高価格帯銘柄も販売されているが、13,000円/60kg未満の銘柄が約8割販売されており、低価格帯での取引が大宗を占めている。

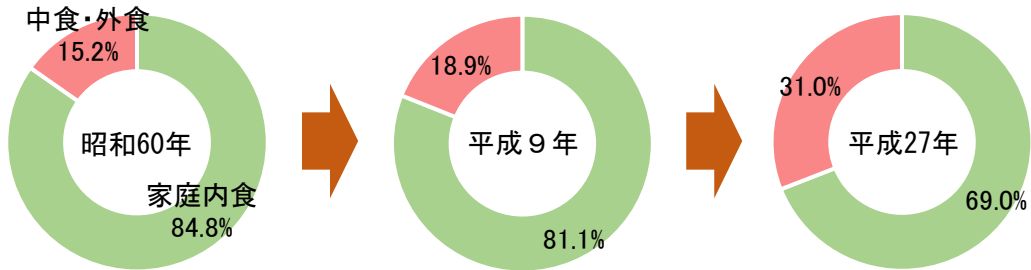
価格帯(税込み)	業務用販売量全体に占める割合
15,000円/60kg以上	5%
14,000円/60kg以上15,000円/60kg未満	4%
13,000円/60kg以上14,000円/60kg未満	13%
12,000円/60kg以上13,000円/60kg未満	62%
12,000円/60kg未満	16%

27年産全銘柄平均価格  
13,175円/60kg(税込)

### 参考1 業務用の需要動向

- ・ 中食・外食等の業務用需要は、今後も堅調な需要が期待される。

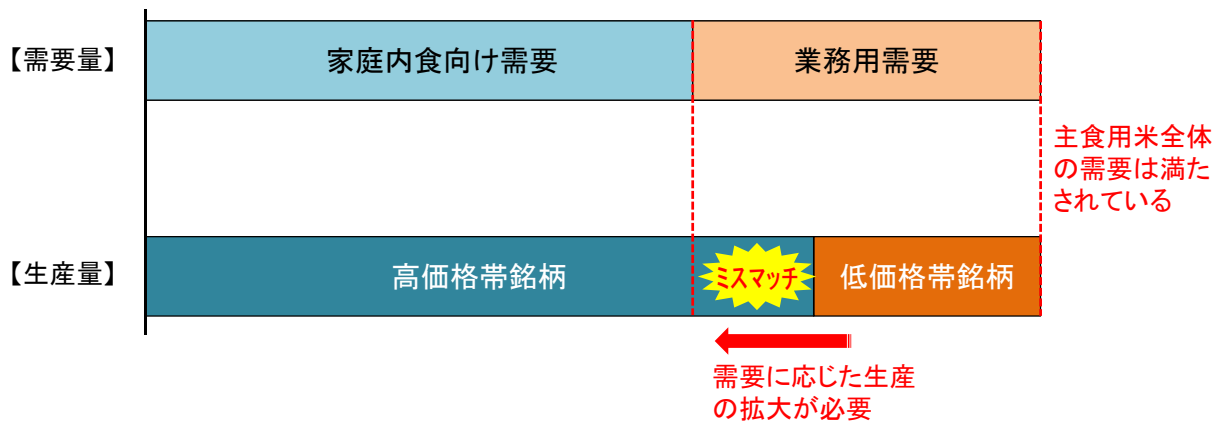
【米の消費における家庭内及び中・外食の占める割合】



資料：農林水産省「米の1人1ヶ月当たり消費量」及び米穀機構「米の消費動向調査」

### 参考2 主食用米の需要に応じた生産

- ・ 主食用米全体の需要は満たされているが、中食・外食等の実需者が求める銘柄や価格帯と実際に生産される銘柄の間にミスマッチが生じており、この状況を放置すると、国産米の需要減少が加速する恐れ。
- ・ 中食・外食等の実需者と産地との間で、実需サイドが求める銘柄や価格帯を踏まえて、複数年契約・事前契約などの安定取引を拡大していくことが重要。



現在、中食・外食事業者に対し、平成29年産米の使用希望数量等について、アンケートをお願いしているところであり、その結果につきましては、平成29年3月発行のマンスリーレポートで公表させていただく予定です。

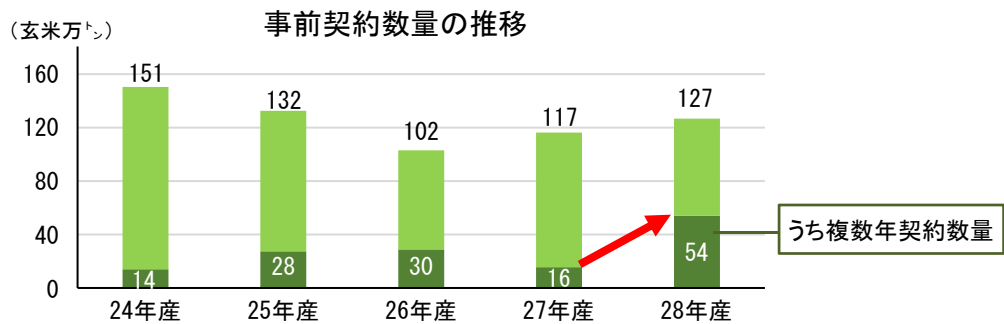
# 今の特集

## 【産地別の事前契約及び複数年契約数量の状況】

は種前契約、複数年契約などの事前契約は、作付前に販売数量の見通しが立つとともに、経営の安定及び価格変動幅を一定に収めることができること等から、需要に応じた生産に向け拡大させる必要があります。

### 1 事前契約及び複数年契約数量の推移

- 事前契約数量は、平成26年産において100万トまで減少したが、その後増加し、平成28年産では前年より10.8万ト増加の127万トとなっている。
- 平成28年産の複数年契約数量については、各産地の推進により、前年より38.3万ト増加し、54.5万トと大幅に増加。



### 2 平成28年産米の事前契約及び複数年契約の産地別取組状況

- 東北を中心に複数年契約に取り組む産地が増加しているが、平成28年産において複数年契約比率が最も高い産地は「岩手県」、次いで「滋賀県」、「宮城県」の順。
- この上位3県においては、集荷量の50%を超える複数年契約が行われているところ。

平成28年産の複数年契約比率 (比率が高い方から並び替え)

順位	産地	集荷数量 ①	うち事前契約	事前契約	うち複数年	複数年	産地	集荷数量 ①	うち事前契約	事前契約	うち複数年	複数年	
			②	比率 ②/①		契約分 ③			契約比率 ③/①	②		比率 ②/①	契約分 ③
1	岩手	135.7	91.1	67%	84.7	62%	10	北海道	333.5	170.5	51%	44.3	13%
2	滋賀	58.4	46.8	80%	36.0	62%	11	福井	63.0	6.8	11%	6.8	11%
3	宮城	151.7	112.0	74%	84.5	56%	12	京都	12.6	8.7	69%	1.0	8%
4	栃木	139.5	60.3	43%	49.5	35%	13	広島	33.2	27.0	81%	2.0	6%
5	長野	71.2	26.3	37%	23.7	33%	14	石川	32.9	20.1	61%	1.6	5%
6	新潟	281.4	141.2	50%	89.0	32%	15	山口	30.9	24.3	79%	0.7	2%
7	青森	137.4	52.6	38%	33.9	25%	16	島根	37.0	31.9	86%	0.8	2%
8	秋田	236.6	84.4	36%	57.0	24%	17	千葉	76.0	33.5	44%	1.6	2%
9	福島	155.1	51.7	33%	26.1	17%	18	山形	193.5	48.4	25%	1.5	1%

注1：集荷数量は、平成28年12月末現在の数値。 注2：順位が19位以降は複数年契約が行われていない産地。

### 3 平成28年産米の複数年契約の取組がない理由等

- 18道府県の産地において、複数年契約が行われている一方、27県で複数年契約が行われていない状況。
- 複数年契約の取組を行っていない産地においては、
  - 安定した集荷を見通すことが難しい (安定供給できない)
  - 作況が不安定であるため価格提案が難しい (価格が不安定)
  - 複数年契約を行わなくても売り切れること (口頭などにより結びついている) 等の理由による。



## 4 産地別事前契約及び複数年契約の状況

(玄米千トン)

産地	平成27年産					平成28年産(平成28年12月末現在)				
	集荷数量 ①	うち事前契約 ②	事前契約比率 ②/①	うち複数年契約 ③	複数年契約比率 ③/①	集荷数量 ④	うち事前契約 ⑤	事前契約比率 ⑤/④	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率 ⑥/④
北海道	398.3	150.0	38%	75.1	19%	333.5	170.5	51%	44.3	13%
青森	148.1	45.8	31%	5.0	3%	137.4	52.6	38%	33.9	25%
岩手	156.0	70.9	45%	26.1	17%	135.7	91.1	67%	84.7	62%
宮城	181.4	108.6	60%	20.2	11%	151.7	112.0	74%	84.5	56%
秋田	277.8	80.1	29%	1.7	1%	236.6	84.4	36%	57.0	24%
山形	215.6	55.3	26%	-	-	193.5	48.4	25%	1.5	1%
福島	137.7	32.0	23%	-	-	155.1	51.7	33%	26.1	17%
茨城	81.5	46.6	57%	-	-	66.5	37.1	56%	-	※
栃木	142.0	61.2	43%	-	-	139.5	60.3	43%	49.5	35%
群馬	18.9	-	-	-	-	18.5	-	-	-	※
埼玉	21.8	5.8	27%	-	-	20.4	8.2	40%	-	※
千葉	95.5	41.3	43%	-	-	76.0	33.5	44%	1.6	2%
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※
神奈川	2.7	-	-	-	-	2.9	-	-	-	※
山梨	6.0	-	-	-	-	6.2	-	-	-	※
長野	69.1	21.5	31%	9.4	14%	71.2	26.3	37%	23.7	33%
静岡	9.6	-	-	-	-	9.4	-	-	-	※
新潟	258.1	144.7	56%	14.5	6%	281.4	141.2	50%	89.0	32%
富山	106.5	29.5	28%	-	-	108.1	43.7	40%	-	※
石川	33.2	14.0	42%	2.1	6%	32.9	20.1	61%	1.6	5%
福井	65.3	7.3	11%	7.3	11%	63.0	6.8	11%	6.8	11%
岐阜	28.8	9.5	33%	-	-	27.2	12.0	44%	-	※
愛知	35.8	10.6	30%	-	-	36.4	15.1	41%	-	※
三重	31.3	16.5	53%	-	-	31.4	17.8	57%	-	※
滋賀	63.8	38.3	60%	-	-	58.4	46.8	80%	36.0	62%
京都	13.8	6.1	44%	0.3	2%	12.6	8.7	69%	1.0	8%
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※
兵庫	42.9	-	-	-	-	44.8	-	-	-	※
奈良	10.0	-	-	-	-	9.2	-	-	-	※
和歌山	1.8	1.5	86%	-	-	2.1	1.7	83%	-	※
鳥取	22.1	5.7	26%	-	-	11.6	6.1	52%	-	※
島根	37.9	18.7	49%	-	-	37.0	31.9	86%	0.8	2%
岡山	20.4	-	-	-	-	9.2	-	-	-	※
広島	33.8	20.4	60%	-	-	33.2	27.0	81%	2.0	6%
山口	34.6	22.9	66%	-	-	30.9	24.3	79%	0.7	2%
徳島	5.3	-	-	-	-	6.1	-	-	-	※
香川	25.2	12.2	48%	-	-	25.4	12.9	51%	-	※
愛媛	13.8	-	-	-	-	11.1	-	-	-	※
高知	6.0	1.2	20%	-	-	6.5	1.1	18%	-	※
福岡	55.0	27.3	50%	-	-	41.5	30.3	73%	-	※
佐賀	45.6	23.9	53%	-	-	38.4	25.2	66%	-	※
長崎	12.3	-	-	-	-	9.4	-	-	-	※
熊本	39.5	21.3	54%	-	-	31.5	15.0	48%	-	※
大分	15.5	1.1	7%	-	-	13.1	1.1	8%	-	※
宮崎	15.2	13.2	86%	-	-	14.5	8.4	58%	-	※
鹿児島	14.5	-	-	-	-	12.7	-	-	-	※
沖縄	1.6	-	-	-	-	1.6	-	-	-	※
全国	3,096	1,165	38%	162	5%	2,827	1,273	45%	545	19%

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 平成27年産は生産年の翌年10月末時点、28年産は当年12月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、3の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

7 「-」は、集荷数量や事前契約等に該当がないもの。

8 欄外の「※」は、平成28年産に複数年契約の取組がない産地である。

# 今月の特集

## 【平成29年酒造好適米の需給見通し】

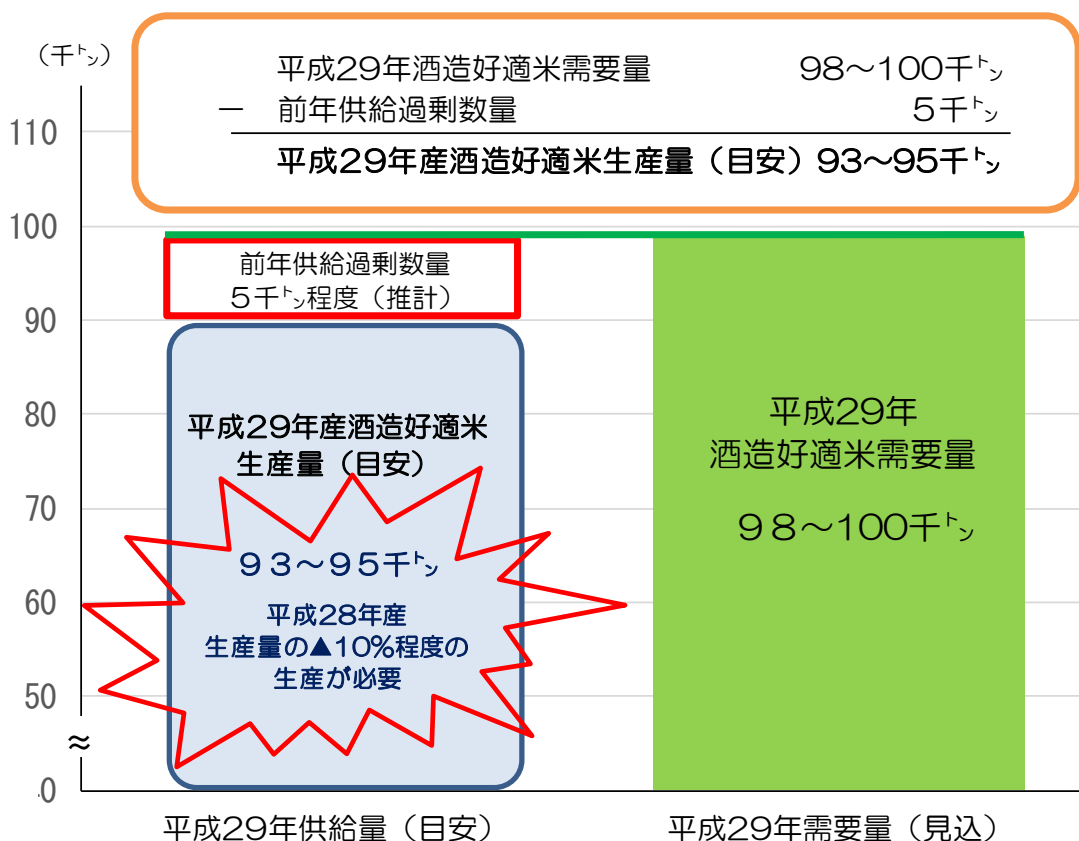
(酒造好適米の需要量調査結果等に基づく推計)

昨年11月に実施した需要量調査(変更報告)、農産物検査数量及び関係者からの聞き取り等により推計した平成29年酒造好適米の需給状況は以下のとおり。

### 【平成29年酒造好適米の需給状況】

- ・ 平成29年需要量は、平成28年より2千ト、多い98~100千ト程度と見込まれる。
- ・ 平成28年の供給過剰数量約5千ト程度が平成29年に持ち越される見込みであることから、平成29年産の作付けは、平成29年需要量から当該持越分を差し引いた93~95千ト程度までの生産とすると必要があると考えられる。

### 平成29年酒造好適米の需給状況



### 酒造好適米の需要に応じた生産に向けて

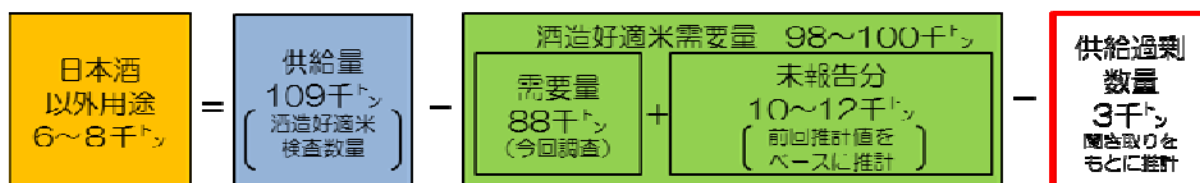
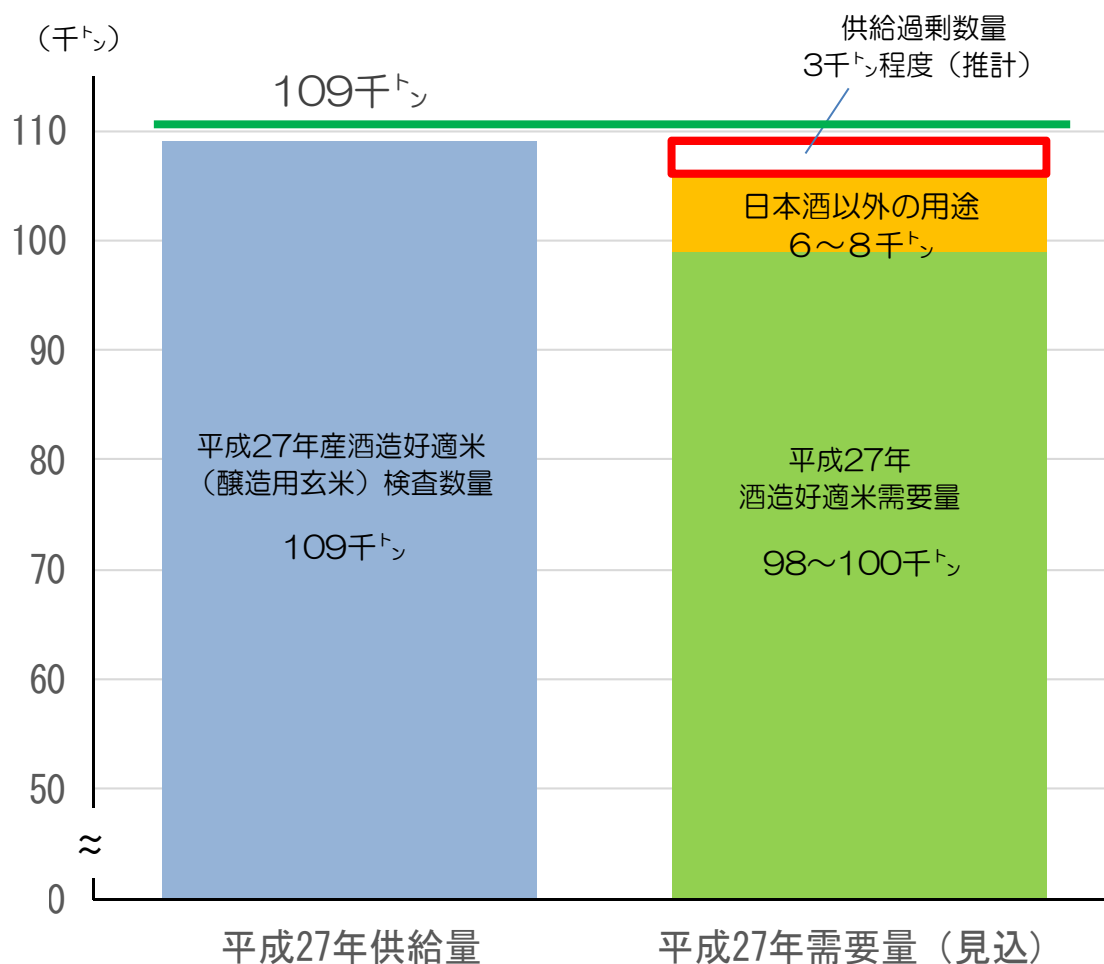
- ・ 酒造好適米の供給過剰分の縮減を図るため、販売価格を引き下げるなどして、「かけ米」や日本酒以外の用途向けに販売すると、生産者の経営を不安定とするなど、安定生産・安定供給に支障を来すおそれがあります。
- ・ したがって、平成29年産の酒造好適米の作付けに当たっては、持越在庫やこれまでの販売状況などを総合的に勘案の上、特定名称酒の原料や麴米としての需要に応じた生産量を確保できるよう生産する必要があると考えられます。
- ・ また、よりの確な需要に応じた生産に資するためには、は種前に生産者と需要者が契約を行うことや複数年契約の取組の拡大を推進する必要があります。

## 【平成27、28年酒造好適米の需給状況】

### 【平成27年酒造好適米の需給状況】

- ・ 平成27年産生産量は、平成26年産より19千ト、多い109千トへと大幅に増加。
- ・ 平成27年需要量は、98～100千ト程度と見込まれる。
- ・ 平成27年酒造好適米の供給過剰が見込まれたため、産地においては、販売価格を引き下げて、かけ米の代替や日本酒以外の用途向けに販売したものの、3千ト程度が供給過剰として平成28年に持ち越されているものと見込まれる。

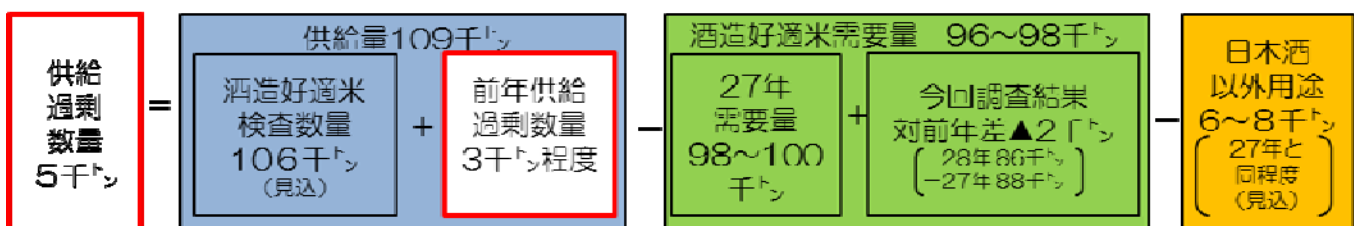
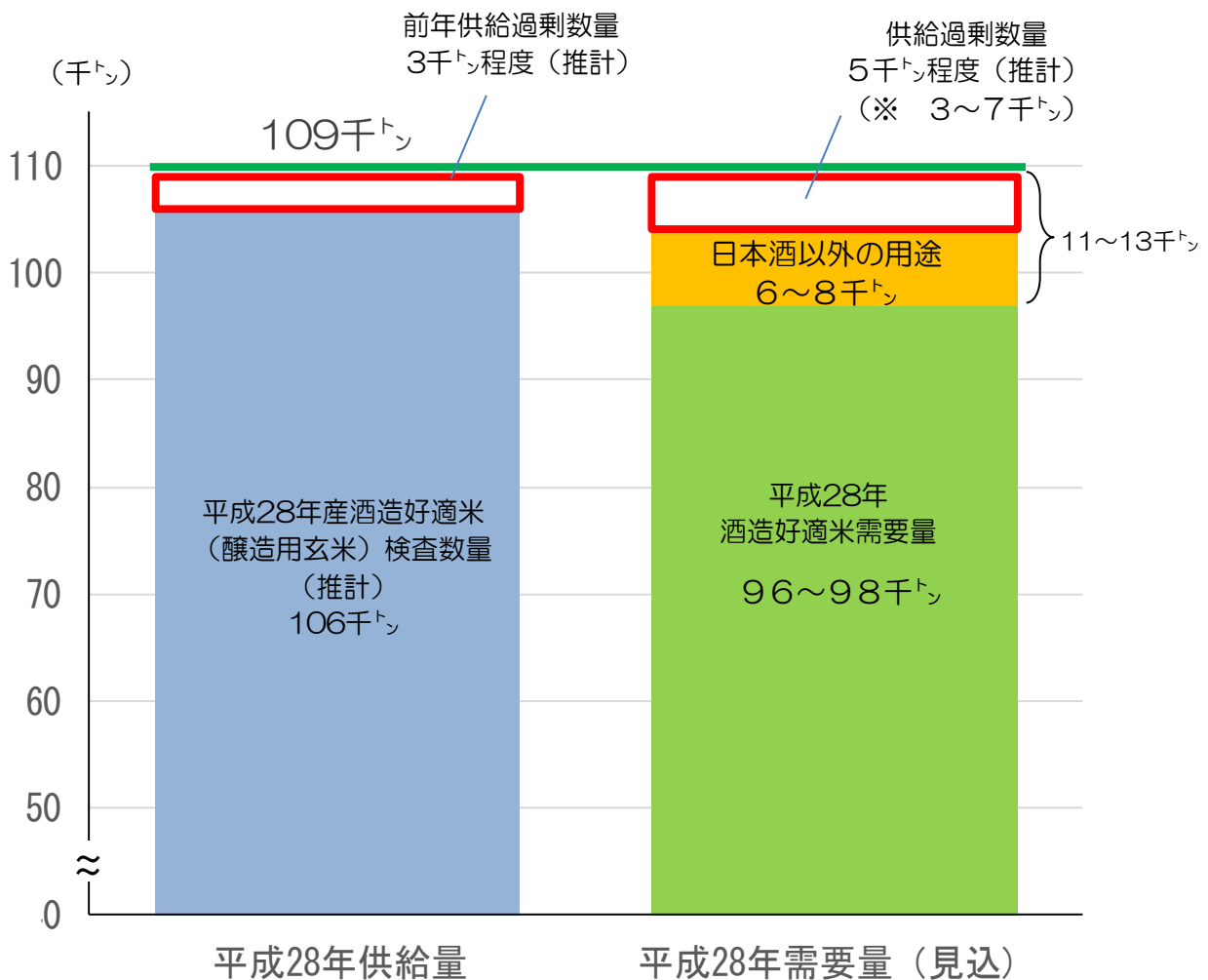
平成27年酒造好適米の需給状況



## 【28年酒造好適米の需給状況】

- ・ 平成28年産生産量は、約106千ト程度と見込まれるが、平成27年から供給過剰数量約3千ト程度が持ち越される見込みであることから、合計109千ト程度が当面1年間に供給される見込み。
- ・ 平成28年需要量は、平成27年より2千ト少ない96~98千ト程度と見込まれる。
- ・ 供給過剰数量が約11~13千ト程度発生すると見込まれる中、仮に平成27年と同程度の6~8千トが日本酒以外の用途に販売されるとした場合、現時点では、平成27年より約2千ト程度多い約5千ト程度が供給過剰として平成29年に持ち越される見込み。

平成28年酒造好適米の需給状況





## 酒造好適米の需要量調査結果（変更報告）の概要

- ・ 前回実施した調査以降、日本酒の製造計画の変更などによる直近の需要量（見込）を把握するため、昨年11月に改めて需要量調査（変更報告）を実施。

### ○ 調査概要（前回調査との比較）

	前回調査	今回調査
調査期間	平成28年7月～9月	平成28年11月～12月
調査対象メーカー数	全酒造メーカー 1,500社	前回調査回答酒造メーカー 955社
回答酒造メーカー数	955社	157社

（酒造メーカー955社の需要量（平成27年）の農産物検査数量に対するカバー率は81%）

## 酒造好適米の需要量調査結果

（回答のあったものの合計）

### 平成27年

平成27年は、一部の酒造メーカーにおいて、「かけ米」用等として、当初の購入計画以上に酒造好適米を購入したため、前回調査より約1千トンの多い88千トンとなった。

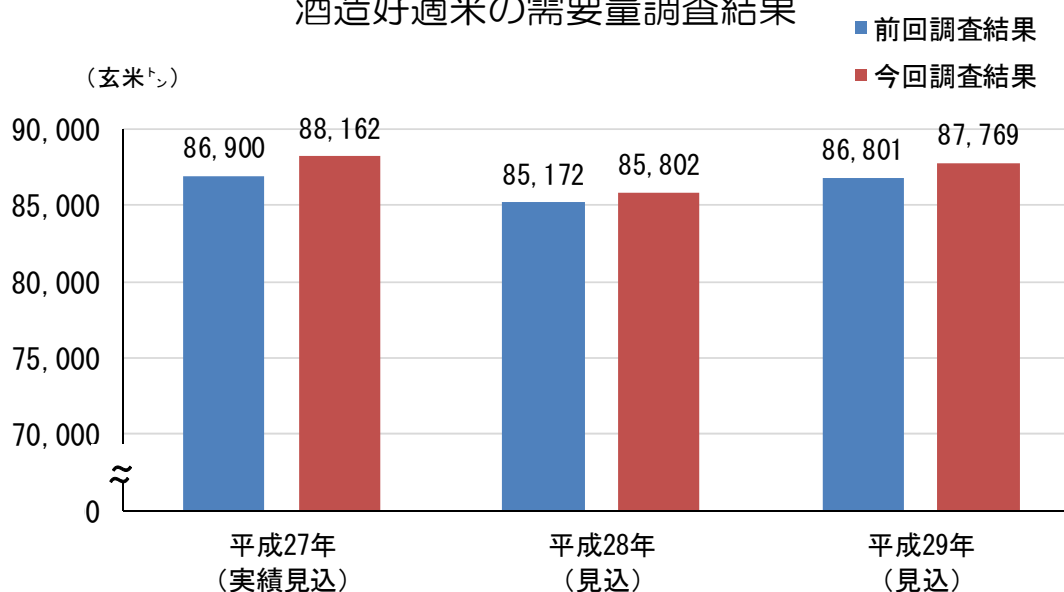
### 平成28年

平成28年は、平成27年と同様、「かけ米」用等として、当初の購入計画以上の購入を行った酒造メーカーがあったため、前回調査より約1千トンの多い86千トンと見込まれる。（平成27年比▲約2千トン）

### 平成29年

平成29年は、一部の酒造メーカーにおいて、製造計画の変更に伴い、需要量が増加したため、前回報告より約1千トンの多い88千トンと見込まれる。（平成28年比+約2千トン）

## 酒造好適米の需要量調査結果



以上のほか、詳細な情報は、以下URLにより「日本酒原料米をとりまく状況及び酒造好適米の需要量調査結果の概要」を参照ください。

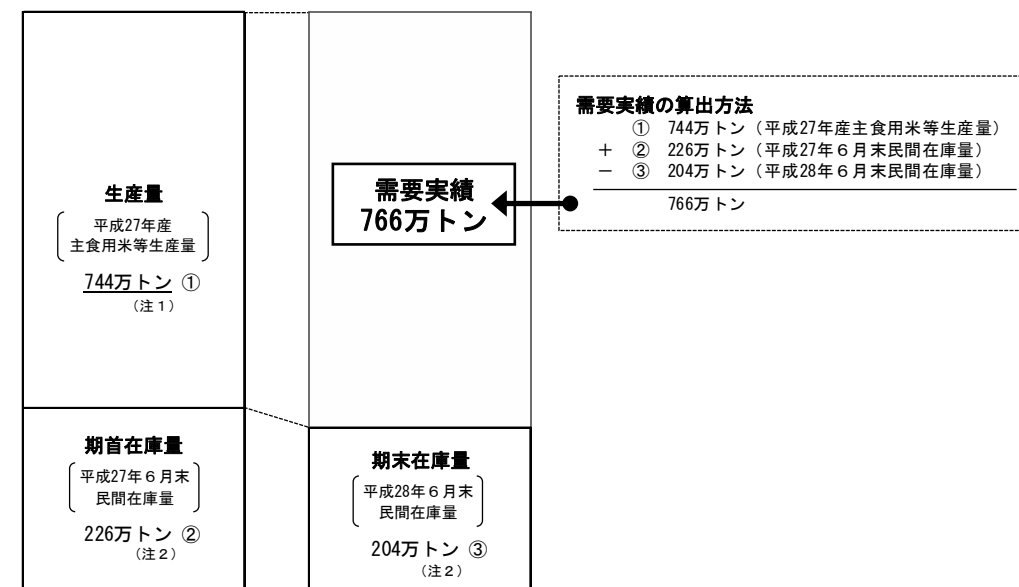
URL : [http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/kome\\_torihiki/seisyu01.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/kome_torihiki/seisyu01.html)

# I 米の需給・契約・販売

## 1 主食用米等の需給見通し（米の基本指針(平成28年11月28日)）

### (1) 平成27/28年の需要実績（確定値）

- 平成27/28年（平成27年7月から平成28年6月までの1年間）の需要実績（確定値）は、766万トンとなった。

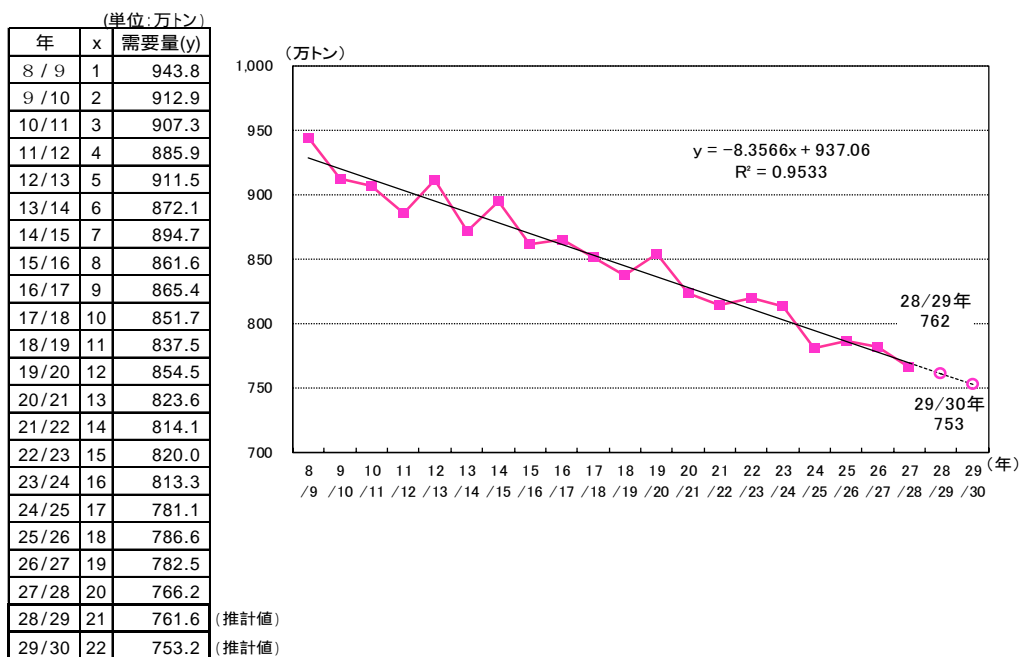


注1：主食用米等生産量は、平成27年産米の水稲収穫量（主食用）（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）。

注2：6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものである。

### (2) 平成28/29年及び平成29/30年の需要見通し（推計値）

- 需要量について平成8/9年から平成27/28年までの需要実績を用いてトレンドで算出すると、平成28/29年は762万トン、平成29/30年は753万トンと見通される。



### (3) 平成28/29年及び平成29/30年の主食用米等の需給見通し

#### 平成28/29年の主食用米等の需給見通し

- 「平成28/29年の主食用米等の需給見通し」については、以下のとおり。

平成28年6月末民間在庫量（実績）	204万トン	①
平成28年産主食用米等生産量（実績）	750万トン	②
平成28/29年主食用米等需要量（見通し）	754万トン ※	③
平成29年6月末民間在庫量（見通し）	200万トン	④=①+②-③

※ 平成28/29年については、相対取引価格が上昇傾向にあることから、需要量に及ぼす影響を踏まえ、トレンドにより算出した762万トンから8万トン低い754万トンと見通す。

#### 平成29/30年の主食用米等の需給見通し

- 「平成29/30年の主食用米等の需給見通し」については、表のとおり。

			(単位：万トン)	
平成29年6月末民間在庫量	A	200	200	
平成29年産主食用米等生産量	B	735 ※1 (生産数量目標)	733 ※2 (自主的取組参考値)	
平成29/30年主食用米等供給量計	C = A + B	935	933	
平成29/30年主食用米等需要量	D	753	753	
平成30年6月末民間在庫量	E = C - D	182	180	

※1 生産数量目標：近年のトレンドとして需要が毎年概ね8万トン減少していることを勘案し、平成28年産米の生産数量目標743万トンから8万トンを控除した735万トンと設定。

【生産数量目標の推移】

		(単位：万トン)								
年産		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
生産数量目標		815	813	795	793	791	765	751	743	735
	前年差	0	▲ 2	▲ 18	▲ 2	▲ 2	▲ 26	▲ 14	▲ 8	▲ 8

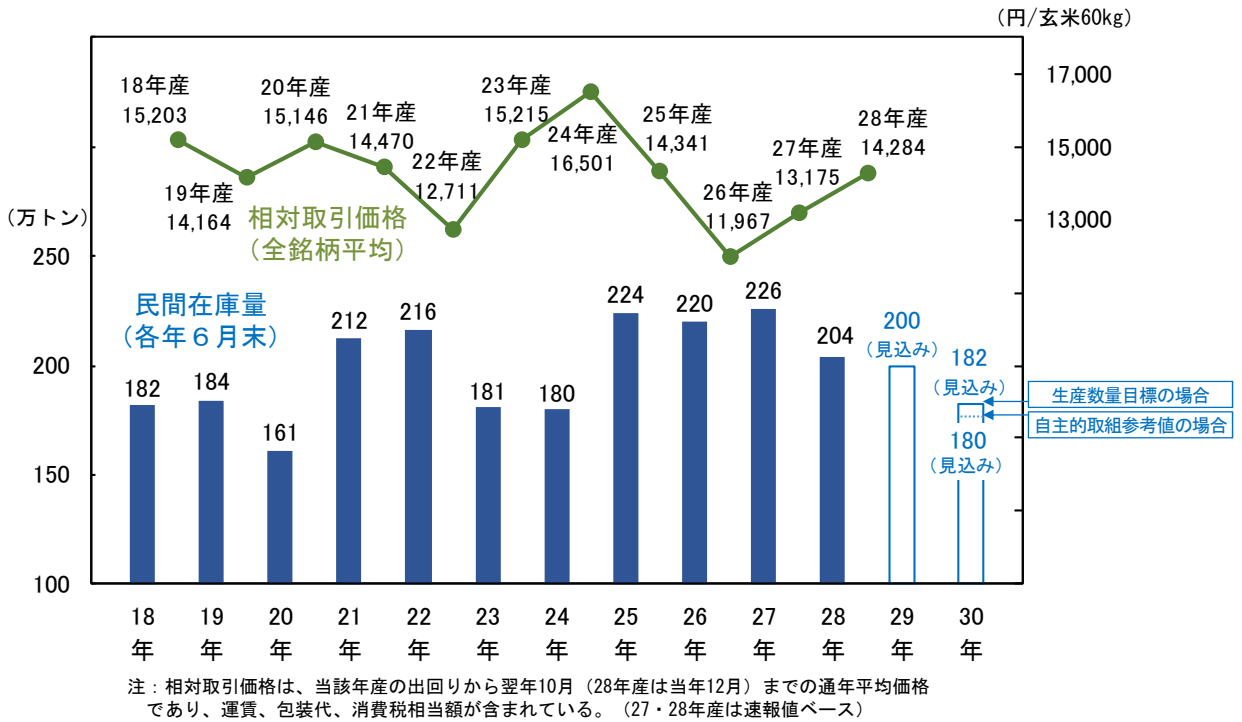
※2 自主的取組参考値：平成30年6月末民間在庫量が安定供給を確保できる水準（180万トン）となるものとして、733万トンと設定。

【民間在庫量（6月末）の推移】

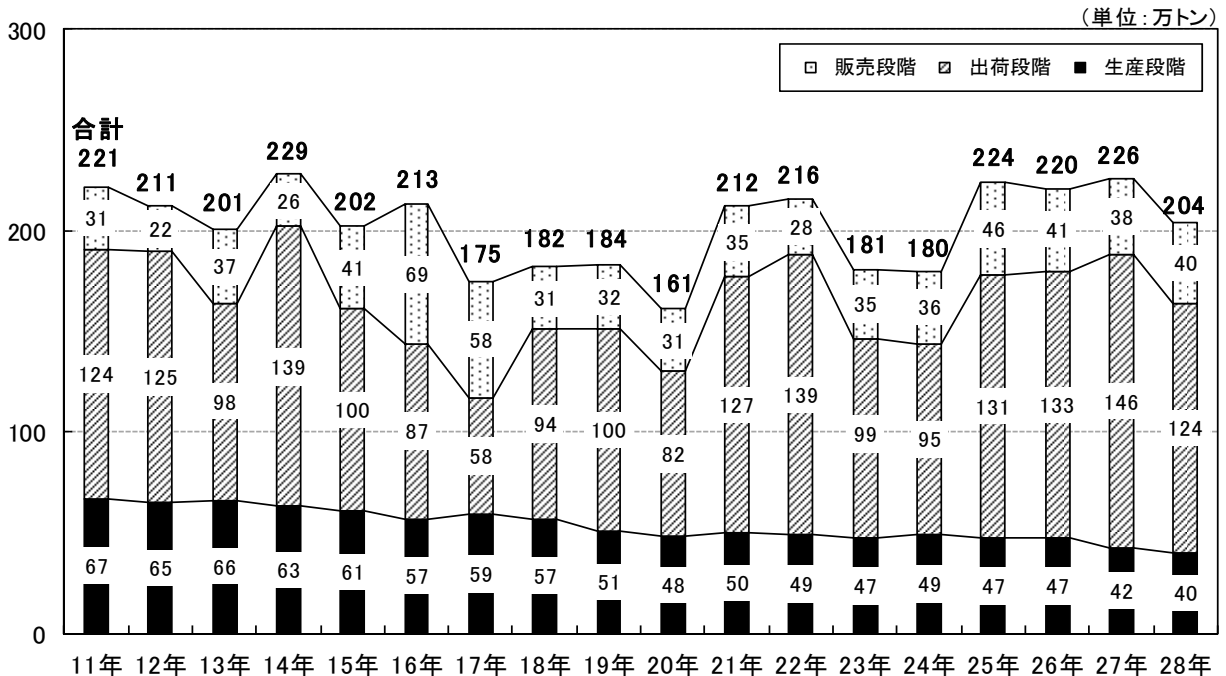
		(単位：万トン)							
		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
民間在庫量		212	216	181	180	224	220	226	204

(参考) 相対取引価格と民間在庫量

- 相対取引価格は、その年々の需給状況により変動しているが、6月末における民間在庫量（生産、出荷、販売段階における在庫量）の水準もその要因の一つ。



(4) 民間流通における6月末在庫量の推移



- 注：1 うるち玄米及びもち玄米の値である。  
 2 各年の民間在庫量において、  
 ① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者（販売・出荷段階）の数量である。  
 ② 平成15年については、販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量、出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。  
 ③ 平成14年以前については推計値であり、販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量（推計）を加えた数量、出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量（推計）を加えた数量である。  
 なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」（平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」）を基に算出した在庫量から精米在庫量（推計）を控除した玄米在庫量である。  
 3 平成26年の出荷段階の在庫量は、米穀機構の買入数量35万トンを含んでいない。  
 4 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。



表 平成29年産米の都道府県別の生産数量目標等

単位：トン、ha)

都道府県	27年産生産数量目標 のシェア(注1)	29年産生産数量目標		29年産自主的取組参考値	
			面積換算値		面積換算値
全国計	100%	735万トン	139万ha	733万トン	138万ha
北海道	547,330 / 7,510,000	535,669	99,015	534,212	98,745
青森	242,460 / 7,510,000	237,294	40,494	236,649	40,384
岩手	271,210 / 7,510,000	265,432	49,706	264,710	49,571
宮城	348,620 / 7,510,000	341,193	64,255	340,264	64,080
秋田	417,540 / 7,510,000	408,644	71,317	407,532	71,123
山形	344,500 / 7,510,000	337,160	56,666	336,243	56,511
福島	339,550 / 7,510,000	332,316	61,313	331,412	61,146
茨城	337,370 / 7,510,000	330,182	63,012	329,284	62,840
栃木	298,690 / 7,510,000	292,326	54,134	291,531	53,987
群馬	75,670 / 7,510,000	74,058	14,961	73,856	14,920
埼玉	151,270 / 7,510,000	148,047	30,214	147,644	30,131
千葉	246,490 / 7,510,000	241,239	45,091	240,582	44,969
東京	770 / 7,510,000	754	183	752	183
神奈川	14,400 / 7,510,000	14,093	2,859	14,055	2,851
新潟	521,290 / 7,510,000	510,184	94,304	508,796	94,047
富山	185,650 / 7,510,000	181,695	33,710	181,200	33,618
石川	123,630 / 7,510,000	120,996	23,313	120,667	23,250
福井	125,460 / 7,510,000	122,787	23,658	122,453	23,594
山梨	27,430 / 7,510,000	26,846	4,908	26,773	4,895
長野	194,000 / 7,510,000	189,867	30,574	189,350	30,491
岐阜	111,270 / 7,510,000	108,899	22,315	108,603	22,255
静岡	82,920 / 7,510,000	81,153	15,576	80,933	15,534
愛知	134,970 / 7,510,000	132,094	26,054	131,735	25,983
三重	143,510 / 7,510,000	140,453	28,091	140,070	28,014
滋賀	160,450 / 7,510,000	157,032	30,315	156,604	30,232
京都	75,930 / 7,510,000	74,312	14,542	74,110	14,503
大阪	26,220 / 7,510,000	25,661	5,184	25,592	5,170
兵庫	180,440 / 7,510,000	176,596	35,178	176,115	35,083
奈良	41,690 / 7,510,000	40,802	7,954	40,691	7,932
和歌山	34,850 / 7,510,000	34,108	6,891	34,015	6,872
鳥取	66,110 / 7,510,000	64,702	12,588	64,525	12,554
島根	90,000 / 7,510,000	88,083	17,305	87,843	17,258
岡山	158,550 / 7,510,000	155,172	29,500	154,750	29,420
広島	129,970 / 7,510,000	127,201	24,321	126,855	24,255
山口	108,760 / 7,510,000	106,443	21,120	106,153	21,062
徳島	58,540 / 7,510,000	57,293	12,087	57,137	12,054
香川	70,240 / 7,510,000	68,744	13,776	68,556	13,739
愛媛	73,920 / 7,510,000	72,345	14,527	72,148	14,488
高知	50,070 / 7,510,000	49,003	10,699	48,870	10,670
福岡	182,470 / 7,510,000	178,582	35,932	178,097	35,834
佐賀	138,420 / 7,510,000	135,471	26,102	135,102	26,031
長崎	62,850 / 7,510,000	61,511	12,842	61,344	12,807
熊本	189,310 / 7,510,000	185,277	36,116	184,773	36,018
大分	117,690 / 7,510,000	115,183	22,945	114,869	22,882
宮崎	93,600 / 7,510,000	91,606	18,469	91,357	18,419
鹿児島	111,070 / 7,510,000	108,704	22,553	108,408	22,491
沖縄	2,860 / 7,510,000	2,799	906	2,791	903

注1：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（平成27年11月）において、平成27年産米の都道府県別のシェアを固定し、当該シェアで按分して平成29年産米の都道府県別の生産数量目標及び自主的取組参考値とする旨を公表済み。

注2：端数処理の結果、合計値は一致しない。

(参考) 27/28年の主食用米等需要量 (産地品種銘柄別) (実績値)

<品種銘柄別需要実績の試算方法>

平成27年6月末民間在庫に平成27年産生産量を加え、平成28年6月末民間在庫を控除して算出。

なお、生産段階の在庫量は、品種銘柄別に把握できないことから考慮していない。また、品種銘柄別の生産量は、農林水産省「作物統計」の産地別収穫量に、米穀機構が公表している「水稻の品種別作付動向」の作付割合を乗じて推計。

(単位:千トン)

産地	品種銘柄	需要量	産地	品種銘柄	需要量	産地	品種銘柄	需要量	産地	品種銘柄	需要量
北海道		573	千葉		318	京都		72	高知		52
	ななつぼし	243		コシヒカリ	199		コシヒカリ	40		コシヒカリ	26
	ゆめびりか	98		ふさこがね	51		キヌヒカリ	17		ヒノヒカリ	15
	きらら397	84		ふさおとめ	42	大阪		27	福岡		176
青森		243	東京		1	兵庫		175		夢つくし	67
	まっしぐら	147	神奈川		16		コシヒカリ	63		ヒノヒカリ	59
	つがるロマン	87	新潟		538		ヒノヒカリ	35	佐賀		125
岩手		269		コシヒカリ	371		キヌヒカリ	31		夢しずく	31
	ひとめぼれ	180		こしいぶき	103	奈良		49		さがびより	25
	あきたこまち	38	富山		187		ヒノヒカリ	31		ヒノヒカリ	25
	いわてっこ	14		コシヒカリ	137		コシヒカリ	4	長崎		59
宮城		391		てんたかく	24	和歌山		35		ヒノヒカリ	36
	ひとめぼれ	305	石川		122	鳥取		64		にこまる	10
	まなむすめ	28		コシヒカリ	82		コシヒカリ	26		コシヒカリ	7
	ササニシキ	23		ゆめみづほ	25		ひとめぼれ	18	熊本		166
秋田		471	福井		122	島根		98		ヒノヒカリ	76
	あきたこまち	347		コシヒカリ	64		コシヒカリ	59		コシヒカリ	18
	めんこいな	36		ハナエチゼン	32		きぬむすめ	27		森のくまさん	16
	ひとめぼれ	35	山梨		27	岡山		154	大分		106
山形		387		コシヒカリ	18		アケボノ	28		ヒノヒカリ	79
	はえぬき	249		あさひの夢	2		あきたこまち	26		ひとめぼれ	12
	つや姫	38	長野		202		ヒノヒカリ	24	宮崎		75
	ひとめぼれ	36		コシヒカリ	149	広島		119		ヒノヒカリ	39
福島		342		あきたこまち	25		コシヒカリ	49		コシヒカリ	29
	コシヒカリ	201	岐阜		112		ヒノヒカリ	22	鹿児島		96
	ひとめぼれ	77		ハツシモ	40		あきろまん	12		ヒノヒカリ	59
茨城		355		コシヒカリ	32	山口		102		コシヒカリ	18
	コシヒカリ	262	静岡		82		コシヒカリ	30		あきほなみ	9
	あきたこまち	43		コシヒカリ	36		ひとめぼれ	26	沖縄		2
	ゆめひたち	13		あいちのかおり	14		ヒノヒカリ	25	全国		7,662
栃木		295	愛知		140	徳島		55			
	コシヒカリ	193		あいちのかおり	52		コシヒカリ	27			
	あさひの夢	73		コシヒカリ	32		キヌヒカリ	17			
	なすひかり	13	三重		137	香川		66			
群馬		71		コシヒカリ	102		ヒノヒカリ	28			
	あさひの夢	30		キヌヒカリ	15		コシヒカリ	24			
埼玉		158	滋賀		161	愛媛		71			
	コシヒカリ	64		コシヒカリ	57		コシヒカリ	21			
	彩のかがやき	43		キヌヒカリ	39		ヒノヒカリ	19			
	キヌヒカリ	20		日本晴	19		あきたこまち	15			

(参考) 28年産における深掘り産地と過剰作付産地の価格動向

○ 各産地の作付動向と価格動向を結びつけ、深掘り産地と過剰作付産地の価格動向を比較・分析。

- 28年産米の相対取引価格(28年9月)は、全銘柄平均で14,342円/60kgとなっており、前年産(年産平均)に比べ9%上昇。
- 産地別にみると、深掘りを行った青森県は、作況が104であったものの、「まっしぐら」の価格は12%上昇。
- 一方、過剰作付となった茨城県では、作況が99であったものの、「コシヒカリ」の価格は5%の上昇に留まった。
- 深掘り産地は、作況が良くとも価格上昇率は全国平均を上回るが、過剰作付産地の価格上昇率は全国平均を下回っている。

【28年産】

深掘りの産地

過剰作付の産地

	全国
主食用米作付面積 ①	1,381,000
生産数量目標(面積換算) ②	1,403,000
深掘り率 ①/②	▲ 2%
作況指数	103

青森	秋田	山形
36,800	69,300	56,800
41,079	72,152	57,275
▲ 10%	▲ 4%	▲ 1%
104	104	103

(単位: ha)

茨城	千葉	新潟
67,200	53,900	101,500
63,698	45,582	97,076
+ 5%	+ 18%	+ 5%
99	102	108

相対取引価格	全銘柄平均
27年産(年産平均) ③	13,175
28年産(28年9月) ④	14,342
上昇率(前年比) ④/③	+ 9%

青森 まっしぐら	秋田 あきたこまち	山形 はえぬぎ
11,571	12,844	12,445
12,988	14,151	13,842
+ 12%	+ 10%	+ 11%

(単位: 円/玄米60kg(税込))

茨城 コシヒカリ	千葉 コシヒカリ	新潟一般 コシヒカリ
12,644	12,530	16,186
13,302	13,593	16,599
+ 5%	+ 8%	+ 3%

全国平均を上回る上昇率

全国平均を下回る上昇率

## 2 米の契約・販売

### (1) 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果

平成29年産

(単位:トン)

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果 落札数量	
		第1回 平成29年 1月31日実施	落札合計数量
北海道	7,130	0	0
青森	12,271	10,360	10,360
岩手	5,229	5,229	5,229
宮城	6,368	306	306
秋田	17,039	17,039	17,039
山形	11,753	11,753	11,753
福島	16,443	16,443	16,443
茨城	600	600	600
栃木	5,167	3,558	3,558
群馬	12	12	12
埼玉	296	156	156
千葉	748	748	748
東京			
神奈川			
新潟	17,365	326	326
富山	7,947	7,947	7,947
石川	3,348	86	86
福井	2,187	20	20
山梨			
長野	585	103	103
岐阜	348	10	10
静岡	20	0	0
愛知	493	0	0
三重	422	0	0
滋賀	876	21	21
京都			
大阪			
兵庫	18	0	0
奈良			
和歌山			
鳥取	535	10	10
島根	67	0	0
岡山	1,408	1,373	1,373
広島			
山口			
徳島	337	130	130
香川			
愛媛	51	0	0
高知	10	0	0
福岡	139	10	10
佐賀	327	0	0
長崎	18	0	0
熊本	247	247	247
大分	196	0	0
宮崎			
鹿児島			
沖縄			
都道府県別枠計	120,000	76,487	76,487
指定無し	80,000	71,032	71,032
合計	200,000	147,519	147,519



## (2) 平成28年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成28年12月末現在）

28年産米の「契約比率」及び「販売比率」（集荷数量に対する進捗状況）については、集荷が一定程度進んだ段階で掲載します。

集荷・契約・販売数量（北海道から千葉まで）

	集荷数量	契約数量	販売数量	参考：前年同月比 (27年産の同時期との比較)		
				集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(%)	(%)	(%)
<b>北海道</b>	<b>333.5</b>	<b>272.3</b>	<b>112.8</b>	<b>▲ 10%</b>	<b>+ 8%</b>	<b>+ 22%</b>
(ななつぼし)	162.8	134.8	56.9	▲ 5%	+ 14%	+ 48%
(ゆめぴりか)	77.3	61.2	20.9	▲ 1%	+ 25%	+ 10%
(きらら397)	35.7	28.9	5.8	▲ 38%	▲ 34%	▲ 42%
<b>青森</b>	<b>137.4</b>	<b>92.9</b>	<b>26.2</b>	<b>▲ 1%</b>	<b>▲ 17%</b>	<b>+ 28%</b>
(まっしぐら)	88.9	55.5	14.7	▲ 3%	▲ 24%	+ 48%
(つがるロマン)	39.1	28.0	7.5	▲ 6%	▲ 20%	▲ 4%
<b>岩手</b>	<b>135.7</b>	<b>95.9</b>	<b>19.3</b>	<b>▲ 10%</b>	<b>+ 8%</b>	<b>+ 26%</b>
(ひとめぼれ)	109.7	74.2	14.0	▲ 11%	+ 7%	+ 17%
(あきたこまち)	16.9	15.7	3.2	▲ 11%	+ 3%	+ 52%
(いわてっこ)	3.3	1.9	0.3	▲ 16%	+ 4%	+ 36%
<b>宮城</b>	<b>151.7</b>	<b>139.7</b>	<b>27.1</b>	<b>+ 1%</b>	<b>+ 10%</b>	<b>+ 19%</b>
(ひとめぼれ)	121.9	114.6	19.9	+ 0%	+ 9%	+ 25%
(ササニシキ)	10.1	7.9	2.0	▲ 3%	+ 30%	+ 1%
(つや姫)	11.7	10.1	4.0	+ 14%	+ 18%	+ 23%
<b>秋田</b>	<b>236.6</b>	<b>124.4</b>	<b>58.3</b>	<b>▲ 3%</b>	<b>▲ 8%</b>	<b>+ 13%</b>
(あきたこまち)	188.8	108.7	51.1	▲ 4%	+ 1%	+ 13%
(めんこいな)	10.3	4.1	2.3	+ 6%	▲ 14%	+ 149%
(ひとめぼれ)	23.7	6.8	2.7	+ 0%	▲ 53%	▲ 4%
<b>山形</b>	<b>193.5</b>	<b>76.5</b>	<b>30.2</b>	<b>▲ 1%</b>	<b>▲ 7%</b>	<b>+ 4%</b>
(はえぬき)	115.4	42.0	13.2	▲ 5%	▲ 3%	+ 8%
(つや姫)	36.5	17.1	8.0	+ 25%	+ 14%	▲ 2%
(ひとめぼれ)	19.3	9.3	4.0	+ 3%	▲ 19%	+ 14%
<b>福島</b>	<b>155.1</b>	<b>82.1</b>	<b>17.5</b>	<b>+ 16%</b>	<b>+ 21%</b>	<b>+ 10%</b>
(コシヒカリ中通り)	53.6	15.5	6.0	+ 29%	+ 35%	+ 11%
(コシヒカリ会津)	44.0	33.7	4.3	+ 10%	+ 11%	+ 61%
(コシヒカリ浜通り)	6.9	5.1	0.4	+ 31%	+ 396%	▲ 16%
(ひとめぼれ)	30.8	18.5	3.4	+ 8%	+ 8%	▲ 6%
(天のつぶ)	9.5	2.7	1.4	+ 9%	▲ 44%	▲ 8%
<b>茨城</b>	<b>66.5</b>	<b>58.2</b>	<b>19.9</b>	<b>▲ 7%</b>	<b>▲ 20%</b>	<b>+ 9%</b>
(コシヒカリ)	52.5	45.6	12.2	▲ 6%	▲ 22%	+ 8%
(あきたこまち)	8.4	9.4	6.4	▲ 16%	▲ 10%	+ 16%
(ゆめひたち)	0.5	0.1	0.1	▲ 27%	▲ 19%	▲ 14%
<b>栃木</b>	<b>139.5</b>	<b>91.9</b>	<b>17.7</b>	<b>▲ 1%</b>	<b>+ 2%</b>	<b>+ 39%</b>
(コシヒカリ)	118.8	81.6	14.3	▲ 1%	+ 6%	+ 32%
(あさひの夢)	8.2	5.0	1.2	▲ 9%	▲ 18%	+ 119%
(なすひかり)	6.6	2.0	0.9	+ 0%	▲ 45%	+ 26%
<b>群馬</b>	<b>18.5</b>	<b>16.0</b>	<b>1.4</b>	<b>+ 12%</b>	<b>+ 755%</b>	<b>+ 31%</b>
(あさひの夢)	12.1	11.3	0.6	+ 22%	+ 3559%	+ 94%
(ゆめまつり)	4.1	3.6	0.3	▲ 5%	+ 234%	▲ 38%
<b>埼玉</b>	<b>17.9</b>	<b>10.7</b>	<b>3.9</b>	<b>▲ 10%</b>	<b>▲ 26%</b>	<b>+ 7%</b>
(彩のかがやき)	9.5	6.5	2.0	▲ 3%	▲ 11%	▲ 14%
(コシヒカリ)	6.8	3.7	1.7	▲ 1%	▲ 31%	+ 79%
(彩のきずな)	2.5	1.3	0.2	…	…	…
<b>千葉</b>	<b>76.0</b>	<b>64.3</b>	<b>32.0</b>	<b>▲ 16%</b>	<b>▲ 15%</b>	<b>▲ 6%</b>
(コシヒカリ)	42.9	36.2	16.3	▲ 14%	▲ 8%	+ 16%
(ふさこがね)	13.5	12.0	4.9	▲ 18%	▲ 9%	▲ 18%
(ふさおとめ)	15.8	13.3	9.1	▲ 22%	▲ 33%	▲ 22%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないもの。

9 「参考：前年同月比」の「…」は、27年産では調査の対象銘柄でなかったこと等から、28年産との比較が出来ないもの。

集荷・契約・販売数量(東京から鳥取まで)

	集荷数量	契約数量	販売数量	参考: 前年同月比 (27年度の同時期との比較)		
				集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(%)	(%)	(%)
東京	-	-	-	...	...	...
神奈川	2.9	0.7	0.7	+ 11%	+ 7%	+ 7%
山梨	6.2	1.4	1.4	+ 5%	+ 35%	+ 35%
(コシヒカリ)	5.4	1.2	1.2	+ 3%	+ 18%	+ 18%
(あさひの夢)	0.2	0.0	0.0	▲ 4%	+ 71%	+ 71%
長野	71.2	64.9	13.3	+ 5%	+ 72%	▲ 4%
(コシヒカリ)	56.6	54.7	9.4	+ 8%	+ 92%	+ 1%
(あきたこまち)	8.2	4.6	1.7	▲ 6%	+ 4%	▲ 10%
静岡	9.4	1.9	1.9	▲ 2%	▲ 19%	▲ 19%
(コシヒカリ)	6.1	1.4	1.4	▲ 3%	▲ 22%	▲ 22%
(きぬむすめ)	1.3	0.2	0.2	+ 11%	▲ 1%	▲ 1%
(あいちのかおり)	1.0	0.1	0.1	▲ 12%	▲ 40%	▲ 40%
新潟	281.4	204.4	67.3	+ 12%	▲ 8%	▲ 14%
(コシヒカリ一般)	162.2	112.0	31.2	+ 17%	▲ 10%	▲ 18%
(コシヒカリ魚沼)	24.9	13.7	7.6	+ 14%	▲ 17%	▲ 20%
(コシヒカリ岩船)	13.2	10.6	3.3	+ 11%	▲ 7%	▲ 6%
(コシヒカリ佐渡)	15.7	13.8	4.5	+ 4%	▲ 1%	▲ 11%
(こしいぶき)	42.7	35.0	11.5	+ 2%	▲ 10%	▲ 12%
富山	108.1	67.4	22.9	+ 5%	+ 6%	▲ 27%
(コシヒカリ)	89.0	52.2	18.1	+ 4%	▲ 4%	▲ 30%
(てんたかく)	9.3	6.5	2.9	+ 2%	+ 6%	▲ 16%
石川	32.9	22.2	3.1	▲ 3%	+ 28%	+ 21%
(コシヒカリ)	23.1	15.6	2.2	+ 0%	+ 43%	+ 27%
(ゆめみづほ)	6.8	4.6	0.5	▲ 13%	▲ 12%	+ 48%
福井	63.0	62.4	18.8	▲ 1%	+ 57%	▲ 17%
(コシヒカリ)	30.7	30.4	6.9	+ 1%	+ 64%	▲ 26%
(ハナエチゼン)	19.1	19.0	8.7	+ 1%	+ 69%	+ 0%
岐阜	27.2	16.5	7.1	▲ 5%	+ 18%	▲ 4%
(ハツシモ)	11.7	7.1	1.9	▲ 12%	+ 34%	+ 6%
(コシヒカリ)	8.5	4.2	1.9	+ 8%	+ 2%	▲ 28%
(あきたこまち)	2.1	1.8	1.5	▲ 15%	▲ 9%	▲ 8%
愛知	36.4	29.7	10.2	+ 5%	+ 15%	+ 5%
(あいちのかおり)	17.8	15.4	3.8	+ 4%	+ 27%	+ 25%
(コシヒカリ)	11.3	9.8	4.0	▲ 1%	+ 1%	▲ 5%
(大地の風)	1.4	1.0	0.4	▲ 5%	▲ 14%	▲ 40%
三重	31.4	19.2	8.0	+ 3%	+ 4%	▲ 2%
(コシヒカリ一般)	17.5	10.6	4.0	+ 6%	+ 4%	▲ 7%
(コシヒカリ伊賀)	7.0	4.4	1.9	▲ 4%	+ 7%	+ 17%
(キヌヒカリ)	2.7	0.9	0.4	▲ 1%	▲ 8%	▲ 41%
滋賀	58.4	62.5	19.1	+ 4%	+ 6%	▲ 4%
(コシヒカリ)	22.4	24.0	6.6	+ 4%	+ 10%	▲ 17%
(キヌヒカリ)	11.2	12.6	4.0	▲ 2%	+ 3%	▲ 2%
(日本晴)	5.3	6.3	0.9	▲ 11%	+ 3%	▲ 29%
京都	12.6	9.7	3.3	+ 5%	+ 3%	▲ 14%
(コシヒカリ)	7.7	6.0	2.0	+ 7%	+ 23%	▲ 7%
(キヌヒカリ)	2.8	2.5	0.8	▲ 1%	▲ 10%	▲ 28%
大阪	-	-	-	...	...	...
兵庫	44.8	21.1	13.8	▲ 4%	▲ 9%	▲ 15%
(コシヒカリ)	14.4	3.8	3.3	+ 2%	▲ 13%	▲ 15%
(ヒノヒカリ)	4.8	1.1	1.0	▲ 10%	+ 14%	+ 14%
(キヌヒカリ)	5.8	1.1	1.0	▲ 6%	▲ 26%	▲ 24%
奈良	9.2	9.2	2.5	▲ 9%	▲ 9%	+ 33%
(ヒノヒカリ)	7.2	7.2	1.8	▲ 10%	▲ 10%	+ 39%
(コシヒカリ)	0.5	0.5	0.2	▲ 3%	▲ 3%	+ 3%
和歌山	2.1	2.1	0.4	+ 24%	+ 24%	+ 54%
鳥取	11.6	6.8	3.2	▲ 45%	▲ 28%	▲ 43%
(コシヒカリ)	3.0	1.7	0.7	▲ 56%	▲ 44%	▲ 68%
(きぬむすめ)	4.0	2.2	0.7	▲ 35%	▲ 3%	▲ 24%
(ひとめぼれ)	4.5	2.7	1.7	▲ 41%	▲ 28%	▲ 20%

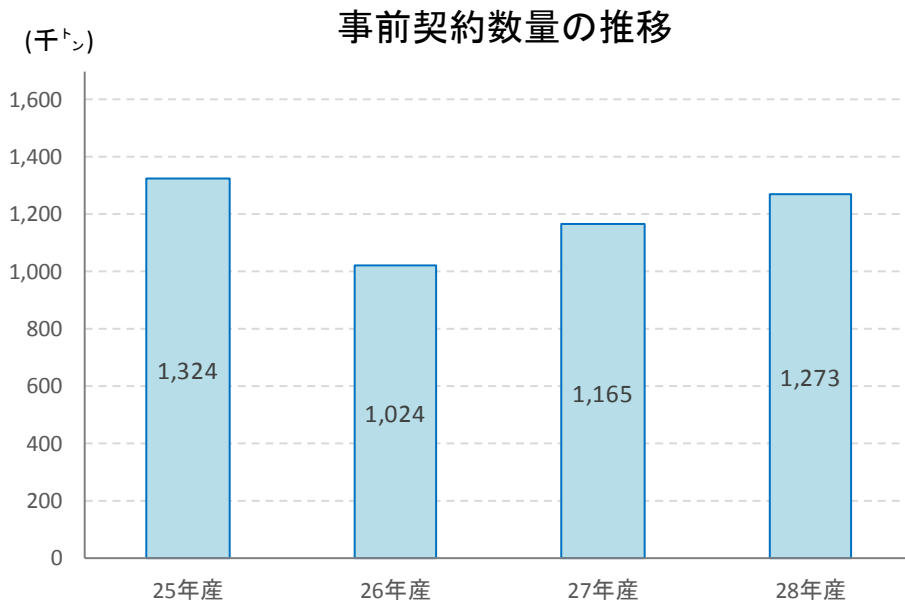
集荷・契約・販売数量(島根から沖縄まで、全国計)

	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (27年産の同時期との比較)		
				集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千トン)	(玄米千トン)	(玄米千トン)	(%)	(%)	(%)
島根	33.0	28.9	9.0	+ 13%	+ 24%	+ 7%
(コシヒカリ)	18.3	15.1	5.4	+ 32%	+ 48%	+ 31%
(きぬむすめ)	11.8	11.4	2.4	+ 18%	+ 43%	+ 62%
(つや姫)	4.0	3.6	1.3	…	…	…
岡山	9.2	8.9	3.5	▲ 36%	▲ 23%	▲ 17%
(アケボノ)	0.9	0.8	0.5	▲ 63%	▲ 59%	▲ 6%
(あきたこまち)	0.9	1.5	0.5	▲ 43%	▲ 2%	▲ 29%
(ヒノヒカリ)	1.1	0.5	0.2	▲ 38%	▲ 14%	▲ 35%
広島	33.2	30.0	9.8	▲ 1%	▲ 2%	+ 3%
(コシヒカリ)	15.8	14.4	3.9	+ 7%	+ 7%	▲ 8%
(あきろまん)	3.2	3.4	1.0	▲ 17%	▲ 23%	+ 15%
(ヒノヒカリ)	2.5	2.1	0.4	▲ 7%	▲ 16%	▲ 9%
山口	30.9	25.1	6.3	▲ 10%	+ 4%	▲ 16%
(コシヒカリ)	9.0	8.1	2.3	▲ 15%	+ 0%	▲ 24%
(ひとめぼれ)	8.1	5.6	2.0	+ 2%	▲ 2%	+ 0%
(ヒノヒカリ)	6.4	5.7	1.0	▲ 11%	+ 4%	▲ 24%
徳島	6.1	2.5	2.1	+ 14%	+ 5%	+ 4%
(コシヒカリ)	3.4	1.6	1.3	+ 2%	+ 10%	▲ 3%
(キヌヒカリ)	1.8	0.5	0.4	+ 25%	▲ 22%	+ 32%
香川	25.4	12.9	5.0	+ 5%	+ 4%	+ 3%
(ヒノヒカリ)	10.6	5.6	1.6	▲ 1%	▲ 6%	▲ 10%
(コシヒカリ)	8.5	4.4	2.1	+ 14%	+ 12%	+ 8%
愛媛	11.1	3.6	3.4	▲ 16%	▲ 9%	▲ 9%
(コシヒカリ)	4.5	1.7	1.7	+ 0%	+ 3%	+ 2%
(ヒノヒカリ)	2.0	0.4	0.4	▲ 19%	▲ 41%	▲ 40%
(あきたこまち)	1.8	0.5	0.5	▲ 5%	▲ 13%	▲ 14%
高知	6.5	3.6	3.5	+ 10%	+ 22%	+ 23%
(コシヒカリ)	5.1	2.4	2.4	+ 8%	+ 24%	+ 26%
(ヒノヒカリ)	0.4	0.2	0.2	+ 285%	+ 1239%	+ 1172%
福岡	41.5	36.2	10.6	▲ 8%	+ 10%	+ 7%
(夢つくし)	14.3	11.5	4.5	+ 1%	+ 3%	+ 4%
(ヒノヒカリ)	12.4	10.3	2.2	▲ 18%	+ 21%	+ 15%
(元気つくし)	12.6	13.4	3.5	+ 0%	+ 16%	+ 17%
佐賀	38.4	30.6	8.8	▲ 4%	+ 5%	+ 14%
(さがびより)	9.8	10.7	2.0	▲ 4%	+ 31%	+ 22%
(夢しずく)	12.5	8.6	2.9	+ 3%	▲ 5%	+ 13%
(ヒノヒカリ)	10.3	7.2	1.4	▲ 6%	▲ 1%	+ 17%
長崎	9.4	2.6	2.2	▲ 3%	+ 14%	+ 6%
(にこまる)	3.1	0.8	0.6	▲ 6%	+ 20%	+ 4%
(ヒノヒカリ)	3.1	0.7	0.6	▲ 3%	+ 28%	+ 15%
(コシヒカリ)	1.7	0.6	0.6	+ 4%	+ 5%	+ 0%
熊本	31.5	24.4	8.7	▲ 12%	▲ 15%	▲ 20%
(ヒノヒカリ)	13.6	10.7	3.2	▲ 15%	+ 7%	▲ 3%
(森のくまさん)	5.4	4.3	1.0	▲ 24%	▲ 19%	▲ 22%
(コシヒカリ)	6.2	4.5	2.9	+ 9%	▲ 41%	▲ 27%
大分	13.1	4.9	2.0	▲ 12%	▲ 22%	▲ 22%
(ヒノヒカリ)	9.3	3.3	1.0	▲ 14%	▲ 23%	▲ 23%
(ひとめぼれ)	0.8	0.2	0.2	+ 4%	▲ 51%	▲ 12%
宮崎	14.5	14.5	11.2	+ 10%	▲ 1%	+ 5%
(コシヒカリ)	9.4	9.4	9.4	+ 7%	+ 7%	+ 7%
(ヒノヒカリ)	4.5	4.5	1.3	+ 19%	▲ 11%	▲ 11%
鹿児島	12.7	12.7	7.4	+ 3%	+ 3%	+ 11%
(ヒノヒカリ)	5.6	5.6	1.8	+ 7%	+ 7%	+ 27%
(あきほなみ)	1.9	1.9	0.5	▲ 8%	▲ 8%	+ 17%
(コシヒカリ)	3.4	3.4	3.4	+ 7%	+ 7%	+ 7%
沖縄	1.6	1.6	1.5	+ 4%	+ 4%	+ 4%
全国①	2,827	2,001	686	▲ 1%	+ 3%	+ 3%
参考						
前年同月(27年産)②	2,868	1,944	665			
前年同月差(①-②)	▲ 41	57	21			

### (3) 産地別事前契約数量

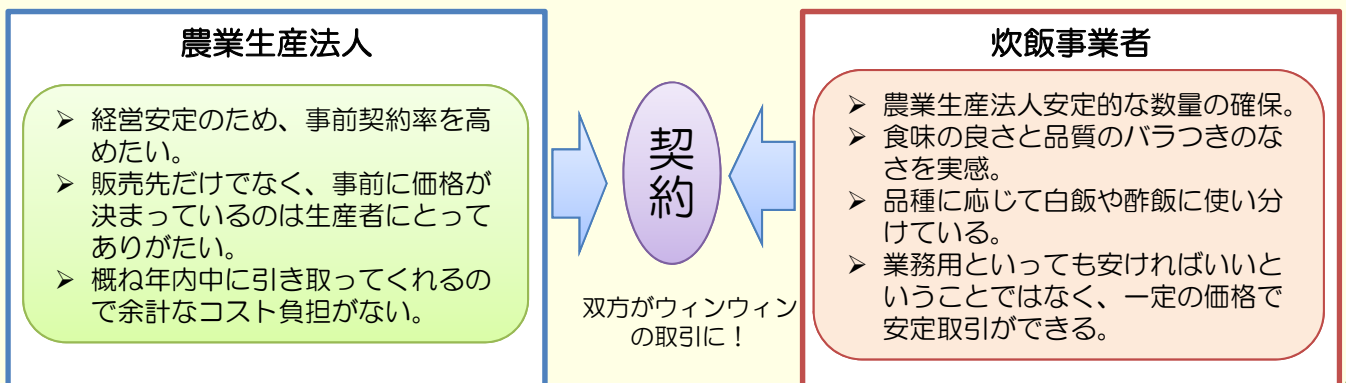
- 事前契約数量は、2年続けて増加、平成28年産米では、前年産に比べ10.8万トン多い127万トンという水準。

〔 事前契約数量とは、複数年契約、は種前契約、収穫前契約といった米の収穫時期の前にあらかじめ契約されたもの。 〕



### 生産法人と業務用実需者との事前契約の取組事例

- 平成24年産米の価格上昇により、中食・外食事業者においては、弁当や寿司業界等のニーズに応じた値頃感のある米の確保が困難となっていたところ。
- こうした中、A県の農業生産法人では、品質（食味）、価格条件等の実需者のニーズに応じて品種を作り分けることにより、生産量の約8割を事前契約や複数年契約で安定的な取引を実現。
- 例えば、当該農業生産法人は、炊飯事業者との取引において、希望のあった品種を一定の数量、価格で事前契約を行っており、翌年産米の取引では、前年の10倍の数量契約を締結し、安定した品質の米を納入。現在まで契約数量の全てが納入済といった状況。価格は、生産コストや流通コスト等を踏まえた再生産可能な価格を基本に実需者と協議して決定。



(参考) 産地別事前契約比率 (比率が高い方から並び替え)

- 農産物検査数量 (≒市場出回り量) を分母にした事前契約比率を試算し、比率が高い県から並び替え。
- は種前契約、複数年契約などの事前契約は、作付前に予め販売数量の見通しが立つとともに、価格変動幅も一定に収めることができることから、需要に応じた生産に向け拡大させる必要がある。

平成27年産米の産地別事前契約比率

(事前契約数量を農産物検査数量で除した比率)

順位	産地	事前契約比率	順位	産地	事前契約比率
1	山口	50.0%	25	山形	20.2%
2	香川	46.7%	26	鳥取	17.4%
3	宮城	45.1%	27	愛知	17.1%
4	宮崎	43.7%	28	石川	16.0%
5	滋賀	40.7%	29	福島	14.3%
6	佐賀	40.5%	30	埼玉	13.3%
7	島根	39.6%	31	福井	8.3%
8	岩手	38.0%	32	高知	5.9%
9	広島	37.8%	33	大分	3.6%
10	和歌山	35.6%	34	群馬	0.0%
11	新潟	35.5%		東京	0.0%
12	栃木	33.1%		神奈川	0.0%
13	北海道	28.9%		山梨	0.0%
14	京都	27.9%		静岡	0.0%
15	福岡	27.7%		大阪	0.0%
16	熊本	26.2%		兵庫	0.0%
17	青森	25.8%		奈良	0.0%
18	三重	25.7%		岡山	0.0%
19	茨城	24.6%		徳島	0.0%
20	千葉	24.4%	愛媛	0.0%	
21	秋田	23.0%	長崎	0.0%	
22	長野	21.4%	鹿児島	0.0%	
23	岐阜	21.0%	沖縄	0.0%	
24	富山	20.9%	全国計	25.8%	

↑事前契約比率が高い

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」、「米穀の農産物検査結果」

注：事前契約数量とは、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量である。

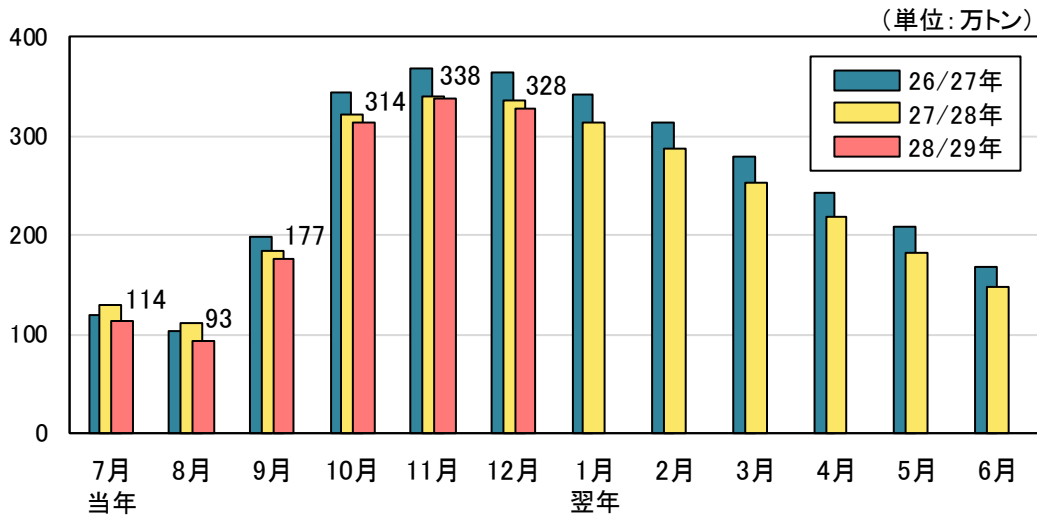
## Ⅱ 米の在庫情報

### (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成22年7月末～平成28年12月末）（速報）

- 平成28年12月末の出荷及び販売段階における在庫は、対前年同月▲8万トンの328万トンとなっている。

※ 都道府県別在庫量は、17頁以降参照。

#### 【出荷＋販売段階】



(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
22/23年	118	102	212	351	372	363	339	304	238	200	156	118
対前年差	+5	+9	+48	+1	▲8	▲8	▲8	▲15	▲29	▲29	▲34	▲36
22年産米	0	16	145	290	314	315	297	268	208	174	135	99
1年古米(21年産)	112	81	60	52	49	41	35	29	24	20	16	13
23/24年	83	55	134	298	327	320	291	259	224	185	147	113
対前年差	▲36	▲47	▲78	▲53	▲46	▲43	▲48	▲46	▲14	▲14	▲9	▲5
23年産米	0	8	106	273	304	300	275	246	214	177	141	108
1年古米(22年産)	69	37	19	13	11	8	6	5	2	2	1	1
24/25年	78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
24年産米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
1年古米(23年産)	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲22
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	114	93	177	314	338	328						
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8						
28年産米	1	14	122	267	300	299						
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22						

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、28/29年であれば、28年7月～29年6月である。

5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

6 26年産米は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。

7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。



## 【出荷段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	±0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
22年産米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
1年古米(21年産)	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
23年産米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
1年古米(22年産)	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24年産米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1年古米(23年産)	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	116
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲22
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	285	276						
対前年差	▲16	▲19	▲12	▲17	▲11	▲16						
28年産米	1	11	108	240	269	265						
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9						

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## 【販売段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
22年産米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
1年古米(21年産)	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	±0	+2	+1
23年産米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
1年古米(22年産)	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24年産米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1年古米(23年産)	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53						
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8						
28年産米	0	3	14	28	31	35						
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13						

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## (2) 産地別民間在庫の状況（前年同月比）

平成28年産（28年12月末）

【出荷＋販売段階】

（単位：千トン）

産地	28年産 (H28.12末)	27年産 (H27.12末)	前年 同月比	産地	28年産 (H28.12末)	27年産 (H27.12末)	前年 同月比
北海道	301.6	354.1	85%	滋賀	64.1	53.6	120%
青森	142.0	145.6	98%	京都	7.8	11.7	67%
岩手	130.8	146.6	89%	大阪	2.5	2.3	110%
宮城	160.9	156.1	103%	兵庫	47.4	41.6	114%
秋田	230.1	228.1	101%	奈良	7.6	9.1	83%
山形	200.8	206.9	97%	和歌山	2.1	2.1	100%
福島	190.9	172.2	111%	鳥取	26.2	27.5	95%
茨城	107.6	110.5	97%	島根	28.9	28.1	103%
栃木	148.5	152.0	98%	岡山	38.5	43.0	90%
群馬	24.6	23.4	105%	広島	35.5	33.5	106%
埼玉	27.9	25.8	108%	山口	28.0	30.0	93%
千葉	92.4	108.0	86%	徳島	9.7	8.7	112%
東京	0.0	0.0	-	香川	21.2	20.0	106%
神奈川	2.4	2.6	93%	愛媛	12.2	12.9	94%
新潟	279.4	229.1	122%	高知	9.2	7.8	118%
富山	100.3	89.9	112%	福岡	55.6	56.2	99%
石川	62.0	58.8	105%	佐賀	32.6	33.6	97%
福井	59.7	51.4	116%	長崎	10.1	9.4	108%
山梨	5.3	5.3	99%	熊本	44.6	46.2	97%
長野	70.5	66.7	106%	大分	19.3	19.4	99%
岐阜	23.4	24.5	96%	宮崎	14.1	11.5	123%
静岡	17.8	15.5	115%	鹿児島	18.4	17.3	106%
愛知	36.1	32.1	112%	沖縄	0.2	0.2	77%
三重	41.2	36.3	114%	全国計	2,993	2,967	101%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

注2：出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

注3：販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(参考) 産地別一年古米在庫比率 (比率が低い方から並び替え)

- 1年古米在庫量を農産物検査数量(≒市場出回り量)で除して在庫比率を試算し、比率が低い県から並び替え。
- 1年古米の民間在庫量は、各都道府県において需要に見合った生産が行われているかどうかを判断する一つの指標となり、一般的に民間在庫比率は、低い方が望ましい。

平成27年産米の産地別民間在庫比率

(平成28年10月末民間在庫量を農産物検査数量で除した比率)

順位	産地	民間在庫比率	順位	産地	民間在庫比率
1	静岡	1.4%	25	福井	7.2%
2	宮崎	2.4%	26	岡山	7.7%
3	兵庫	2.9%	27	青森	8.8%
4	奈良	3.3%	28	石川	9.4%
5	千葉	3.4%	29	福岡	9.4%
6	島根	3.4%	30	愛媛	9.7%
7	徳島	3.5%	31	福島	10.2%
8	富山	4.1%	32	山口	11.1%
9	広島	4.3%	33	山形	11.6%
10	滋賀	4.5%	34	鹿児島	12.3%
11	京都	4.6%	35	群馬	12.4%
12	三重	4.7%	36	長崎	12.8%
13	高知	5.0%	37	宮城	12.9%
14	鳥取	5.1%	38	岩手	13.0%
15	熊本	5.4%	39	岐阜	13.4%
16	大分	5.4%	40	埼玉	15.5%
17	愛知	5.8%	41	栃木	25.1%
18	香川	5.9%	—	東京	—
19	佐賀	5.9%		神奈川	—
20	長野	6.1%		山梨	—
21	北海道	6.8%		大阪	—
22	秋田	6.9%		和歌山	—
23	茨城	7.0%		沖縄	—
24	新潟	7.1%		全国計	8.5%

↑  
民間在庫比率が低い

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」、「米穀の農産物検査結果」

注1：検査数量が、1万トンに満たない産地の民間在庫比率は「—」としている。

注2：一部の業務用においては、商品適正の関係で古米として計画的に使用されている例もある。

### (3) 平成27・28年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成28年7月末から平成29年6月末) (速報)

産地別民間在庫の推移① (北海道から秋田)

(単位: 玄米千トン)

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
北海道	出荷+販売段階	117.0	79.0	108.6	291.8	328.8	321.2							
	28年産米	0.0	0.0	61.0	255.9	301.5	301.6							
	1年古米(27年産)	114.6	77.4	46.3	35.2	26.7	19.2							
	出荷段階	93.1	60.1	86.2	238.1	274.7	254.2							
	28年産米	0.0	0.0	51.1	216.6	258.9	244.0							
	1年古米(27年産)	92.0	59.3	34.5	21.0	15.5	10.0							
	販売段階	23.9	19.0	22.4	53.7	54.0	67.0							
	28年産米	0.0	0.0	10.0	39.3	42.6	57.6							
	1年古米(27年産)	22.5	18.1	11.8	14.1	11.2	9.3							
	青森	出荷+販売段階	62.6	45.6	61.9	125.2	142.2	151.8						
		28年産米	0.0	0.0	31.2	109.0	128.0	142.0						
		1年古米(27年産)	61.2	44.5	29.9	15.6	13.6	9.3						
出荷段階		46.1	33.0	51.5	103.2	120.0	131.5							
28年産米		0.0	0.0	30.4	101.5	118.9	130.7							
1年古米(27年産)		46.1	32.9	21.1	1.8	1.1	0.8							
販売段階		16.5	12.6	10.4	22.0	22.2	20.2							
28年産米		0.0	0.0	0.8	7.5	9.1	11.3							
1年古米(27年産)		15.1	11.5	8.8	13.9	12.5	8.5							
岩手		出荷+販売段階	58.0	41.8	38.1	120.9	135.1	142.4						
		28年産米	0.0	0.0	9.8	95.9	116.9	130.8						
		1年古米(27年産)	56.0	40.4	27.3	24.2	17.6	11.1						
	出荷段階	50.8	35.7	32.3	103.0	117.2	126.3							
	28年産米	0.0	0.0	9.2	89.9	108.6	120.9							
	1年古米(27年産)	50.2	35.3	22.9	12.9	8.5	5.3							
	販売段階	7.2	6.1	5.8	18.0	17.9	16.1							
	28年産米	0.0	0.0	0.6	6.1	8.4	9.9							
	1年古米(27年産)	5.8	5.1	4.4	11.3	9.1	5.8							
	宮城	出荷+販売段階	75.7	55.9	72.5	185.6	184.3	182.0						
		28年産米	0.0	0.0	32.1	151.8	156.6	160.9						
		1年古米(27年産)	68.9	50.7	36.6	31.1	25.4	19.1						
出荷段階		65.5	47.1	63.2	166.7	163.1	155.9							
28年産米		0.0	0.0	30.6	143.8	146.8	147.1							
1年古米(27年産)		62.4	44.6	31.0	21.9	15.4	8.1							
販売段階		10.1	8.9	9.3	18.9	21.2	26.1							
28年産米		0.0	0.0	1.5	8.1	9.8	13.8							
1年古米(27年産)		6.5	6.1	5.7	9.2	10.1	11.1							
秋田		出荷+販売段階	84.3	54.9	114.4	251.7	255.4	248.6						
		28年産米	0.0	0.0	81.9	221.3	229.9	230.1						
		1年古米(27年産)	73.6	46.6	25.3	24.1	20.0	14.0						
	出荷段階	64.9	40.2	101.2	225.1	228.6	219.5							
	28年産米	0.0	0.0	79.0	208.9	215.9	210.6							
	1年古米(27年産)	60.1	36.5	19.0	13.3	10.2	6.9							
	販売段階	19.4	14.8	13.2	26.6	26.7	29.0							
	28年産米	0.0	0.0	3.0	12.4	14.0	19.5							
	1年古米(27年産)	13.5	10.1	6.2	10.8	9.8	7.1							

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるち米及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、28年産米と1年古米（27年産）の合計と一致しない場合がある。

**(お知らせ)**

平成26年2月から平成28年6月までの産地別民間在庫の推移については、農林水産省ホームページに掲載しています。  
 (ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等)  
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

産地別民間在庫の推移②（山形から埼玉）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
山形	出荷+販売段階	90.1	66.3	81.3	208.2	222.6	221.7							
	28年産米	0.0	0.0	30.8	168.0	192.7	200.8							
	1年古米(27年産)	80.9	58.8	40.6	31.9	23.3	16.2							
	出荷段階	75.9	54.0	64.2	182.1	197.7	197.5							
	28年産米	0.0	0.0	29.7	159.4	182.4	189.3							
	1年古米(27年産)	69.8	48.9	30.4	19.3	12.4	6.1							
	販売段階	14.3	12.3	17.1	26.1	24.9	24.2							
	28年産米	0.0	0.0	1.1	8.6	10.3	11.6							
	1年古米(27年産)	11.1	9.9	10.3	12.7	10.9	10.0							
	福島	出荷+販売段階	65.6	44.4	37.3	183.8	203.6	199.8						
		28年産米	0.0	0.0	10.4	159.6	187.3	190.9						
		1年古米(27年産)	62.3	41.7	24.9	22.9	15.3	8.1						
出荷段階		48.4	29.9	26.4	156.3	174.8	173.5							
28年産米		0.0	0.0	9.9	147.0	169.0	170.6							
1年古米(27年産)		46.2	28.1	15.0	8.2	5.0	2.2							
販売段階		17.3	14.5	10.9	27.5	28.8	26.2							
28年産米		0.0	0.0	0.5	12.5	18.3	20.2							
1年古米(27年産)		16.0	13.7	9.9	14.7	10.3	5.8							
茨城		出荷+販売段階	44.1	44.9	115.4	130.9	124.9	115.6						
		28年産米	0.0	17.8	97.5	116.9	114.3	107.6						
		1年古米(27年産)	40.1	24.8	17.1	13.3	10.0	7.6						
	出荷段階	27.1	27.2	78.5	91.1	87.8	81.8							
	28年産米	0.0	11.8	69.6	84.9	82.7	77.8							
	1年古米(27年産)	25.3	14.4	8.4	5.9	4.9	3.9							
	販売段階	17.0	17.7	36.9	39.8	37.1	33.8							
	28年産米	0.0	6.0	28.0	32.0	31.6	29.9							
	1年古米(27年産)	14.8	10.3	8.7	7.3	5.1	3.7							
	栃木	出荷+販売段階	86.8	67.5	117.5	175.4	188.9	180.0						
		28年産米	0.0	0.0	65.3	123.5	147.1	148.5						
		1年古米(27年産)	74.6	58.1	44.2	46.5	37.8	28.5						
出荷段階		72.0	54.9	100.1	139.1	153.5	146.4							
28年産米		0.0	0.0	59.7	110.9	131.8	131.7							
1年古米(27年産)		65.2	49.5	36.6	25.7	19.9	13.3							
販売段階		14.9	12.7	17.5	36.3	35.3	33.6							
28年産米		0.0	0.0	5.6	12.6	15.3	16.9							
1年古米(27年産)		9.4	8.6	7.6	20.8	17.9	15.2							
群馬		出荷+販売段階	10.4	7.3	5.8	8.5	18.8	26.6						
		28年産米	0.0	0.0	0.4	5.3	16.1	24.6						
		1年古米(27年産)	10.2	7.2	5.4	3.2	2.8	2.0						
	出荷段階	8.1	5.6	4.0	5.2	15.0	23.0							
	28年産米	0.0	0.0	0.3	4.9	14.9	23.0							
	1年古米(27年産)	8.1	5.6	3.7	0.2	0.1	0.0							
	販売段階	2.4	1.7	1.8	3.3	3.8	3.6							
	28年産米	0.0	0.0	0.1	0.4	1.2	1.6							
	1年古米(27年産)	2.1	1.6	1.7	2.9	2.7	2.0							
	埼玉	出荷+販売段階	12.5	9.5	17.2	26.0	33.0	32.0						
		28年産米	0.0	0.3	7.5	18.5	27.5	27.9						
		1年古米(27年産)	10.8	7.9	8.6	6.7	5.2	4.1						
出荷段階		9.6	7.0	11.1	18.3	25.6	24.8							
28年産米		0.0	0.2	6.6	14.9	23.1	22.9							
1年古米(27年産)		8.4	6.0	3.9	3.1	2.4	1.9							
販売段階		2.9	2.4	6.1	7.7	7.4	7.2							
28年産米		0.0	0.2	0.9	3.6	4.4	4.9							
1年古米(27年産)		2.4	1.9	4.6	3.7	2.8	2.2							

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移③（千葉から静岡）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷＋販売段階	20.2	51.8	121.7	117.2	106.1	93.8						
	28年産米	0.0	40.8	113.7	111.3	102.6	92.4						
	1年古米(27年産)	19.5	10.6	7.7	5.8	3.5	1.4						
	出荷段階	14.6	43.6	106.2	103.0	93.3	81.4						
	28年産米	0.0	37.1	101.8	99.6	91.5	81.1						
	1年古米(27年産)	14.4	6.4	4.4	3.4	1.7	0.3						
	販売段階	5.6	8.2	15.5	14.3	12.9	12.4						
	28年産米	0.0	3.7	11.9	11.7	11.0	11.3						
	1年古米(27年産)	5.1	4.2	3.3	2.5	1.8	1.1						
東京	出荷＋販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
神奈川	出荷＋販売段階	0.3	0.2	0.2	2.5	2.6	2.4						
	28年産米	0.0	0.0	0.2	2.5	2.6	2.4						
	1年古米(27年産)	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階	0.3	0.2	0.2	2.5	2.6	2.4						
	28年産米	0.0	0.0	0.2	2.5	2.5	2.4						
	1年古米(27年産)	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
山梨	出荷＋販売段階	1.7	1.1	1.2	4.1	4.7	5.5						
	28年産米	0.0	0.0	0.6	3.7	4.4	5.3						
	1年古米(27年産)	1.6	1.1	0.6	0.4	0.3	0.2						
	出荷段階	1.4	0.8	0.9	3.7	4.0	4.9						
	28年産米	0.0	0.0	0.6	3.5	3.9	4.8						
	1年古米(27年産)	1.4	0.8	0.4	0.2	0.2	0.1						
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.4	0.7	0.6						
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.5						
	1年古米(27年産)	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1						
長野	出荷＋販売段階	19.5	12.7	23.8	59.2	78.0	73.8						
	28年産米	0.0	0.0	15.7	53.0	73.8	70.5						
	1年古米(27年産)	19.3	12.6	7.9	6.1	4.1	3.2						
	出荷段階	15.8	9.7	20.4	52.3	70.5	66.2						
	28年産米	0.0	0.0	14.9	49.9	69.2	65.2						
	1年古米(27年産)	15.8	9.7	5.5	2.4	1.3	1.0						
	販売段階	3.7	3.0	3.3	6.8	7.5	7.6						
	28年産米	0.0	0.0	0.9	3.1	4.6	5.3						
	1年古米(27年産)	3.5	2.8	2.4	3.7	2.8	2.2						
静岡	出荷＋販売段階	2.3	6.1	15.6	20.0	19.6	18.0						
	28年産米	0.0	4.7	14.8	19.6	19.4	17.8						
	1年古米(27年産)	2.2	1.2	0.7	0.3	0.1	0.1						
	出荷段階	1.7	3.8	10.3	14.2	14.2	13.2						
	28年産米	0.0	2.9	9.9	14.0	14.2	13.2						
	1年古米(27年産)	1.7	0.9	0.4	0.2	0.0	0.0						
	販売段階	0.6	2.3	5.3	5.9	5.4	4.8						
	28年産米	0.0	1.8	4.9	5.6	5.2	4.6						
	1年古米(27年産)	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1						

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。



## 産地別民間在庫の推移④（新潟から愛知）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	70.4	46.5	238.6	340.2	333.4	303.9						
	28年産米	0.0	0.6	208.2	309.2	305.0	279.4						
	1年古米(27年産)	66.7	43.0	27.9	28.8	26.5	22.8						
	出荷段階	58.4	36.7	221.3	308.8	303.1	274.3						
	28年産米	0.0	0.6	197.0	291.4	287.8	261.2						
	1年古米(27年産)	55.4	33.6	22.1	15.4	13.4	11.4						
	販売段階	12.0	9.9	17.3	31.4	30.3	29.7						
	28年産米	0.0	0.0	11.2	17.9	17.2	18.2						
	1年古米(27年産)	11.3	9.4	5.8	13.3	13.0	11.4						
富山	出荷＋販売段階	27.5	19.2	87.2	111.8	116.3	103.4						
	28年産米	0.0	1.9	76.5	105.8	111.7	100.3						
	1年古米(27年産)	27.1	16.9	10.4	5.7	4.4	3.0						
	出荷段階	21.8	13.8	80.4	102.4	107.7	95.3						
	28年産米	0.0	1.6	73.1	100.9	106.7	94.9						
	1年古米(27年産)	21.8	12.2	7.3	1.5	1.0	0.4						
	販売段階	5.7	5.4	6.8	9.3	8.6	8.0						
	28年産米	0.0	0.4	3.4	4.9	4.9	5.3						
	1年古米(27年産)	5.3	4.6	3.1	4.2	3.4	2.6						
石川	出荷＋販売段階	19.4	19.1	68.3	76.4	71.9	65.2						
	28年産米	0.0	5.7	58.8	69.2	66.6	62.0						
	1年古米(27年産)	19.0	13.0	9.3	7.0	5.1	3.2						
	出荷段階	16.1	14.7	47.0	53.3	50.8	47.0						
	28年産米	0.0	3.7	39.0	47.9	47.4	45.0						
	1年古米(27年産)	16.0	11.0	8.0	5.4	3.3	2.0						
	販売段階	3.4	4.4	21.3	23.1	21.1	18.2						
	28年産米	0.0	2.0	19.8	21.2	19.2	16.9						
	1年古米(27年産)	3.0	2.0	1.3	1.7	1.8	1.2						
福井	出荷＋販売段階	15.9	15.9	51.9	77.4	68.9	62.4						
	28年産米	0.0	5.4	44.4	71.1	64.3	59.7						
	1年古米(27年産)	15.3	10.1	7.3	6.3	4.6	2.7						
	出荷段階	11.0	10.5	43.4	66.2	59.0	52.1						
	28年産米	0.0	3.6	38.5	64.0	57.5	51.3						
	1年古米(27年産)	10.8	6.8	4.8	2.2	1.5	0.8						
	販売段階	4.9	5.4	8.5	11.2	9.9	10.3						
	28年産米	0.0	1.7	5.8	7.1	6.7	8.4						
	1年古米(27年産)	4.5	3.3	2.5	4.1	3.1	1.9						
岐阜	出荷＋販売段階	11.8	11.0	12.4	18.1	27.3	27.9						
	28年産米	0.0	1.4	5.0	11.2	21.6	23.4						
	1年古米(27年産)	10.6	8.6	6.5	6.0	4.9	3.8						
	出荷段階	9.2	8.3	9.2	10.5	20.1	21.1						
	28年産米	0.0	1.1	4.0	9.1	18.9	20.3						
	1年古米(27年産)	8.9	6.9	5.2	1.4	1.2	0.8						
	販売段階	2.6	2.7	3.2	7.6	7.2	6.8						
	28年産米	0.0	0.3	1.0	2.1	2.7	3.1						
	1年古米(27年産)	1.7	1.6	1.3	4.6	3.7	3.0						
愛知	出荷＋販売段階	12.6	11.6	16.6	26.0	36.5	38.1						
	28年産米	0.0	2.4	10.1	22.3	33.6	36.1						
	1年古米(27年産)	12.2	8.8	6.2	3.6	2.9	2.0						
	出荷段階	11.0	9.7	13.4	20.4	30.0	31.0						
	28年産米	0.0	1.7	8.8	19.4	29.3	30.5						
	1年古米(27年産)	11.0	8.0	4.6	1.0	0.8	0.5						
	販売段階	1.6	1.9	3.1	5.5	6.5	7.1						
	28年産米	0.0	0.7	1.3	2.9	4.3	5.5						
	1年古米(27年産)	1.2	0.9	1.6	2.6	2.2	1.6						

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑤（三重から奈良）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷＋販売段階	8.4	21.6	47.9	50.0	47.5	43.1						
	28年産米	0.0	16.8	44.4	46.9	45.1	41.2						
	1年古米(27年産)	8.2	4.6	3.5	3.0	2.4	1.9						
	出荷段階	6.4	17.7	42.8	45.1	43.3	38.6						
	28年産米	0.0	14.3	40.1	43.0	41.6	37.2						
	1年古米(27年産)	6.3	3.3	2.7	2.1	1.7	1.4						
	販売段階	2.0	3.9	5.2	5.0	4.2	4.5						
	28年産米	0.0	2.5	4.2	3.9	3.4	4.0						
	1年古米(27年産)	1.9	1.3	0.8	1.0	0.7	0.5						
滋賀	出荷＋販売段階	15.8	14.1	47.8	66.4	66.6	66.8						
	28年産米	0.0	4.2	41.8	62.0	62.8	64.1						
	1年古米(27年産)	15.3	9.5	5.7	4.2	3.5	2.4						
	出荷段階	12.7	10.6	42.9	61.0	60.6	60.3						
	28年産米	0.0	3.7	39.3	58.4	58.5	58.7						
	1年古米(27年産)	12.4	6.6	3.4	2.4	2.0	1.4						
	販売段階	3.1	3.5	4.9	5.4	5.9	6.5						
	28年産米	0.0	0.4	2.5	3.6	4.4	5.4						
	1年古米(27年産)	2.9	2.9	2.3	1.8	1.5	1.0						
京都	出荷＋販売段階	5.1	3.0	6.5	10.2	9.6	8.1						
	28年産米	0.0	0.0	5.0	9.1	9.0	7.8						
	1年古米(27年産)	5.0	2.9	1.5	1.0	0.6	0.3						
	出荷段階	4.3	2.4	5.5	8.3	7.9	6.5						
	28年産米	0.0	0.0	4.5	8.2	7.8	6.4						
	1年古米(27年産)	4.2	2.3	1.1	0.1	0.1	0.1						
	販売段階	0.8	0.6	1.0	1.8	1.7	1.7						
	28年産米	0.0	0.0	0.5	1.0	1.2	1.5						
	1年古米(27年産)	0.7	0.5	0.4	0.9	0.5	0.2						
大阪	出荷＋販売段階	0.8	0.5	0.5	0.9	1.0	2.5						
	28年産米	0.0	0.0	0.3	0.8	1.0	2.5						
	1年古米(27年産)	0.7	0.5	0.2	0.1	0.0	0.0						
	出荷段階	0.7	0.4	0.5	0.9	0.9	2.2						
	28年産米	0.0	0.0	0.3	0.8	0.9	2.2						
	1年古米(27年産)	0.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4						
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3						
	1年古米(27年産)	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0						
兵庫	出荷＋販売段階	14.9	11.3	27.2	39.1	50.2	48.9						
	28年産米	0.0	0.0	19.4	36.8	48.3	47.4						
	1年古米(27年産)	14.6	11.1	7.8	2.2	1.8	1.4						
	出荷段階	12.2	8.9	24.1	34.7	45.4	44.3						
	28年産米	0.0	0.0	18.1	34.2	45.1	44.0						
	1年古米(27年産)	12.2	8.9	6.0	0.5	0.3	0.3						
	販売段階	2.7	2.4	3.1	4.4	4.8	4.6						
	28年産米	0.0	0.0	1.2	2.6	3.3	3.4						
	1年古米(27年産)	2.4	2.1	1.8	1.7	1.4	1.1						
奈良	出荷＋販売段階	3.0	1.9	1.9	6.0	9.0	8.0						
	28年産米	0.0	0.0	1.0	5.3	8.4	7.6						
	1年古米(27年産)	2.6	1.6	0.7	0.5	0.4	0.3						
	出荷段階	2.2	1.2	0.9	4.4	7.5	6.7						
	28年産米	0.0	0.0	0.9	4.4	7.5	6.7						
	1年古米(27年産)	2.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.8	0.7	1.0	1.5	1.4	1.3						
	28年産米	0.0	0.0	0.1	0.9	0.9	0.9						
	1年古米(27年産)	0.4	0.4	0.7	0.5	0.4	0.3						

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑥（和歌山から山口）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	0.9	0.7	1.4	2.1	2.5	2.2						
	28年産米	0.0	0.0	1.0	1.8	2.3	2.1						
	1年古米(27年産)	0.8	0.6	0.3	0.2	0.2	0.1						
	出荷段階	0.6	0.5	1.2	2.0	1.9	1.7						
	28年産米	0.0	0.0	1.0	1.8	1.8	1.6						
	1年古米(27年産)	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1						
	販売段階	0.4	0.2	0.1	0.1	0.6	0.5						
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5						
	1年古米(27年産)	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0						
鳥取	出荷＋販売段階	7.0	4.3	8.3	19.8	25.1	27.0						
	28年産米	0.0	0.0	5.8	18.1	23.9	26.2						
	1年古米(27年産)	6.9	4.3	2.5	1.7	1.2	0.8						
	出荷段階	5.2	2.9	6.7	17.6	22.6	24.4						
	28年産米	0.0	0.0	5.2	16.7	22.0	24.1						
	1年古米(27年産)	5.2	2.9	1.6	0.9	0.5	0.3						
	販売段階	1.8	1.4	1.5	2.2	2.6	2.6						
	28年産米	0.0	0.0	0.6	1.4	1.9	2.0						
	1年古米(27年産)	1.8	1.3	0.9	0.8	0.7	0.5						
島根	出荷＋販売段階	7.2	5.4	18.8	27.7	28.3	29.8						
	28年産米	0.0	1.0	16.0	26.0	26.9	28.9						
	1年古米(27年産)	7.0	4.3	2.7	1.6	1.3	0.8						
	出荷段階	5.6	4.0	16.9	24.8	25.3	26.8						
	28年産米	0.0	0.9	15.0	24.2	24.9	26.7						
	1年古米(27年産)	5.6	3.2	1.9	0.6	0.4	0.1						
	販売段階	1.6	1.3	1.9	2.9	3.0	2.9						
	28年産米	0.0	0.1	1.0	1.8	2.0	2.2						
	1年古米(27年産)	1.4	1.1	0.8	1.0	1.0	0.7						
岡山	出荷＋販売段階	17.3	12.7	21.5	30.5	42.4	40.7						
	28年産米	0.0	0.0	12.7	25.1	38.8	38.5						
	1年古米(27年産)	17.1	12.5	8.8	5.5	3.6	2.2						
	出荷段階	13.3	8.9	16.2	24.4	36.2	34.9						
	28年産米	0.0	0.0	11.5	22.7	35.3	34.5						
	1年古米(27年産)	13.2	8.7	4.7	1.7	0.9	0.5						
	販売段階	4.0	3.8	5.4	6.2	6.1	5.8						
	28年産米	0.0	0.0	1.2	2.4	3.5	4.0						
	1年古米(27年産)	3.9	3.7	4.1	3.8	2.6	1.7						
広島	出荷＋販売段階	9.9	7.3	21.6	40.3	40.9	37.4						
	28年産米	0.0	0.5	17.6	37.7	38.7	35.5						
	1年古米(27年産)	9.5	6.5	3.7	2.3	1.9	1.6						
	出荷段階	7.1	4.5	18.3	34.2	34.5	31.2						
	28年産米	0.0	0.4	16.5	34.2	34.5	31.2						
	1年古米(27年産)	7.1	4.1	1.9	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	2.8	2.8	3.3	6.1	6.4	6.1						
	28年産米	0.0	0.1	1.2	3.6	4.2	4.3						
	1年古米(27年産)	2.4	2.4	1.8	2.3	1.9	1.6						
山口	出荷＋販売段階	12.9	10.6	19.7	31.9	34.4	31.6						
	28年産米	0.0	0.7	12.6	26.8	29.9	28.0						
	1年古米(27年産)	12.6	9.8	7.0	5.1	4.4	3.6						
	出荷段階	11.4	9.2	18.2	25.9	28.9	26.8						
	28年産米	0.0	0.5	12.0	25.9	28.9	26.7						
	1年古米(27年産)	11.4	8.7	6.2	0.1	0.1	0.0						
	販売段階	1.4	1.3	1.4	6.0	5.5	4.9						
	28年産米	0.0	0.1	0.5	1.0	1.1	1.3						
	1年古米(27年産)	1.2	1.1	0.8	5.0	4.3	3.5						

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑦（徳島から佐賀）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	1.7	9.8	12.9	12.4	11.2	10.2						
	28年産米	0.0	8.6	12.0	11.7	10.6	9.7						
	1年古米(27年産)	1.7	1.2	0.9	0.7	0.5	0.4						
	出荷段階	0.4	7.5	9.5	8.2	7.3	6.9						
	28年産米	0.0	7.3	9.3	8.1	7.3	6.9						
	1年古米(27年産)	0.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	1.4	2.3	3.4	4.2	3.8	3.3						
	28年産米	0.0	1.3	2.7	3.5	3.3	2.8						
	1年古米(27年産)	1.3	0.9	0.7	0.7	0.5	0.4						
香川	出荷+販売段階	7.2	5.7	7.4	15.1	22.2	22.2						
	28年産米	0.0	0.7	4.5	13.6	20.9	21.2						
	1年古米(27年産)	7.1	4.9	2.9	1.5	1.2	1.0						
	出荷段階	6.4	4.8	6.6	13.7	20.5	20.4						
	28年産米	0.0	0.6	4.2	13.1	20.4	20.4						
	1年古米(27年産)	6.4	4.2	2.4	0.5	0.1	0.0						
	販売段階	0.8	0.9	0.7	1.5	1.6	1.7						
	28年産米	0.0	0.1	0.2	0.4	0.5	0.8						
	1年古米(27年産)	0.7	0.7	0.5	1.0	1.1	1.0						
愛媛	出荷+販売段階	5.1	6.6	9.1	13.5	15.5	13.8						
	28年産米	0.0	2.7	6.1	11.1	13.5	12.2						
	1年古米(27年産)	4.6	3.6	2.7	2.1	1.8	1.5						
	出荷段階	4.5	6.1	8.4	12.8	14.9	13.2						
	28年産米	0.0	2.7	5.9	10.8	13.1	11.8						
	1年古米(27年産)	4.2	3.2	2.4	1.8	1.6	1.3						
	販売段階	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6						
	28年産米	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4						
	1年古米(27年産)	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2						
高知	出荷+販売段階	2.9	10.4	9.4	11.0	10.9	9.9						
	28年産米	0.7	8.6	7.9	9.9	9.9	9.2						
	1年古米(27年産)	2.1	1.7	1.4	1.0	0.9	0.7						
	出荷段階	1.0	5.8	4.9	6.5	6.2	5.7						
	28年産米	0.5	5.5	4.7	6.3	6.0	5.6						
	1年古米(27年産)	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1						
	販売段階	2.0	4.6	4.4	4.5	4.6	4.2						
	28年産米	0.3	3.1	3.2	3.6	3.9	3.6						
	1年古米(27年産)	1.7	1.4	1.2	0.9	0.8	0.6						
福岡	出荷+販売段階	20.9	15.3	26.0	44.2	55.9	61.0						
	28年産米	0.0	1.1	16.5	34.8	48.0	55.6						
	1年古米(27年産)	20.5	14.0	9.2	9.2	7.8	5.3						
	出荷段階	18.4	12.9	19.6	31.6	44.1	50.5						
	28年産米	0.0	0.6	11.6	27.6	40.6	48.3						
	1年古米(27年産)	18.2	12.2	8.0	3.9	3.4	2.2						
	販売段階	2.6	2.4	6.3	12.6	11.8	10.5						
	28年産米	0.0	0.5	4.9	7.2	7.4	7.4						
	1年古米(27年産)	2.3	1.8	1.3	5.3	4.4	3.1						
佐賀	出荷+販売段階	14.5	12.2	11.0	26.4	34.1	35.1						
	28年産米	0.1	1.6	3.9	22.9	30.7	32.6						
	1年古米(27年産)	14.3	10.5	7.1	3.5	3.4	2.5						
	出荷段階	13.1	10.7	9.5	22.0	29.3	31.3						
	28年産米	0.0	1.5	3.6	21.8	29.2	31.2						
	1年古米(27年産)	13.1	9.2	5.8	0.1	0.1	0.1						
	販売段階	1.3	1.4	1.6	4.4	4.8	3.8						
	28年産米	0.1	0.1	0.3	1.0	1.5	1.5						
	1年古米(27年産)	1.2	1.3	1.2	3.4	3.2	2.3						

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移⑧（長崎から沖縄）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	4.8	4.2	4.0	8.0	11.7	11.6						
	28年産米	0.0	0.7	1.7	5.7	9.9	10.1						
	1年古米(27年産)	4.6	3.3	2.1	2.1	1.7	1.4						
	出荷段階	4.4	3.7	3.5	6.4	10.2	10.4						
	28年産米	0.0	0.6	1.6	5.3	9.5	9.8						
	1年古米(27年産)	4.4	3.0	1.8	1.0	0.7	0.6						
	販売段階	0.4	0.5	0.5	1.6	1.4	1.2						
	28年産米	0.0	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4						
	1年古米(27年産)	0.3	0.3	0.3	1.2	1.0	0.8						
熊本	出荷＋販売段階	16.3	15.3	14.5	33.9	44.6	47.0						
	28年産米	0.0	3.5	6.7	29.4	41.4	44.6						
	1年古米(27年産)	16.2	11.8	7.8	4.4	3.2	2.4						
	出荷段階	11.7	10.8	9.4	23.2	33.0	36.2						
	28年産米	0.0	2.6	4.7	21.4	32.1	35.6						
	1年古米(27年産)	11.7	8.1	4.7	1.8	0.9	0.6						
	販売段階	4.6	4.6	5.1	10.6	11.6	10.8						
	28年産米	0.0	0.8	2.0	8.0	9.3	9.0						
	1年古米(27年産)	4.4	3.7	3.1	2.6	2.3	1.7						
大分	出荷＋販売段階	7.1	5.6	4.8	12.5	19.3	20.4						
	28年産米	0.0	0.5	2.0	10.8	17.9	19.3						
	1年古米(27年産)	6.9	5.0	2.8	1.7	1.4	1.1						
	出荷段階	5.3	4.0	3.0	8.6	13.9	14.7						
	28年産米	0.0	0.4	1.3	7.9	13.3	14.2						
	1年古米(27年産)	5.3	3.6	1.7	0.6	0.6	0.5						
	販売段階	1.8	1.6	1.8	3.9	5.4	5.7						
	28年産米	0.0	0.2	0.7	2.8	4.5	5.0						
	1年古米(27年産)	1.7	1.4	1.0	1.0	0.9	0.7						
宮崎	出荷＋販売段階	9.2	6.9	4.0	11.4	14.3	14.6						
	28年産米	5.6	4.3	2.7	10.6	13.7	14.1						
	1年古米(27年産)	3.5	2.5	1.2	0.7	0.6	0.4						
	出荷段階	7.1	4.1	1.0	7.9	10.8	11.2						
	28年産米	4.4	2.3	0.3	7.8	10.7	11.2						
	1年古米(27年産)	2.6	1.8	0.7	0.1	0.1	0.1						
	販売段階	2.1	2.8	3.0	3.5	3.6	3.4						
	28年産米	1.2	2.0	2.4	2.8	3.0	3.0						
	1年古米(27年産)	0.8	0.8	0.5	0.6	0.5	0.4						
鹿児島	出荷＋販売段階	10.1	10.9	8.5	16.1	23.6	20.7						
	28年産米	1.4	3.7	2.8	11.9	20.0	18.4						
	1年古米(27年産)	7.9	6.5	5.0	3.7	3.2	2.0						
	出荷段階	6.6	5.7	4.5	11.5	18.0	15.6						
	28年産米	0.7	0.6	0.4	8.4	15.4	14.0						
	1年古米(27年産)	5.4	4.6	3.6	2.7	2.4	1.4						
	販売段階	3.5	5.2	4.0	4.6	5.5	5.1						
	28年産米	0.8	3.0	2.4	3.4	4.6	4.4						
	1年古米(27年産)	2.5	2.0	1.4	1.0	0.8	0.6						
沖縄	出荷＋販売段階	0.5	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2						
	28年産米	0.5	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2						
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1						
	28年産米	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1						
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0						
	28年産米	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0						
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

### Ⅲ 米の価格情報

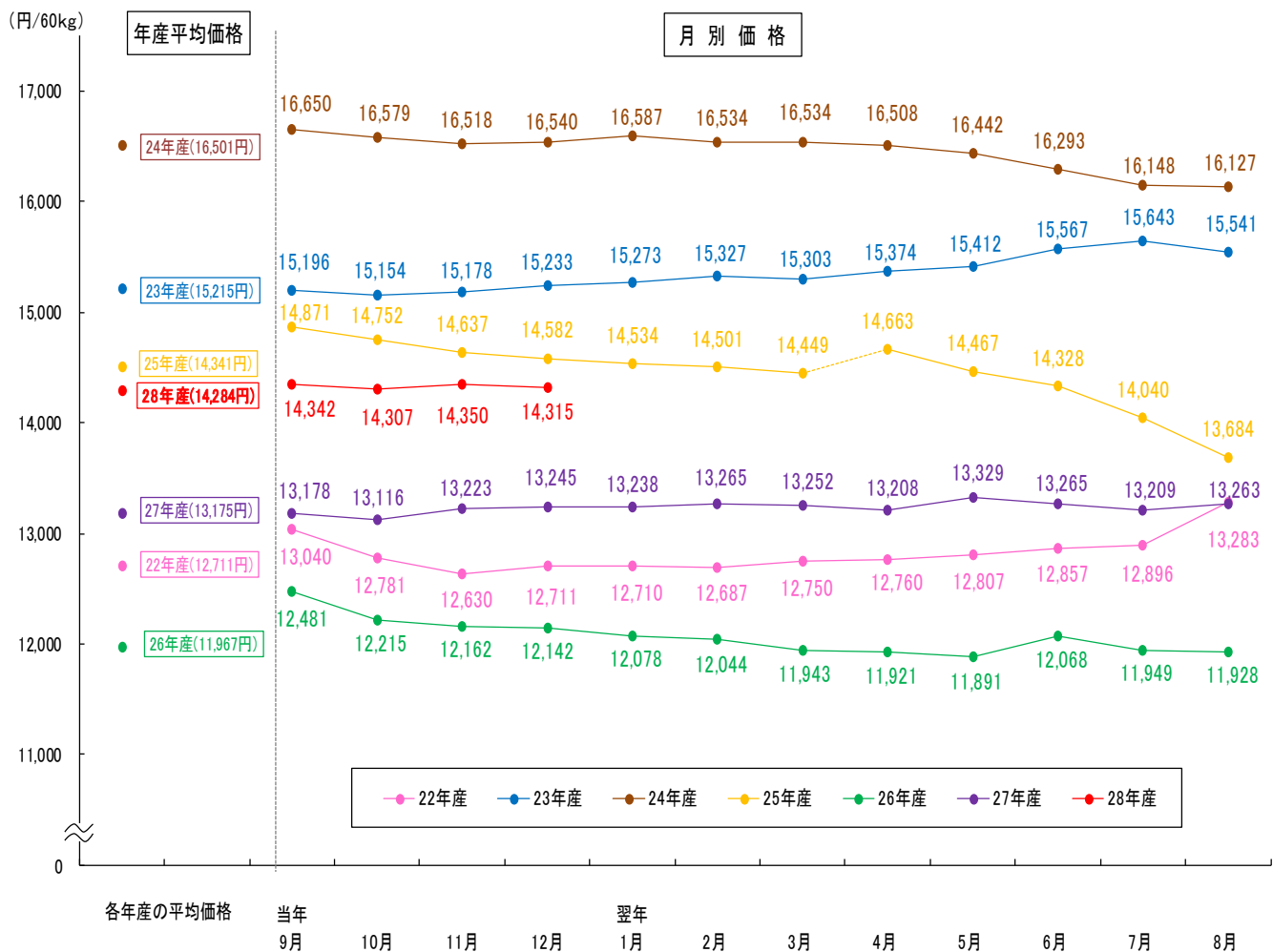
#### 1 相対取引価格・数量

##### (1) 相対取引価格（年産別）

- 平成28年産米の平成28年12月の全銘柄平均価格は、前年産の同時期と比べ+1,070円/60kg。

※ 産地銘柄ごとの価格は、27頁以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）  
（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税（5%。ただし、25年産の26年4月分以降は8%）が含まれている。

3 グラフの左側は各年産の平均価格（注4）、それ以降は月ごとの価格の推移。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（28年産は当年12月）までの通年平均価格。（27・28年産は速報値ベース）



## (2) 価格帯別分析結果（平成28年12月）

- 平成27年産米と平成28年産米の価格帯別平均価格を比較したところ、平成27年産の価格が13,000円以上の銘柄は+693円、11,000円未満の銘柄では+2,452円。
- 産地銘柄ごとでは、「福島県産天のつぶ」が最も上昇しており、次いで、「福島県産コシヒカリ（浜通り）」、「栃木県産あさひの夢」という状況。

### 価格帯別相対取引価格

単位：円/玄米60kg（税込）

	平成27年産の相対取引価格			
	13,000円以上の銘柄の平均	13,000円～12,000円の銘柄の平均	12,000円～11,000円の銘柄の平均	11,000円未満の銘柄の平均
平成27年産(出回り～28年8月) ①	14,614	12,640	11,612	10,838
平成28年産(28年12月) (27年産価格帯ベース) ②	15,307	13,842	13,259	13,290
価格差 ②-①	+ 693	+ 1,202	+ 1,647	+ 2,452

### 平成27年産と平成28年産の価格差（相対取引価格上昇幅上位10銘柄）

単位：円/玄米60kg（税込）

			平成27年産 (出回り～平成28年8月) ①	平成28年産 (平成28年12月) ②	価格差 ②-①
福島	天のつぶ		10,528	13,410	+ 2,882
福島	コシヒカリ	浜通り	11,122	13,504	+ 2,382
栃木	あさひの夢		11,397	13,717	+ 2,320
千葉	ふさおとめ		10,988	13,234	+ 2,246
福島	ひとめぼれ		11,136	13,220	+ 2,084
群馬	あさひの夢		11,923	14,000	+ 2,077
岡山	あきたこまち		11,885	13,915	+ 2,030
群馬	ゆめまつり		11,539	13,531	+ 1,992
千葉	ふさこがね		11,120	13,031	+ 1,911
栃木	なすひかり		12,020	13,899	+ 1,879

(3) 相対取引価格・数量（平成28年産米、産地品種銘柄別、平成28年12月分）

相対取引価格・数量①（北海道から栃木まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 28年産米 (28年12月) ①	数量 28年産米 (28年12月) ②	参考								年産平均価格		
				価格				数量				28年産米 (出回り～ 28年12月)	27年産米 (出回り～ 28年8月)	対前年比
				28年産米 (28年11月)	対前月比	27年産米 (27年12月)	対前年比	28年産米 (28年11月)	対前月比	27年産米 (27年12月)	対前年比			
				/	/	/	/	/	/	/	/			
北海道	ななつぼし	13,936	21,842	14,059	99%	13,017	107%	21,666	101%	28,397	77%	14,095	13,115	107%
北海道	ゆめぴりか	17,029	8,044	16,546	103%	15,073	113%	5,186	155%	17,420	46%	16,162	16,210	100%
北海道	きらら397	14,368	2,593	13,895	103%	12,505	115%	2,285	113%	8,883	29%	14,120	12,507	113%
青森	まっしぐら	13,061	13,692	13,388	98%	11,510	113%	6,081	225%	26,670	51%	13,210	11,571	114%
青森	つがるロマン	13,181	7,115	13,376	99%	11,595	114%	3,361	212%	12,019	59%	13,342	11,782	113%
岩手	ひとめぼれ	13,754	17,533	13,944	99%	12,841	107%	7,480	234%	17,753	99%	13,844	12,930	107%
岩手	あきたこまち	13,564	2,269	13,218	103%	12,556	108%	3,237	70%	3,104	73%	13,477	12,420	109%
岩手	いわてっこ	13,233	698	13,240	100%	11,797	112%	530	132%	770	91%	13,228	11,898	111%
宮城	ひとめぼれ	13,882	65,825	13,984	99%	13,207	105%	17,494	376%	18,236	361%	13,912	12,821	109%
宮城	ササニシキ	13,986	3,498	14,296	98%	13,179	106%	797	439%	1,999	175%	14,048	12,802	110%
宮城	つや姫	14,328	4,006	14,439	99%	13,490	106%	1,070	374%	3,862	104%	14,352	13,393	107%
秋田	あきたこまち	14,190	26,949	14,134	100%	13,027	109%	12,650	213%	16,604	162%	14,172	12,844	110%
秋田	めんこいな	13,366	875	13,301	100%	12,126	110%	655	134%	613	143%	13,318	11,922	112%
秋田	ひとめぼれ	13,663	1,764	13,635	100%	12,346	111%	796	222%	1,734	102%	13,654	12,068	113%
山形	はえぬき	13,518	17,324	13,839	98%	12,409	109%	3,583	484%	5,223	332%	13,624	12,445	109%
山形	つや姫	17,929	2,921	17,969	100%	17,972	100%	2,390	122%	2,266	129%	17,985	17,953	100%
山形	ひとめぼれ	14,470	1,143	14,374	101%	12,646	114%	1,101	104%	2,318	49%	15,030	13,278	113%
福島	コシヒカリ(中通り)	13,645	9,271	13,639	100%	12,093	113%	4,527	205%	3,243	286%	13,643	12,043	113%
福島	コシヒカリ(会津)	14,103	21,958	14,025	101%	13,549	104%	5,125	428%	1,969	1115%	14,109	13,426	105%
福島	コシヒカリ(浜通り)	13,504	462	12,699	106%	11,575	117%	447	103%	509	91%	13,107	11,122	118%
福島	ひとめぼれ	13,220	6,826	13,119	101%	11,627	114%	2,227	307%	3,018	226%	13,120	11,136	118%
福島	天のつづ	13,410	1,529	12,676	106%	11,069	121%	170	899%	954	160%	13,117	10,528	125%
茨城	コシヒカリ	14,238	3,701	14,077	101%	12,566	113%	4,792	77%	3,726	99%	13,554	12,644	107%
茨城	あきたこまち	13,091	909	14,361	91%	11,599	113%	143	636%	517	176%	13,188	11,769	112%
茨城	ゆめひたち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,788	-
栃木	コシヒカリ	13,862	19,137	13,835	100%	13,254	105%	13,290	144%	6,224	307%	13,828	12,907	107%
栃木	あさひの夢	13,717	1,707	13,451	102%	11,915	115%	929	184%	159	1074%	13,578	11,397	119%
栃木	なすひかり	13,899	200	13,656	102%	12,122	115%	248	81%	599	33%	13,737	12,020	114%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。  
ただし、全農が締結する「福島、茨城、鳥取、岡山、高知」の契約では、27年産から契約方法を見直し、これまでの運賃（東京、大阪着基準）を含めた契約方法から、産地在産での契約方法に変更したため、当該産地の相対取引価格には全農契約分の運賃が含まれていない。
- 3 価格に含む消費税は、平成26年4月分から8%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。
- 6 全銘柄平均価格（次々頁）は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。
- 7 ④及び⑥は前年産の価格、数量である。
- 8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。
- 9 斜線は、当該年産米において産地品種銘柄の報告対象でなかったもの。

相対取引価格・数量②（群馬から兵庫まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 28年産米 (28年12月) ①	数量 28年産米 (28年12月) ②	参考								年産平均価格		
				価格				数量				28年産米	27年産米	対前年比
				28年産米 (28年11月)	対前月比	27年産米 (27年12月)	対前年比	28年産米 (28年11月)	対前月比	27年産米 (27年12月)	対前年比	(出回り～ 28年12月)	(出回り～ 28年8月)	
群馬	あさひの夢	14,000	2,825	13,935	100%	11,636	120%	2,418	117%	147	1922%	13,960	11,923	117%
群馬	ゆめまつり	13,531	110	13,762	98%	11,633	116%	349	32%	854	13%	13,705	11,539	119%
埼玉	彩のかがやき	13,566	1,608	12,724	107%	11,695	116%	1,177	137%	2,611	62%	13,138	11,872	111%
埼玉	コシヒカリ	13,795	257	13,760	100%	12,878	107%	426	60%	3,372	8%	13,668	12,878	106%
埼玉	彩のきずな	13,252	554	13,361	99%	/	/	192	289%	/	/	13,117	/	/
千葉	コシヒカリ	13,814	5,392	13,752	100%	12,488	111%	3,322	162%	3,427	157%	13,661	12,530	109%
千葉	ふさこがね	13,031	1,296	13,278	98%	11,626	112%	470	276%	557	233%	12,784	11,120	115%
千葉	ふさおとめ	13,234	952	13,222	100%	11,165	119%	1,062	90%	1,125	85%	12,962	10,988	118%
山梨	コシヒカリ	17,371	440	17,178	101%	16,660	104%	334	132%	345	128%	17,216	15,955	108%
山梨	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,369	-
長野	コシヒカリ	14,485	22,271	14,674	99%	13,783	105%	2,922	762%	9,939	224%	14,535	13,782	105%
長野	あきたこまち	13,577	2,116	13,587	100%	12,395	110%	366	578%	2,164	98%	13,590	12,485	109%
静岡	コシヒカリ	14,473	149	14,676	99%	14,135	102%	191	78%	276	54%	14,861	14,240	104%
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,033	12,615	103%
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,633	-
新潟	コシヒカリ(一般)	16,466	14,761	16,529	100%	16,389	100%	11,017	134%	16,123	92%	16,527	16,186	102%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,893	2,561	20,589	101%	20,290	103%	3,027	85%	4,134	62%	20,776	20,439	102%
新潟	コシヒカリ(岩船)	16,970	2,264	17,004	100%	16,691	102%	883	256%	2,813	80%	17,012	16,629	102%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	16,997	2,797	17,038	100%	16,845	101%	1,733	161%	2,912	96%	17,018	16,599	103%
新潟	こしいぶき	13,669	9,147	13,651	100%	12,552	109%	5,136	178%	10,135	90%	13,652	12,412	110%
富山	コシヒカリ	15,274	12,702	15,362	99%	14,549	105%	7,322	173%	12,393	102%	15,354	14,230	108%
富山	てんたかく	14,056	951	13,792	102%	12,771	110%	2,595	37%	2,141	44%	13,909	12,563	111%
石川	コシヒカリ	14,747	1,469	14,872	99%	14,192	104%	4,868	30%	443	332%	14,803	13,901	106%
石川	ゆめみづほ	13,403	125	-	-	12,123	111%	-	-	227	55%	13,192	11,911	111%
福井	コシヒカリ	14,869	18,290	15,093	99%	14,210	105%	1,537	1190%	967	1891%	14,923	14,204	105%
福井	ハナエチゼン	13,561	8,912	13,531	100%	12,350	110%	1,084	822%	848	1051%	13,551	12,519	108%
岐阜	ハツシモ	14,052	403	14,386	98%	13,486	104%	988	41%	676	60%	14,173	12,784	111%
岐阜	コシヒカリ	14,997	320	14,936	100%	14,343	105%	1,024	31%	287	111%	15,249	14,318	107%
岐阜	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,171	12,536	105%
愛知	あいちのかおり	13,321	827	13,311	100%	-	-	855	97%	-	-	13,334	12,377	108%
愛知	コシヒカリ	-	-	13,796	-	-	-	225	-	-	-	13,679	13,209	104%
愛知	大地の風	-	-	13,284	-	-	-	172	-	-	-	13,275	12,053	110%
三重	コシヒカリ(一般)	14,219	1,620	14,299	99%	13,599	105%	1,001	162%	1,408	115%	14,226	13,625	104%
三重	コシヒカリ(伊賀)	14,588	1,011	14,682	99%	14,011	104%	501	202%	464	218%	14,630	14,125	104%
三重	キヌヒカリ	13,203	262	-	-	12,554	105%	-	-	127	206%	13,190	12,558	105%
滋賀	コシヒカリ	14,361	2,241	14,459	99%	13,628	105%	1,571	143%	2,447	92%	14,281	13,600	105%
滋賀	キヌヒカリ	13,255	1,547	14,058	94%	12,895	103%	663	233%	1,177	131%	13,312	12,258	109%
滋賀	日本晴	13,099	948	13,268	99%	11,814	111%	248	382%	1,827	52%	13,085	11,861	110%
京都	コシヒカリ	14,978	732	15,344	98%	14,162	106%	731	100%	502	146%	15,412	14,109	109%
京都	キヌヒカリ	13,600	343	13,756	99%	12,406	110%	1,103	31%	945	36%	13,620	12,729	107%
兵庫	コシヒカリ	15,324	664	15,278	100%	14,409	106%	1,047	63%	1,015	65%	15,198	14,465	105%
兵庫	ヒノヒカリ	13,120	283	12,958	101%	11,885	110%	470	60%	211	134%	12,968	11,984	108%
兵庫	キヌヒカリ	13,168	350	13,122	100%	11,818	111%	197	178%	279	125%	13,006	11,952	109%

注：本表の注意点は、前頁の脚注を参照。

相対取引価格・数量③（奈良から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 28年産米 (28年12月) ①	数量 28年産米 (28年12月) ②	参 考								年産平均価格		
				価格				数量				28年産米	27年産米	対前年比 /
				28年産米 (28年11月)	対前月比 /	27年産米 (27年12月)	対前年比 /	28年産米 (28年11月)	対前月比 /	27年産米 (27年12月)	対前年比 /	(出回り～ 28年12月)	(出回り～ 28年8月)	
奈良	ヒノヒカリ	13,189	709	13,018	101%	12,252	108%	725	98%	444	160%	13,074	12,164	107%
奈良	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,107	12,517	105%
鳥取	コシヒカリ	13,988	150	13,905	101%	-	-	293	51%	-	-	13,917	13,309	105%
鳥取	きぬむすめ	13,247	123	13,173	101%	12,715	104%	423	29%	300	41%	13,169	12,317	107%
鳥取	ひとめぼれ	13,174	254	13,018	101%	12,228	108%	298	85%	290	88%	13,054	12,113	108%
島根	コシヒカリ	14,601	2,610	14,726	99%	13,592	107%	808	323%	576	453%	14,668	13,602	108%
島根	きぬむすめ	13,718	364	13,438	102%	12,681	108%	1,594	23%	426	85%	13,377	12,509	107%
島根	つや姫	14,499	278	15,493	94%	/	/	113	246%	/	/	14,473	/	/
岡山	アケボノ	13,349	132	-	-	11,506	116%	-	-	440	30%	13,349	11,536	116%
岡山	あきたこまち	13,915	290	-	-	11,757	118%	-	-	409	71%	13,843	11,885	116%
岡山	ヒノヒカリ	-	-	13,786	-	-	-	299	-	-	-	13,800	12,051	115%
広島	コシヒカリ	14,210	2,236	14,584	97%	12,878	110%	803	278%	1,435	156%	14,327	12,931	111%
広島	あきろまん	13,492	821	12,998	104%	11,710	115%	764	107%	304	270%	13,219	11,983	110%
広島	ヒノヒカリ	12,961	202	12,962	100%	11,708	111%	285	71%	248	81%	12,934	11,754	110%
山口	コシヒカリ	14,341	595	14,353	100%	13,747	104%	398	149%	451	132%	14,360	13,739	105%
山口	ひとめぼれ	13,228	702	13,242	100%	12,606	105%	823	85%	728	96%	13,220	12,675	104%
山口	ヒノヒカリ	13,172	424	13,297	99%	12,688	104%	303	140%	628	68%	13,220	12,727	104%
徳島	コシヒカリ	14,580	240	14,580	100%	-	-	124	194%	-	-	14,269	13,095	109%
徳島	キヌヒカリ	-	-	13,608	-	11,880	-	120	-	120	-	13,608	11,561	118%
香川	ヒノヒカリ	13,184	765	13,184	100%	12,343	107%	586	131%	616	124%	13,179	12,330	107%
香川	コシヒカリ	13,881	512	13,891	100%	13,367	104%	449	114%	533	96%	13,891	13,347	104%
愛媛	コシヒカリ	13,138	331	13,137	100%	12,365	106%	315	105%	321	103%	13,429	12,538	107%
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	12,398	-	11,713	-	123	-	193	-	12,381	11,730	106%
愛媛	あきたこまち	12,354	123	-	-	11,613	106%	-	-	142	87%	12,633	11,738	108%
高知	コシヒカリ	14,323	132	14,250	101%	13,278	108%	408	32%	216	61%	14,959	13,511	111%
高知	ヒノヒカリ	-	-	13,602	-	-	-	151	-	-	-	13,602	12,630	108%
福岡	夢つくし	15,603	707	15,547	100%	15,070	104%	529	134%	1,247	57%	15,826	15,216	104%
福岡	ヒノヒカリ	14,125	1,235	14,147	100%	13,410	105%	912	135%	1,968	63%	14,150	13,490	105%
福岡	元気つくし	15,769	1,597	15,096	104%	14,680	107%	2,564	62%	2,863	56%	15,468	15,027	103%
佐賀	さがびより	14,242	761	14,220	100%	14,272	100%	682	112%	588	129%	14,234	14,175	100%
佐賀	夢しずく	13,277	623	13,304	100%	12,871	103%	609	102%	329	189%	13,332	12,958	103%
佐賀	ヒノヒカリ	13,164	145	13,219	100%	12,581	105%	185	78%	394	37%	13,181	12,643	104%
長崎	にこまる	14,730	282	14,745	100%	14,176	104%	326	87%	270	104%	14,736	14,180	104%
長崎	ヒノヒカリ	14,435	250	14,414	100%	13,830	104%	247	101%	205	122%	14,437	13,857	104%
長崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,296	14,785	103%
熊本	ヒノヒカリ	13,941	747	14,216	98%	13,466	104%	611	122%	779	96%	14,077	13,577	104%
熊本	森のくまさん	14,094	211	-	-	14,151	100%	-	-	130	162%	14,178	14,322	99%
熊本	コシヒカリ	15,541	370	15,548	100%	14,557	107%	691	54%	389	95%	15,427	14,531	106%
大分	ヒノヒカリ	14,308	995	14,507	99%	13,212	108%	500	199%	529	188%	14,277	13,196	108%
大分	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,391	13,404	107%
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,721	14,266	103%
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	14,592	-	13,542	-	125	-	336	-	14,484	13,602	106%
鹿児島	ヒノヒカリ	15,331	131	15,219	101%	14,602	105%	236	56%	170	77%	15,087	14,216	106%
鹿児島	あきほなみ	-	-	14,814	-	14,579	-	223	-	110	-	14,881	14,796	101%
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,222	14,414	106%
全銘柄平均価格、合計数量		14,315	408,142	14,350	100%	13,245	108%	204,786	199%	297,749	137%	14,284	13,175	108%

注：本表の注意点は、前々頁の脚注を参照。

## (4) スポット価格の状況

〔○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。〕

スポット価格①〔日本コメ市場株式会社  
株式会社加工用米取引センター〕

税抜価格

### 【平成28年産】

産地、銘柄		平成28年 8月	9月	10月	11月	12月	1月
青森まっしぐら	日本コメ市場（取引会）		12,925				
青森つがるロマン	日本コメ市場（随時）				13,093	13,175	
岩手ひとめぼれ	日本コメ市場（取引会）					13,500	13,557
秋田あきたこまち	日本コメ市場（随時）		13,507	13,691	13,635	13,646	
	日本コメ市場（取引会）		13,471			13,731	13,883
福島中通コシヒカリ	日本コメ市場（随時）			13,200			
茨城コシヒカリ	日本コメ市場（取引会）	13,151	13,450				13,315
茨城あきたこまち	日本コメ市場（取引会）	12,834					
栃木コシヒカリ	日本コメ市場（随時）				13,200	13,147	
	日本コメ市場（取引会）					13,145	
栃木あさひの夢	日本コメ市場（取引会）					12,900	12,919
千葉ふさこがね	日本コメ市場（取引会）		12,913				
千葉ふさおとめ	日本コメ市場（取引会）	12,661					
新潟コシヒカリ（一般）	日本コメ市場（取引会）		15,231			14,400	14,325

### 【平成27年産】

産地、銘柄		平成27年 9月	10月	11月	12月	平成28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
北海道ななつぼし	日本コメ市場（取引会）		12,406										
北海道きらら397	日本コメ市場（随時）										12,400		
青森つがるロマン	日本コメ市場（随時）				11,400	11,638	11,623	11,883				12,462	
	日本コメ市場（取引会）											12,700	
岩手ひとめぼれ	日本コメ市場（取引会）						12,446	12,648	13,241				
宮城ひとめぼれ	日本コメ市場（随時）			12,196						14,337			
秋田あきたこまち	日本コメ市場（随時）	11,724	11,722		12,000	12,046	12,255	12,768	13,960	14,425	14,240	13,483	
	日本コメ市場（取引会）		11,732			12,048		12,455	14,070			13,352	13,689
福島中通コシヒカリ	日本コメ市場（随時）		11,429			12,053	12,000	12,064	12,640	12,771		12,322	
	日本コメ市場（取引会）											12,169	12,550
福島中通ひとめぼれ	日本コメ市場（取引会）			11,503				12,688					
茨城コシヒカリ	日本コメ市場（随時）	11,463	11,661	11,800	11,938		12,299	12,172	12,733	12,958		12,419	
	日本コメ市場（取引会）		11,766	11,650		11,917		12,135	12,593				
栃木コシヒカリ	日本コメ市場（随時）			11,700	11,700		12,253	12,215	12,516	13,100			
	日本コメ市場（取引会）											12,209	
栃木あさひの夢	日本コメ市場（取引会）			11,200		11,214							
千葉ふさおとめ	日本コメ市場（取引会）		10,851										
千葉あきたこまち	日本コメ市場（取引会）			11,500		11,581		12,152					
新潟コシヒカリ（一般）	日本コメ市場（随時）			15,371	15,551		15,548	15,654	15,465	15,537			
	日本コメ市場（取引会）		14,971	15,363		15,479		15,568	15,466			14,760	14,138

出典：日本コメ市場株式会社HP、株式会社加工用米取引センターHP

注：1 日本コメ市場（随時）の価格は、随時取引（取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引）の下期（16日～月末分。ただし、下期が公表されていない場合は上期）の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

2 日本コメ市場（取引会）の価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において日本コメ市場、クリスタルライスの共同で開催される取引会での成約価格（取引数量により加重平均）であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

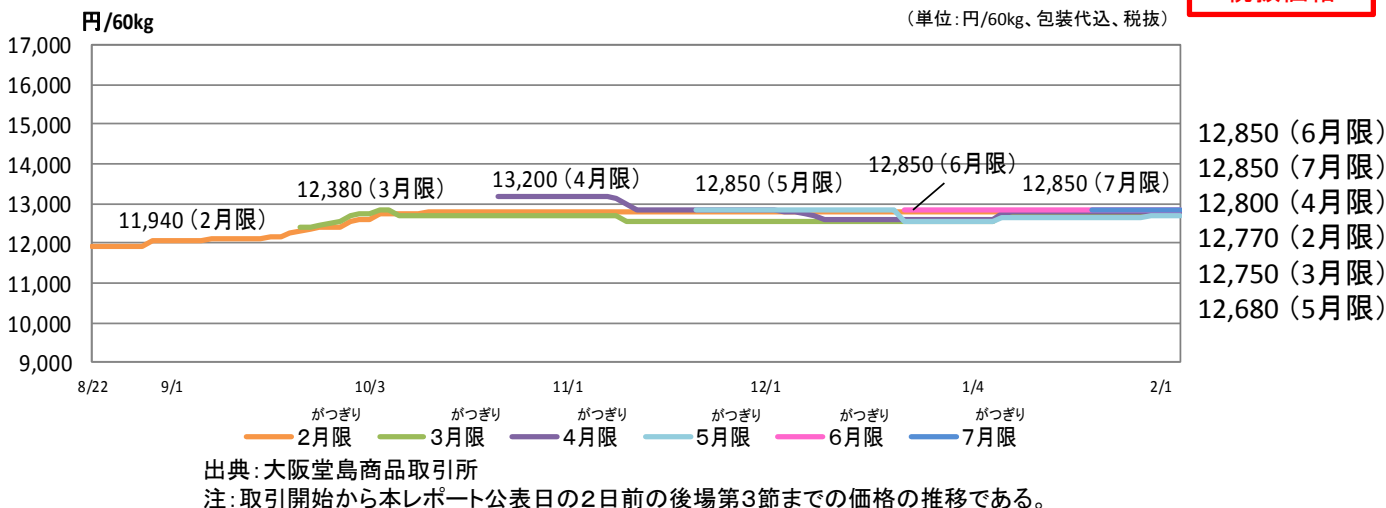
3 加工用米取引センターの価格は、着地持込価格であり、包装代を含む価格。特に記載のない場合は、1等。

## 2 米の先物取引価格の推移

- 米の先物取引価格(2月3日)は、先月(1月6日)に比べ終値で、東京コメが+210円/60kg(4月限)～±0円/60kg(2、6月限)、大阪コメが▲160円/60kg(3月限)～±0円/60kg(2、5、6月限)、新潟コシが▲850円/60kg(12月限)～▲550円/60kg(6月限)。

### ①東京コメ

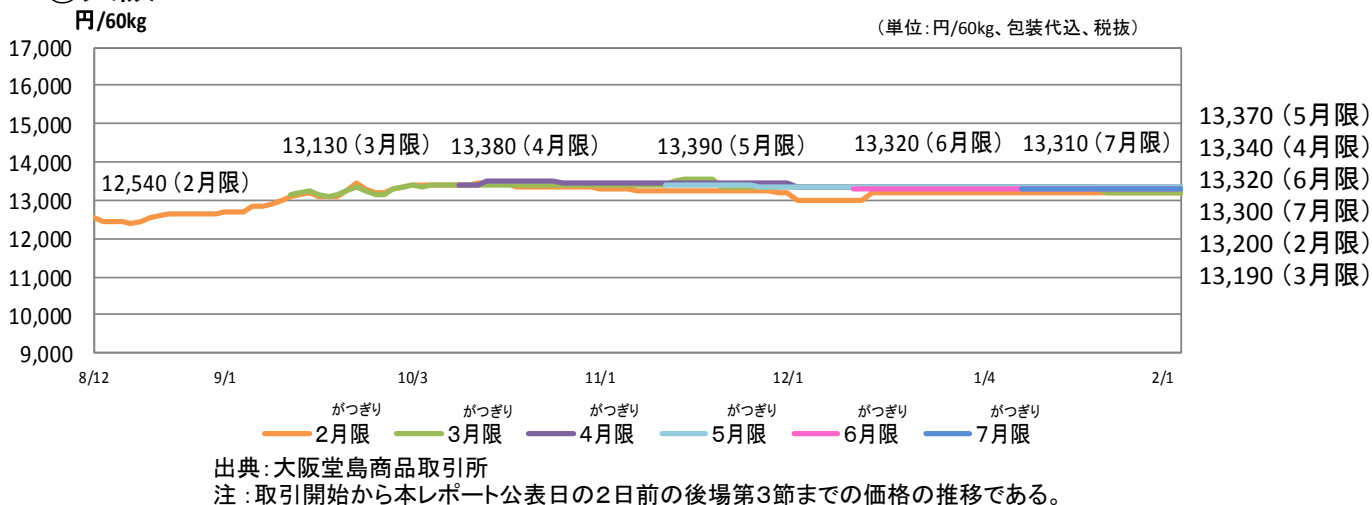
税抜価格



12,850 (6月限)  
12,850 (7月限)  
12,800 (4月限)  
12,770 (2月限)  
12,750 (3月限)  
12,680 (5月限)

### ②大阪コメ

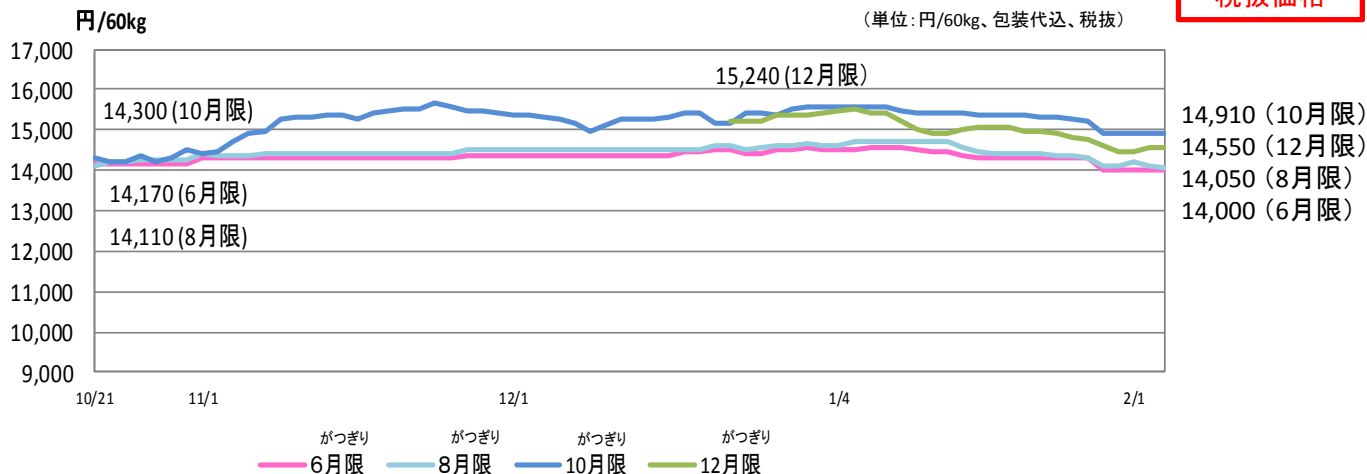
税抜価格



13,370 (5月限)  
13,340 (4月限)  
13,320 (6月限)  
13,300 (7月限)  
13,200 (2月限)  
13,190 (3月限)

### ③新潟コシ

税抜価格



14,910 (10月限)  
14,550 (12月限)  
14,050 (8月限)  
14,000 (6月限)



### 3 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成29年1月分)

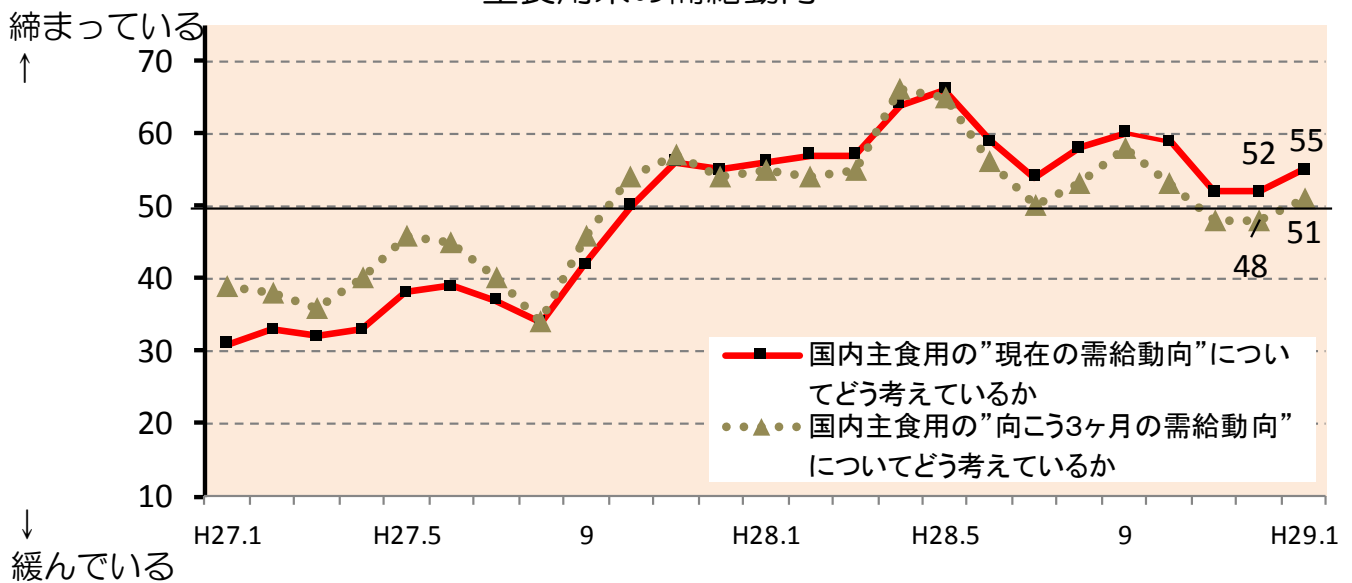
- 米穀機構が公表している米取引関係者の判断に関する調査(平成29年1月分)によると、主食用米の需給動向は、前月に比べ現状判断は+3ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は+3ポイント。

#### 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

##### ① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I	前月からの増減 + 3 (今月の数値 55)
(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)	前月からの増減 + 3 (今月の数値 51)

#### 主食用米の需給動向



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来) 締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来) 緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

以上の他、「自社の取引状況に関する判断(業態ごと)」など  
 詳細な情報は、米穀機構ホームページ(米ネット)を参照ください。  
 【<http://www.komenet.jp/>】  
 また、マンスリーレポート(資料編)にも掲載しております。

##### 《アンケート方法等》

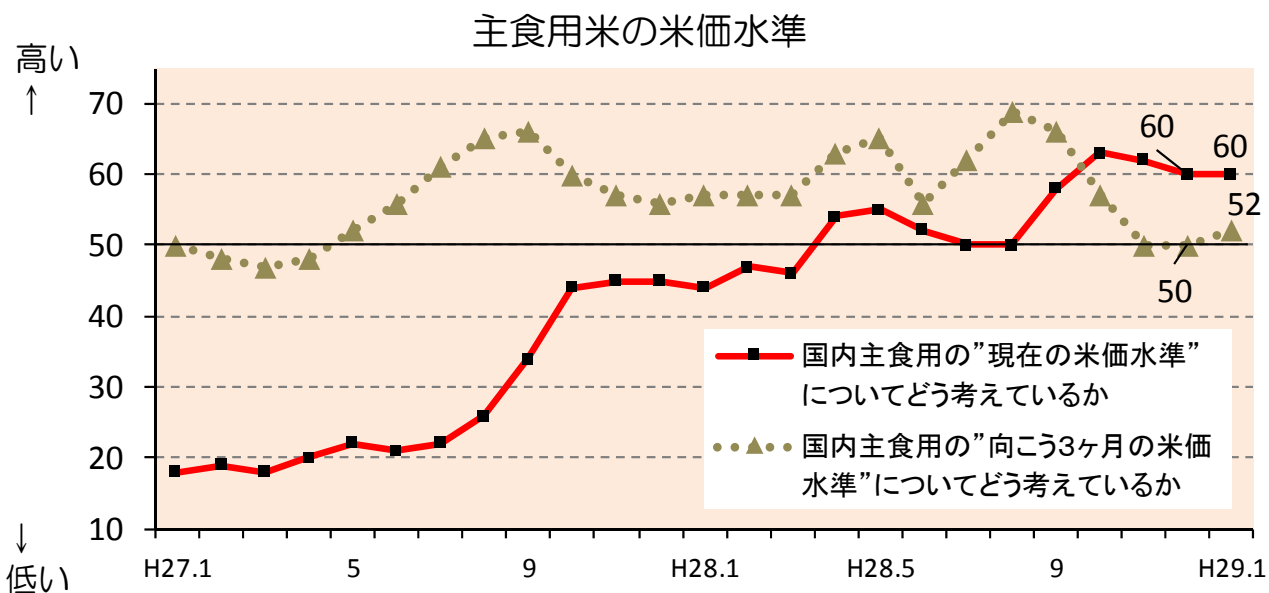
- 調査期間: 毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法: 電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者: 全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の165客体
- 有効回答数: 138客体
  - 生産者…………… 10
  - 集出荷業者/団体…………… 27
  - 卸売業者(主に主食用米) …… 27
  - 小売業者/中食・外食業者 …… 56
  - その他…………… 18

※「その他」は以下の業者です。  
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者  
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者

- 米価水準は、前月に比べ現状判断は±0ポイント、見通し（向こう3ヶ月）判断は+2ポイント。

② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断D I	前月からの増減	±0	(今月の数値 60)
(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)	前月からの増減	+2	(今月の数値 52)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

《利用上の注意》

○ 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

《DIの算出例》

問: 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

## Ⅳ 主食用米以外（輸出を含む）

### 1 28年産米の作付状況

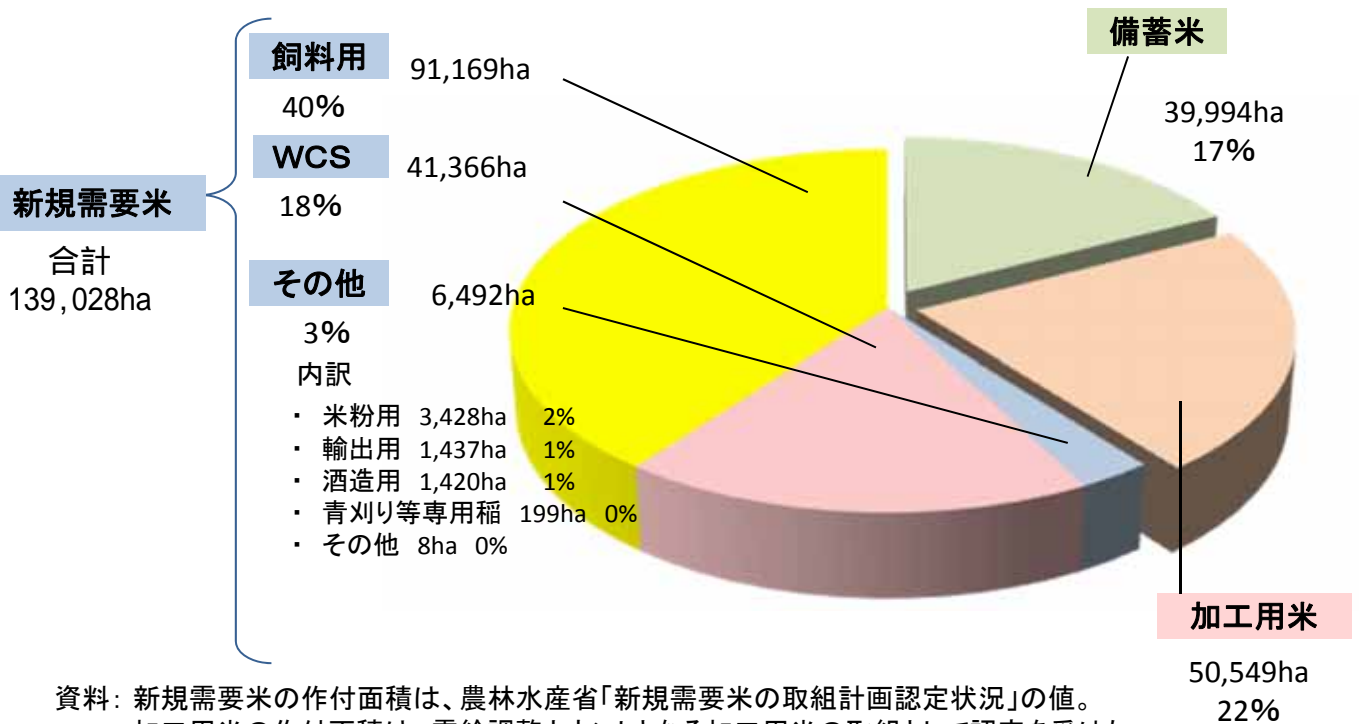
- 平成28年産米の作付面積は、主食用米が138.1万ha、主食用米以外が約23万ha。
- 主食用米以外の取組は、新規需要米13.9万ha、加工用米5.1万ha、備蓄米4.0万ha。

#### (1) 28年産米の用途別作付面積及び生産量

	計	主食用米	新規需要米	加工用米	備蓄米
作付面積 (万ha)	161.1	138.1	13.9	5.1	4.0
生産量 (万トン)		752	52	28	23

WCS、青刈り等専用稲は生産量に計上していない

#### (2) 主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）



資料：新規需要米の作付面積は、農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」の値。

加工用米の作付面積は、需給調整カウントとなる加工用米の取組として認定を受けた平成28年9月15日現在の値。

備蓄米作付面積は、都道府県農業再生協議会からの28年度報告値。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成28年9月15日現在の値。

注2：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

#### (3) 新規需要米の用途別認定状況

	新規需要米(28年産)							
	合計	飼料用	米粉用	輸出用	酒造用	稲発酵粗飼料稲	青刈り等専用稲	その他
作付面積 (ha)	139,028	91,169	3,428	1,437	1,420	41,366	199	8
計画生産量 (ト)	515,200	481,468	18,454	7,950	7,309			19

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成28年9月15日現在の値。

注2：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

注3：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

## 2 加工用米及び新規需要米の取組状況概要

- 清酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の平成27米穀年度における使用量は対前年と同程度の約95万トン程度（推計）。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約8割。残りの約2割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 加工用米の生産量及び特定米穀の流通量が増加し、国産原料米を調達しやすい環境にあったことから、味噌を中心に、外国産原料からの転換が進んだところ。

### 27米穀年度（平成26年11月～27年10月）における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	12 (9)	10		3			25 (9)
米菓用	1	2		7	2	1	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	5	5					10
味噌用		1		7	1		9
焼酎用 (泡盛含む)		1		5	2		8
米穀粉用		1	2	2	2	1	8
その他用	1			2	1		4
合計	18	22	2	24	9	2	77

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	3	2				2	7
米菓用	2	1		1	1	2	6
米穀粉用	1					1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	7	4		1	1	6	19

- 注1： 清酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。  
 注2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約7万トンを含んでいない。  
 注3： 焼酎は単式蒸留しょうちゆう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号）であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。  
 注4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。  
 注5： 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。  
 注6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

#### 【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
 清酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）  
 焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）、米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用  
 その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
 主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「農産物検査結果」（農林水産省）、  
 加工用米・・・「需要に応じた米生産の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告  
 新規需要米（米粉用米）・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量  
 MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）  
 輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）  
 特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

### 3 主食用米（生産数量目標の枠内）のうち加工原材料用向け販売数量及び加工用米生産量の状況

- 全国の生産数量目標の枠内で生産された米穀のうち加工原材料用向けに販売された数量は、集出荷業者からの聞き取りによれば、約13万ト。
- また、加工用米の生産量は、約27万ト。

(単位:ト)

	26年産	
	主食用米（生産数量目標の枠内）のうち加工原材料用向け販売数量	加工用米の生産量
北海道	33,900	19,454
青森県	400	9,885
岩手県	5,000	9,095
宮城県	7,800	5,142
秋田県	4,900	59,404
山形県	1,900	21,465
福島県	4,100	2,708
茨城県	300	10,578
栃木県	800	11,698
群馬県	30	6,153
埼玉県	2,300	1,025
千葉県	500	6,893
東京都		
神奈川県		
新潟県	21,600	36,242
富山県	1,500	6,471
石川県	2,000	4,569
福井県	200	4,057
山梨県	10	224
長野県	300	4,912
岐阜県	1,000	1,245
静岡県	300	676
愛知県	200	2,325
三重県	20	1,493
滋賀県	1,900	6,684
京都府	500	1,672
大阪府		
兵庫県	200	3,588
奈良県	200	1
和歌山県		
鳥取県		1,231
島根県	800	1,627
岡山県	2,400	2,884
広島県	2,900	1,644
山口県	600	3,411
徳島県	20	170
香川県	2,300	145
愛媛県	900	
高知県	400	191
福岡県	3,000	2,163
佐賀県	21,300	753
長崎県	200	62
熊本県	700	4,995
大分県	200	496
宮崎県		5,495
鹿児島県		3,443
沖縄県		
計	13万	27万

資料：農林水産省とりまとめ

注：「主食用米から加工原材料用向け」については、集出荷業者等が米加工業者に販売した生産数量目標の枠内で生産された米の数量であり、全国生産出荷団体、都道府県出荷団体、認定方針作成者等からの聞き取りによるもの（もち米を含み、酒造好適米を除く）。なお、集出荷業者等が米卸等に販売し、当該米卸が米加工業者に販売した数量は含まれない。

## 4 飼料用米の需要量

- 畜産側の平成28年産に係る飼料用米の需要量は、約120万トン。
  - ① 全農グループ飼料会社：年間約56万トン（米使用可能数量約82万トンのうちMA米・備蓄米含まない数量）
  - ② (協)日本飼料工業会組合員工場：年間約61万トン（MA米・備蓄米を含まない数量）
  - ③ 全国酪農農業協同組合連合会の年間使用可能数量は、約1万トン（MA米、備蓄米を含む数量）
  - ④ 日本養鶏連の年間使用量は、約3万トン（MA米、備蓄米を含む数量）
  - ⑤ 畜産農家の新規需要量：112件、約3万トン（平成28年6月30日現在の報告分。追加情報は随時更新）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は以下のとおり。

① 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量（平成27年12月現在）

地区	年間使用可能数量 (千トン)	備考
北海道	88	ホクレンくみあい飼料
東北	217	JA全農北日本くみあい飼料
関東	146	JA東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	30	JA東日本くみあい飼料
東海	46	〃
近畿・中国	46	JA西日本くみあい飼料
四国	32	〃
北九州	49	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	162	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
合計	817	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等により制限される可能性がある。

※問い合わせ先: JA全農 営農販売企画部飼料用米対策課 TEL: 03-6271-8279

② 日本飼料工業会組合員の工場の飼料用米需要量（平成27年11月調査）

地区	需要量 (千トン: 単年度)	(参考) 中長期需要量注2 (千トン: 単年度)
北海道	36	147
東北	155	305
関東	109	405
中部	49	207
関西	82	277
九州	177	623
合計	608	1,964

注1) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量。

注2) 新たな設備投資等を含め、中長期的にみた日本飼料工業会組合員飼料メーカーの需要量。(平成26年3月調査)

注3) 上記の需要量には、MA米、備蓄米は含まない。

注4) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※(協)日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー(工場)との仲介を実施。

※問い合わせ先: 「飼料用米ダイヤル」TEL: 03-3583-8031 E-mail: Esamai@jafma.or.jp

③ 全国酪農農業協同組合連合会の飼料用米の使用可能数量（平成28年5月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン)	備考
北海道	8.4	政府所有米穀(MA米)使用
東北	2.0	政府所有米穀と新規需要米併用
関東	0.8	政府所有米穀と新規需要米併用
中部	0.4	新規需要米使用
関西	1.0	政府所有米穀と新規需要米併用
九州	0.0	原料タンクの調整が必要
合計	12.6	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。

※輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量

※四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※問い合わせ先: 全国酪農農業協同組合連合会 購買部飼料製造課 TEL: 03-5931-8007

④ 日本養鶏連の飼料用米の使用可数量（平成28年4月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン: 単年度)	備考
北海道	0.0	
東北	0.5	*粳米、不可
関東	1.5	
北陸	0.0	
東海	1.2	
近畿・中国	4.0	*粳米、不可
四国	0.0	
九州	19.5	*一部、粳米不可
合計	26.7	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。

※輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量

※四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※問い合わせ先: 日本養鶏連 事業部 TEL: 03-5296-7041



⑤ 畜産農家の28年産飼料用米の新規需要量（平成28年6月30日現在）

都道府県	新規需要量		確保済み	
	件数	数量（トン）	件数	数量（トン）
北海道	3	1,002	1	1,000
宮城県	1	2,400	1	2,400
茨城県	7	226	3	80
群馬県	8	999	2	23
埼玉県	1	120		
千葉県	4	1,370	0	580
山梨県	14	431	4	69
長野県	9	278	8	256
静岡県	6	905		
愛知県	10	1,709	8	1,355
京都府	1	60		
大阪府	1	5		
兵庫県	10	1,851		
奈良県	5	1,610	2	380
和歌山県	1	50		
島根県	1	400	1	400
広島県	2	9		
徳島県	2	2,005	1	0
香川県	4	100		
福岡県	1	1,200	0	900
佐賀県	5	3,010		
長崎県	10	1,740	0	30
大分県	3	2,125	2	1,625
宮崎県	2	1,964	1	1,748
鹿児島県	1	1,800		
<b>合計</b>	<b>112</b>	<b>27,369</b>	<b>34</b>	<b>10,846</b>

※供給先が確保されていない新たな需要及びマッチング状況について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載（現在とりまとめ中の都道府県もあり）

※追加の希望があれば随時更新

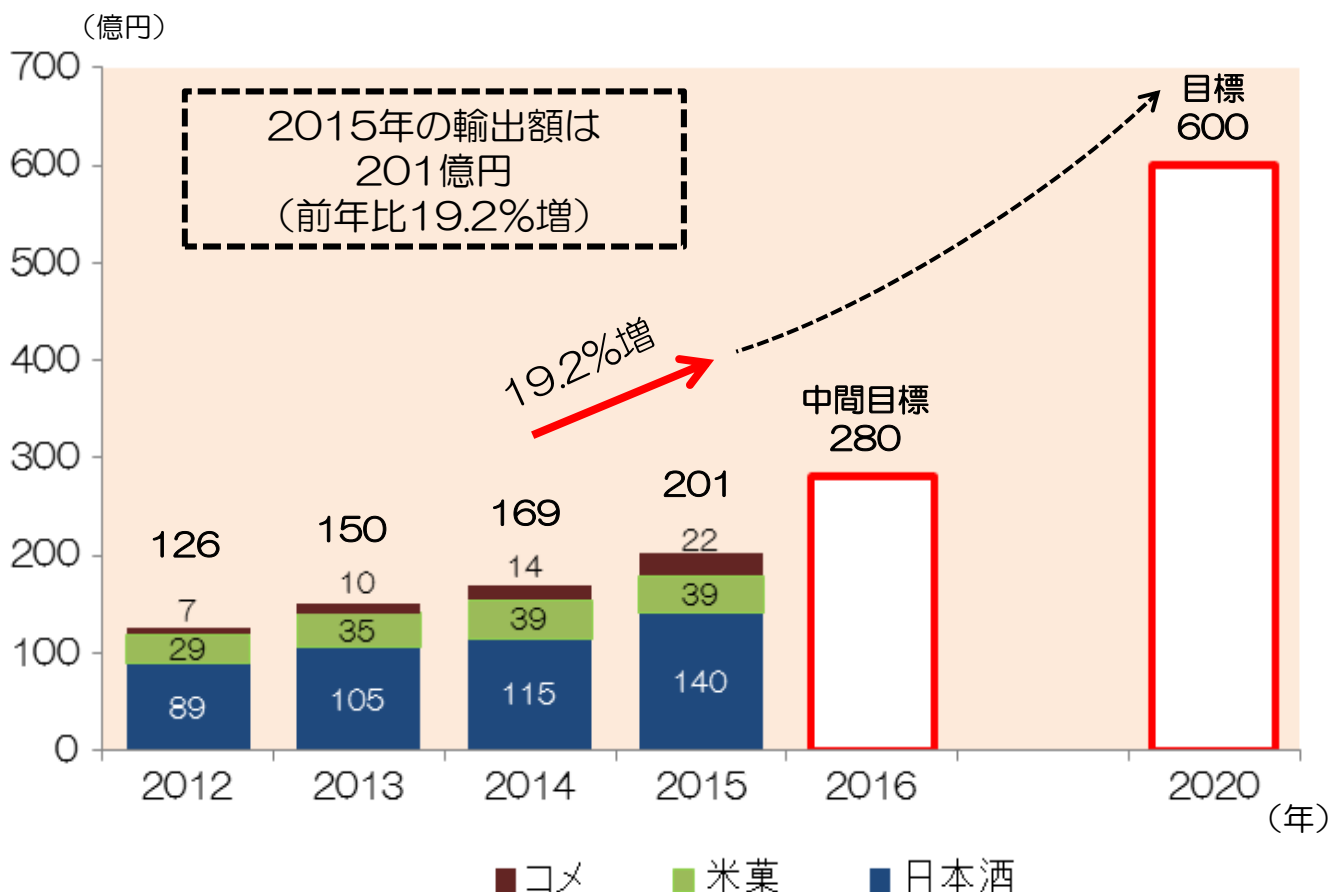
※確保済みの件数については、一部確保済みの場合も含む

※問い合わせ先：生産局畜産部飼料課 TEL：03-3502-5993

## 5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を2020年（平成32年）までに600億円とすることとし、オールジャパンでの輸出拡大を推進。
- 2015年の輸出額は、201億円（前年比19.2%増）。

### コメ・コメ加工品の輸出状況



### コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

	日本酒		米菓		コメ	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
2012年	14,131	8,946	3,123	2,902	2,202	726
2013年	16,202	10,524	3,606	3,487	3,121	1,030
2014年	16,314	11,507	4,012	3,944	4,516	1,428
2015年	18,180	14,011	3,679	3,869	7,640	2,234

資料：財務省「貿易統計」（政府による食料援助を除く。）  
注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

## 6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

### 2020年に向けた輸出額目標

「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を、平成32年までに600億円とすることとしている。

### 輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

#### 【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール



#### 【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

重点国

新興市場：中東、中国、EU

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国



#### 【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港



### 輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

日本産米輸出の統一ロゴマーク



THIS IS  
JAPAN QUALITY  
日本のおいしい米。



（注）QRコードから、日本産米のPR映像が流れるHPへリンク

## V 支援事業等

### (1) 水田活用の直接支払交付金

- 水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等の作物を生産する農業者に対して交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力を向上。

### 水田活用の直接支払交付金(1)

【平成29年度予算概算決定額:3,150(3,078)億円】

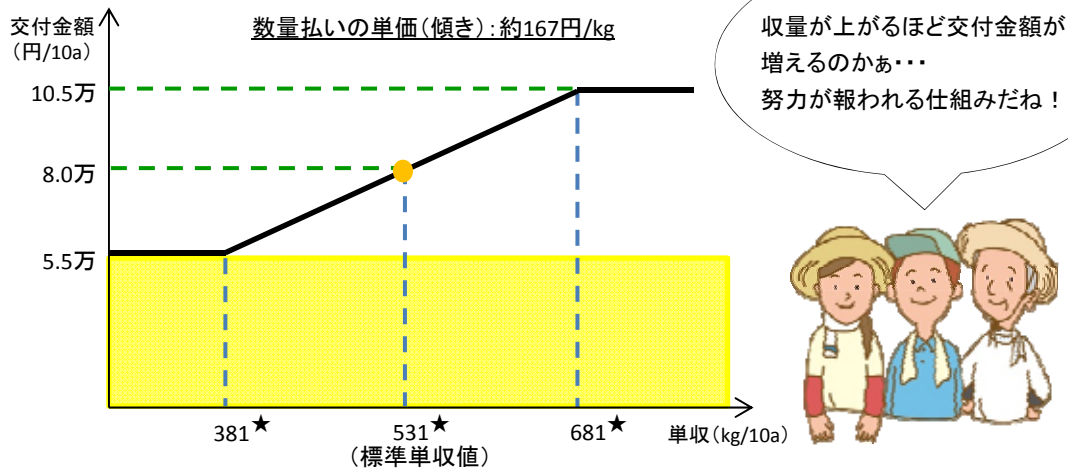
#### (1) 支援内容

##### ① 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物※	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 55,000円～105,000円/10a

※ 子実用とうもろこし(飼料用)を含む

#### <飼料用米、米粉用米の交付単価のイメージ>



- 数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量確認を受けていることを条件とします。
- ★は全国平均の平年単収(標準単収値)に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、市町村等が当該地域に応じて定めている単収(配分単収)を適用します。なお、各地域における標準単収値を当年産の作柄(作柄表示地帯別)に応じて調整します。

#### <標準単収値の作柄調整の考え方>

$$\text{標準単収値} = \text{配分単収} \times \frac{\text{当年産のふるい目1.70mm以上の10アール当たり収量}}{\text{ふるい目1.70mm以上の10アール当たり平年収量}}$$

(小数点以下切り上げ)

## 水田活用の直接支払交付金(2)

### ② 産地交付金

#### 基本的運用

- 地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づき、二毛作や耕畜連携を含め、産地づくりに向けた取組を支援します。
- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会が助成内容(交付対象作物・取組・単価等)を設定できます。
- また、地域の取組に応じた追加配分(下表参照)を行います。

対象作物	取組内容	追加配分単価
飼料用米 米粉用米	多収品種への取組	12,000円/10a
加工用米	複数年契約(3年間)の取組 ※ 継続分のみ。	12,000円/10a
備蓄米	平成29年産政府備蓄米の買入 入札における落札 ※ 平成23年度に県別優先枠として配分した6万トンについては対象外。	7,500円/10a
そば なたね	作付の取組 ※ 基幹作のみ。	20,000円/10a

このほか、主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回ることとなる都道府県に対して追加配分(5,000円/10a)します。

#### 助成内容の設定

- 助成内容は以下のルールに即して設定します。

- ① 戦略作物助成の対象作物に対する助成については、生産性向上等の一定の取組に対する助成とすること
- ② 経営所得安定対策等における趣旨を損なうような助成としないこと  
(例：品位の低いもののみへの加算)
- ③ 主食用米、輸出用米及び調整水田等の不作付地に対する助成は行わないこと

# 水田活用の直接支払交付金の支払面積等(1)

- 支払対象者数は47万8千件で、平成26年度の支払実績と比べて1万8千件減少。
- 支払面積は、戦略作物全体では55万5千haと、平成26年度に比べて6万4千ha増加。
- 作物別には、
  - (ア) 麦は、全国的に作付けがやや増加し、3千ha増の17万1千ha
  - (イ) 大豆は、全国的に作付けが増加し、7千ha増の11万3千ha
  - (ウ) 飼料作物は、北海道、東北、九州地方を中心に作付けがやや増加、1千ha増の10万3千ha。
  - (エ) 新規需要米（WCS用稲、米粉用米、飼料用米）は、主食用米からの転換が全国的に進み、三品目全てで作付けが増加、5万4千ha増の12万2千ha。
  - (オ) 加工用米は、2千ha減の4万6千ha。

## (1) 水田活用の直接支払交付金の支払対象者数

	支払対象者数 (件)	支払対象者数		
		個人	法人	集落営農
平成27年度	478,293	461,858	9,931	6,504
平成26年度	496,286	480,885	8,960	6,441
対前年度比較	▲ 17,993	▲ 19,027	+ 971	+ 63

## (2) 水田活用の直接支払交付金における戦略作物の支払面積

### ① 基幹作物＋二毛作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	新規需要米			加工用米	合計	(参考)		
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね	備蓄米
平成27年度	170,590	113,016	103,234	121,533	37,860	4,206	79,467	46,157	554,529	34,125	585	43,771
平成26年度	167,451	105,690	101,736	67,926	30,669	3,372	33,885	48,051	490,855	34,735	497	43,876
対前年度比較	+ 3,139	+ 7,326	+ 1,497	+ 53,606	+ 7,190	+ 833	+ 45,582	▲ 1,894	+ 63,674	▲ 610	+ 88	▲ 104

### ② 基幹作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	新規需要米			加工用米	合計	(参考)	
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね
平成27年度	98,950	85,805	72,176	121,528	37,860	4,206	79,462	44,098	422,556	25,019	471
平成26年度	97,605	80,231	72,054	67,925	30,669	3,371	33,885	45,996	363,810	25,899	363
対前年度比較	+ 1,345	+ 5,574	+ 123	+ 53,602	+ 7,190	+ 835	+ 45,577	▲ 1,898	+ 58,746	▲ 879	+ 108

### ③ 二毛作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	新規需要米			加工用米	合計	(参考)	
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね
平成27年度	71,640	27,211	31,057	5	-	-	5	2,059	131,973	9,106	114
平成26年度	69,846	25,460	29,683	1	-	1	-	2,055	127,045	8,836	134
対前年度比較	+ 1,794	+ 1,751	+ 1,375	+ 4	-	▲ 1	+ 5	+ 4	+ 4,928	+ 269	▲ 20



## 水田活用の直接支払交付金の支払面積等(2)

- 平成26年度から導入した米粉用米及び飼料用米の数量払い分の対象面積、数量、平均単収については、
  - (ア) 米粉用米では、4千ha（1千ha増）、2万3千トン（5千トン増）539kg/10a。
  - (イ) 飼料用米では、7万8千ha（4万5千ha増）、43万2千トン（25万トン増）、555kg/10a。

### (3) 米粉用米、飼料用米(数量払い分)の支払面積、支払数量、平均単収

	米粉用米			飼料用米		
	面積(ha)	数量(t)	単収(kg/10a)	面積(ha)	数量(t)	単収(kg/10a)
平成27年度	4,180	22,519	539	77,731	431,696	555
平成26年度	3,336	18,014	540	32,790	181,769	554
対前年度比較	+ 844	+ 4,505	▲ 1	+ 44,942	+ 249,927	+ 1

注) 飼料用米等の数量払いは平成26年度から実施している。面積は、数量払いで交付した面積であるため、前記戦略作物の支払面積と異なっている。数量は、農産物検査機関による数量確認を受けた数量、単収は上記「数量」/「面積」により算定。数量払いの実績には、農産物検査を受けていない取組及び飼料用米を生もみで出荷又は利用する取組の面積及び数量は含まない。

### (4) 耕畜連携助成の支払面積

(単位: ha)

	飼料用米 のわら 利用	水田放牧	資源循環 の取組	合計
平成27年度	19,866	1,299	25,636	46,800
平成26年度	9,776	1,271	20,944	31,992
対前年度比較	+ 10,090	+ 28	+ 4,691	+ 14,808

## 米の直接支払交付金の支払面積等

- 支払対象者数は82万件で、平成26年度に比べて5万8千件減少。
- 支払面積は95万3千ha（10a控除前：103万9千ha）で、平成26年度に比べて4万3千ha減少。

### (5) 米の直接支払交付金の支払対象者数、支払面積

	支払対象者数 (件)				支払面積 (ha)	(参考)
		個人	法人	集落営農		支払面積 10a控除前 (ha)
平成27年度	820,373	808,023	7,806	4,544	953,064	1,039,251
平成26年度	877,996	866,303	7,048	4,645	996,210	1,089,278
対前年度比較	▲ 57,623	▲ 58,280	+ 758	▲ 101	▲ 43,146	▲ 50,027

## (2) 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

- 諸外国との生産条件の格差により不利がある国産農産物（麦、大豆等）について、引き続き生産コストと販売額の差に相当する額を直接交付。

### 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

【平成29年度予算概算決定額： 1,950(1,948)億円】

#### (1) 支援内容（数量払）

##### ① 麦類

品質区分 (等級/ランク)	1等				2等			
	A	B	C	D	A	B	C	D
小麦 (ハフ・中華麺用品種:60kg当たり)	8,990円	8,490円	8,340円	8,280円	7,830円	7,330円	7,180円	7,120円
小麦 (上記品種以外:60kg当たり)	6,690円	6,190円	6,040円	5,980円	5,530円	5,030円	4,880円	4,820円
二条大麦 (50kg当たり)	5,520円	5,100円	4,980円	4,930円	4,660円	4,240円	4,110円	4,060円
六条大麦 (50kg当たり)	6,000円	5,580円	5,450円	5,400円	4,970円	4,550円	4,430円	4,380円
はだか麦 (60kg当たり)	8,610円	8,110円	7,960円	7,870円	7,040円	6,540円	6,390円	6,310円

等級:被害粒の割合や粒揃いの違いで区分。A~Dランク:たんばく質の含有率等の違いで区分

##### ② 大豆

品質区分(等級)	1等	2等	3等
普通大豆(60kg当たり)	9,940円	9,250円	8,570円
特定加工用大豆(60kg当たり)	7,890円		

特定加工用:豆腐・油揚げ、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆

##### ③ そば

品質区分(等級)	1等	2等
45kg当たり	17,470円	15,360円

等級:容積重の違いや被害粒の割合で区分

##### ④ なたね

品質区分(品種)	キザキノナタネ キラリボシ ナナシキブ	その他の 品種
60kg当たり	9,940円	9,200円

##### ⑤ てん菜

品質区分(糖度)	← (+0.1度)	16.3度	→ (▲0.1度)
1t当たり	+ 62円	7,180円	▲ 62円

糖度:てん菜の重量に対するショ糖の含有量

##### ⑥ でん粉原料用ばれいしょ

品質区分 (でん粉含有率)	← (+0.1%)	19.5%	→ (▲0.1%)
1t当たり	+ 64円	11,610円	▲ 64円

でん粉含有率:ばれいしょの重量に対するでん粉の含有量

## (2) 支援内容 (面積払 (営農継続支払))

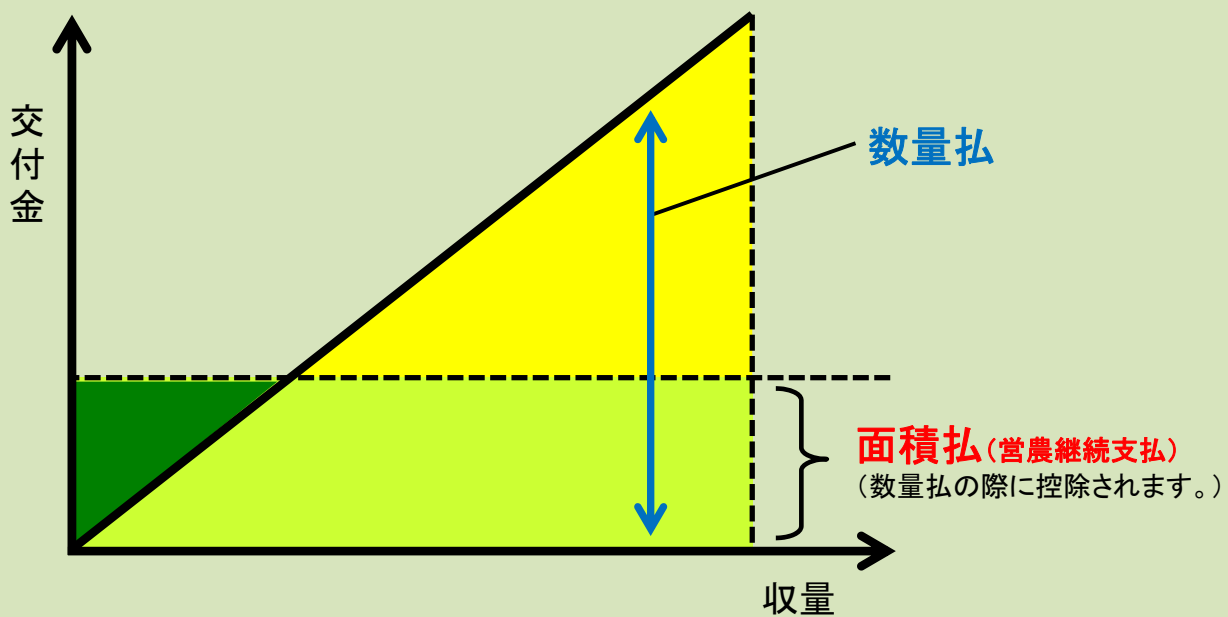
### ① 交付対象面積

当年産の作付面積に応じて交付

### ② 交付単価

10aあたり2万円  
※「そば」は、10aあたり1万3千円

### ③ 数量払と面積払 (営農継続支払) の関係



#### 交付対象者

※ 交付対象者に変更ありません。

**認定農業者、集落営農、認定新規就農者**  
(いずれも規模要件は課しません。)

#### 対象作物

麦、大豆、そば、なたね  
てん菜、でん粉原料用ばれいしょ(北海道産のみ)  
(ビール用麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象外)

### (3) 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）

#### 米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)

【平成29年度概算決定額：746(753)億円(所要額)】

米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）は、農家抛出を伴う経営に着目したセーフティーネットであり、米及び畑作物の農業収入全体の減少による影響を緩和するための保険的制度です。

#### (1) 交付対象者

支援の対象となる農業者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です（いずれも規模要件はありません）。

※ 集落営農の要件は、2要件（組織の規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施）に緩和し、「農業経営の法人化」及び「地域における農地利用の集積」については、市町村が確実に行われると判断するものとします。

#### (2) 対象農産物

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょです。

- ※1 ビール麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象となりません。
- ※2 てん菜、でん粉原料用ばれいしょは、北海道で生産されるものが対象です。

#### 【10a当たり標準的収入額とは】

通常年に想定される収入額として、前年産以前5カ年の収入額のうち、最高年と最低年を除いた3カ年の平均収入額で、品目ごと、地域ごとに計算しています。各年産の収入額は、米であれば、地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、地域の実単収を乗じて算出します。

#### 【10a当たり当年産収入額とは】

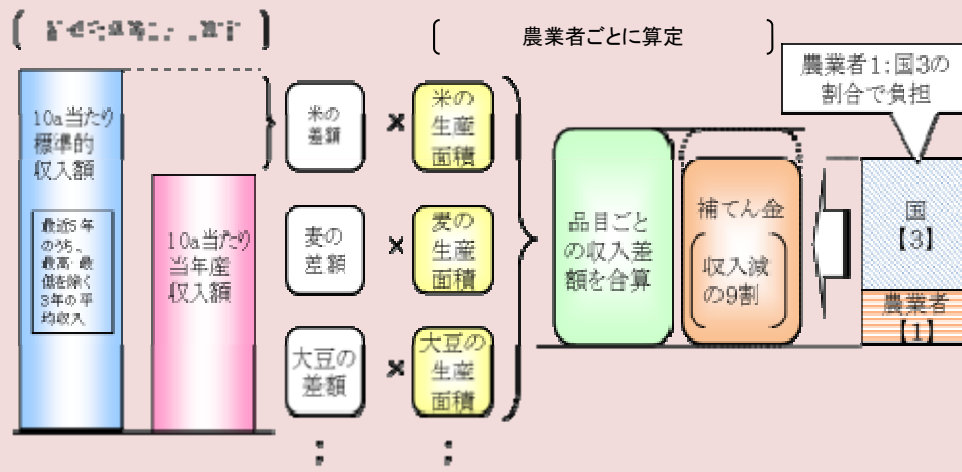
当年産の収入額として、品目ごと、地域ごとに計算しています。当年産の収入額は、米であれば、当年産の地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、当年産の地域の実単収を乗じて算出します。

#### (3) ナラシ対策の仕組み

- 農業者の米、麦、大豆等の当年産の販売収入の合計（当年産収入額）が、標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てんします。

$$\text{補てん額} = (\text{標準的収入額} - \text{当年産収入額}) \times 0.9$$

- 補てんの財源は、農業者と国が1対3の割合で負担します。
- このため、補てんを受けるには、農業者からの積立金の抛出が必要となります。
- 補てん後の積立金の残額は、翌年産へ繰り越されるため、掛け捨てとはなりません。



(参考) 平成27年産ナラシ対策の支払い実績 (平成28年8月31日現在)

全 国 都 道 府 県	加入件数 (件)	支払件数 (件)	補てん総額 (億円)	(参考1) ※	(参考2) ※	
				米の10a当たり 補てん単価 (円/10a)	米加入面積10haの 場合の補てん額の推計 (万円)	
全 国	108,733	93,891	332.33	9,418	94	
北 海 道	19,968	8,872	29.14	4,283	42	
東 北	青 森 県	5,283	4,993	9.89	6,995	69
	岩 手 県	3,381	3,175	8.20	5,086	50
	宮 城 県	4,340	4,229	19.98	7,931	79
	秋 田 県	8,746	8,441	19.52	5,943	59
	山 形 県	7,698	7,451	7.86	2,893	28
	福 島 県	4,779	4,642	17.42	12,005	120
関 東	茨 城 県	3,263	3,074	14.42	17,913	179
	栃 木 県	5,141	4,989	20.47	13,354	133
	群 馬 県	958	931	1.79	2,502	25
	埼 玉 県	1,265	1,188	2.62	10,642	106
	千 葉 県	1,082	1,050	5.63	16,495	164
	東 京 都	4	3	0.00	8,568	85
	神 奈 川 県	125	121	0.14	10,647	106
	山 梨 県	137	123	0.28	11,545	115
	長 野 県	1,412	1,344	10.01	15,093	150
	静 岡 県	338	328	2.71	12,411	124
北 陸	新 潟 県	12,617	12,440	53.45	11,598	115
	富 山 県	1,509	1,320	6.08	5,788	57
	石 川 県	1,776	1,719	10.03	10,702	107
	福 井 県	1,172	1,094	6.78	9,079	90
東 海	岐 阜 県	681	654	4.26	9,270	92
	愛 知 県	641	608	6.57	9,900	99
	三 重 県	933	913	6.00	10,133	101
近 畿	滋 賀 県	2,406	2,363	13.19	12,606	126
	京 都 府	334	306	0.88	9,878	98
	大 阪 府	29	25	0.01	9,081	90
	兵 庫 県	1,095	916	1.45	7,844	78
	奈 良 県	91	85	0.14	14,604	146
	和 歌 山 県	77	68	0.04	8,207	82
中 国 ・ 四 国	鳥 取 県	435	391	1.95	12,343	123
	島 根 県	749	734	4.83	11,895	118
	岡 山 県	903	865	3.34	15,352	153
	広 島 県	545	516	3.82	10,839	108
	山 口 県	845	817	2.84	7,483	74
	徳 島 県	231	208	0.40	13,037	130
	香 川 県	563	540	3.18	13,662	136
	愛 媛 県	644	615	2.29	15,634	156
	高 知 県	283	270	0.48	11,126	111
九 州	福 岡 県	1,995	1,924	9.15	6,103	61
	佐 賀 県	1,613	1,554	7.26	5,236	52
	長 崎 県	862	772	0.51	3,795	37
	熊 本 県	3,569	3,350	6.53	6,843	68
	大 分 県	1,410	1,306	2.74	10,157	101
	宮 崎 県	1,791	1,601	2.27	14,072	140
	鹿 児 島 県	919	873	1.74	6,962	69
沖 縄 県	95	90	0.05	2,052	20	

(注1) 加入件数は、平成27年7月31日時点の積立金納付者の件数である。

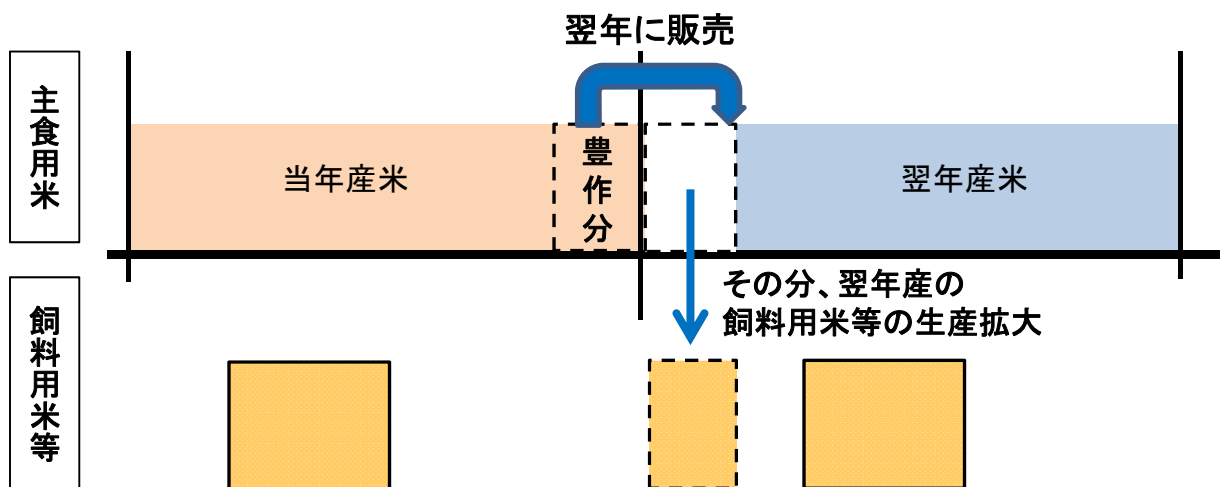
(注2) ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

※ 米の10a当たり補てん単価及び米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、20%コースの場合。米のみで試算したものであり、実際の支払では、麦・大豆等との合算相殺がある。また、(参考2)の米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、表記上、1万円未満は切り捨てている。

## (4) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

### ① 主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：29年度概算要求額50億円（対前年同額））
- 当事業には、平成27年度には17道県、平成28年には30道県以上が参加しており、出来秋の需給対策として、今後とも本事業の継続・推進を図る。
- 平成30年産に向けては、必要がある場合に、この支援措置を活用して、豊作分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金を活用して、翌年産の飼料用米等の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。  
（水田活用の直接支払交付金：29年度概算要求額 3,322億円（対前年+245億円））



### ② 米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム

- 業務用等の取引に関するマッチングセミナー・イベントの開催に対して支援。
- 産地の自主的な取組により、需要に応じた生産・販売が行われる環境整備を図る観点から、気象の影響等により必要が生じた場合には、産地の判断により、主食用米を長期計画的に販売する取組や輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施する体制を構築していくことが必要。
- あらかじめ生産者等が積立てを行い、産地の取組を実施する場合に国も一定の支援。

#### 全国事業

業務用等の取引に関するマッチングセミナー・イベントの開催支援(定額)

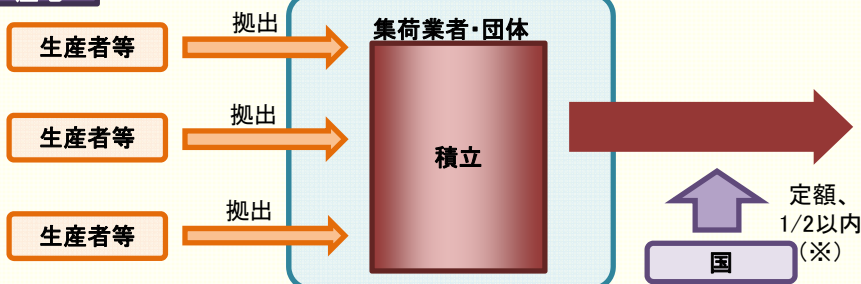
〔業務用米取引セミナー〕

〔展示商談会〕

民間団体が行う業務用米の生産・流通の拡大に向けたセミナー、展示商談会を支援。  
→ 生産者と実需者の連携(マッチング)促進による安定供給の拡大



#### 産地



#### 産地自らの自主的な取組

- 主食用米の
- ① 周年安定供給のための長期計画的な販売
  - ② 輸出用向けの販売促進等
  - ③ 業務用向け等の販売促進等
  - ④ 非主食用への販売
- (※) 値引きや価格差補てんのための費用は支援の対象外。

また、取引参加者の利便性を向上させるため、現物市場が共同でシステムの開発・導入を行う場合等に支援。



### ③ 米穀周年供給・需要拡大支援事業活用状況（28年度）

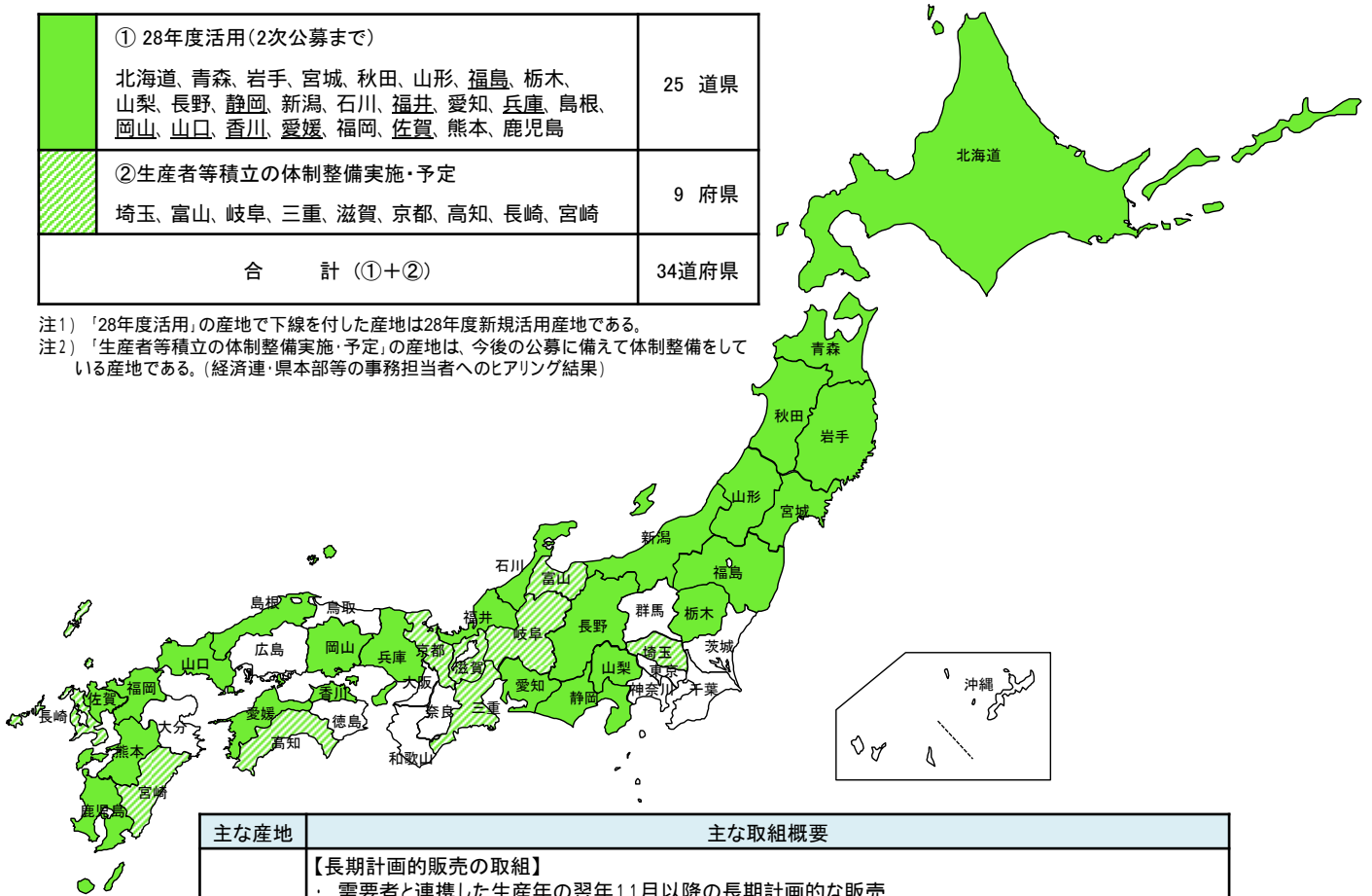
米穀周年供給・需要拡大支援事業の活用状況は、

- 平成27年度では、17道県、18事業者が活用。
- 平成28年度では、25道県、27事業者が活用しており、出来秋の需給対策として、今後とも本事業を継続・推進。

① 28年度活用(2次公募まで)	25 道県
北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、栃木、山梨、長野、静岡、新潟、石川、福井、愛知、兵庫、島根、岡山、山口、香川、愛媛、福岡、佐賀、熊本、鹿児島	
②生産者等積立の体制整備実施・予定	9 府県
埼玉、富山、岐阜、三重、滋賀、京都、高知、長崎、宮崎	
合計(①+②)	34道府県

注1) 「28年度活用」の産地で下線を付した産地は28年度新規活用産地である。

注2) 「生産者等積立の体制整備実施・予定」の産地は、今後の公募に備えて体制整備をしている産地である。(経済連・県本部等の事務担当者へのヒアリング結果)



主な産地	主な取組概要
北海道	<b>【長期計画的販売の取組】</b> ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 <b>【輸出向けへの販売促進等の取組】</b> ・ 海外向け北海道米PRパンフレットの作成配布 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ キャラクター(マツコ・デラックス)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「ゆめぴりか」のPR ・ 認知度向上に向けた情報収集、データ分析による販路拡大手法の検討
秋田	<b>【長期計画的な販売の取組】</b> ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ キャラクター(小芝 風花)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「あきたこまち」のPR ・ 食味分析データを用いた販売促進パンフレットの作成配布 ・ 外食事業者等が参加する各種商談会での試食等の実施
山形	<b>【輸出向けへの販売促進等の取組】</b> ・ 海外百貨店等での「つや姫」、「はえぬき」PRキャンペーンの開催 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ キャラクター(V6 長野 博)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「はえぬき」のPR ・ 販路拡大に向けたコンサルティング活動
栃木	<b>【長期計画的な販売の取組】</b> ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ 地元出身書道家(涼 風花)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「とちほのか」のPR ・ 公共交通機関のラッピングバス等を活用したPR
石川	<b>【長期計画的販売の取組】</b> ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 <b>【輸出向けへの販売促進等の取組】</b> ・ 現地市場等調査による実需者ニーズの把握や石川県産米パンフレットの作成配布 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ 各種メディアを活用した石川県産米のPR ・ 毎月2日を「おにぎりの日」に制定し、これを起点にした試食イベント等の開催

## VI 消費動向

### (1) 米の消費動向（米穀機構による調査）

〔 ○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。 〕

- 米穀機構が公表している「米の消費動向」（平成28年12月）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月との比較で+8.4%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月との比較で+9.7%、中・外食は同+5.8%。

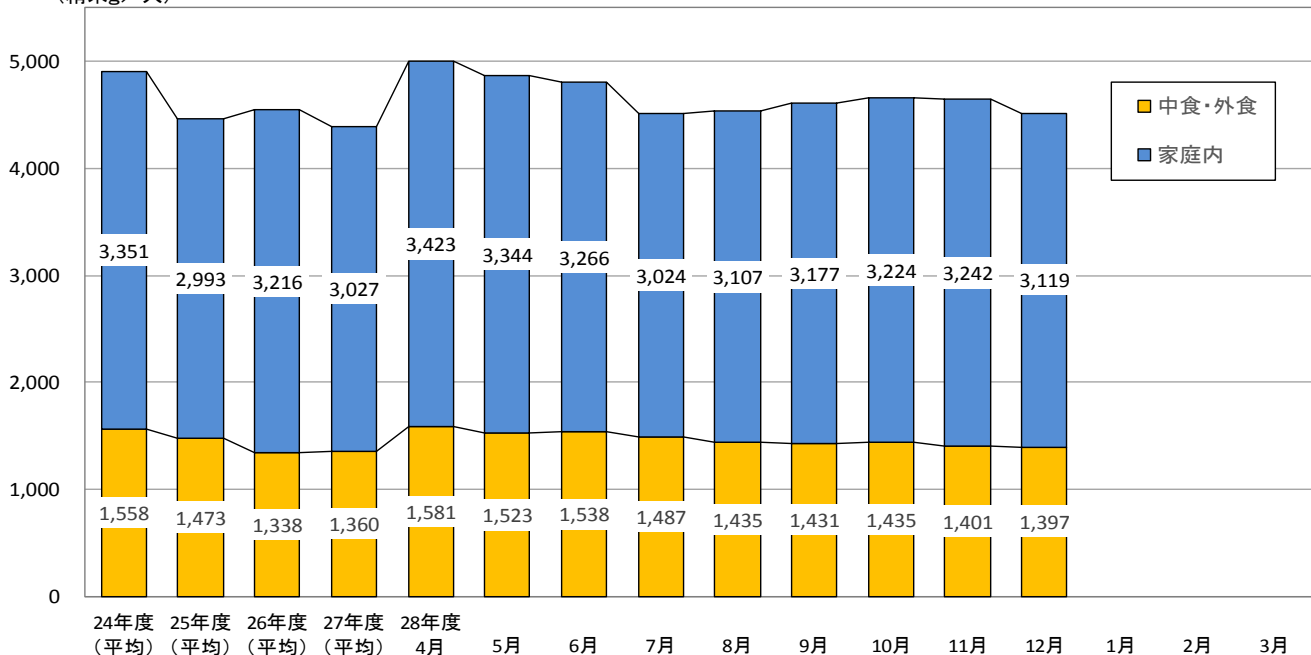
#### ① 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移

（精米g/人、%）

		精米消費量					内訳(比率)					前年同月比(比率)				
		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
			中食	外食	中食	外食		中食	外食	中食	外食					
24年度	-	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲ 4.4	▲ 3.1	▲ 6.1
25年度	-	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲ 9.0	▲ 10.7	▲ 5.5	▲ 6.0	▲ 4.7
26年度	-	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲ 9.2	▲ 10.4	▲ 7.5
27年度	-	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲ 3.7	▲ 5.9	1.6	4.6	▲ 2.2
28年度	4月	5,004	3,423	1,581	948	633	100.0	68.4	31.6	18.9	12.6	2.6	2.1	3.6	4.4	2.4
	5月	4,868	3,344	1,523	915	608	100.0	68.7	31.3	18.8	12.5	5.5	7.9	0.7	▲ 1.5	3.9
	6月	4,805	3,266	1,538	920	618	100.0	68.0	32.0	19.1	12.9	6.4	5.2	9.0	7.7	11.0
	7月	4,511	3,024	1,487	872	615	100.0	67.0	33.0	19.3	13.6	6.1	3.4	12.1	11.9	12.2
	8月	4,542	3,107	1,435	836	600	100.0	68.4	31.6	18.4	13.2	8.9	7.0	13.3	16.3	9.7
	9月	4,608	3,177	1,431	841	590	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	4.5	3.2	7.7	11.5	2.6
	10月	4,659	3,224	1,435	834	601	100.0	69.2	30.8	17.9	12.9	6.4	7.0	4.8	2.0	9.1
	11月	4,643	3,242	1,401	809	592	100.0	69.8	30.2	17.4	12.8	5.5	5.5	5.3	8.7	0.9
	12月	4,515	3,119	1,397	813	584	100.0	69.1	30.9	18.0	12.9	8.4	9.7	5.8	6.1	5.0

#### 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移(グラフ)

（精米g/人）



出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成28年12月分の有効調査世帯数は1,885世帯。

2 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

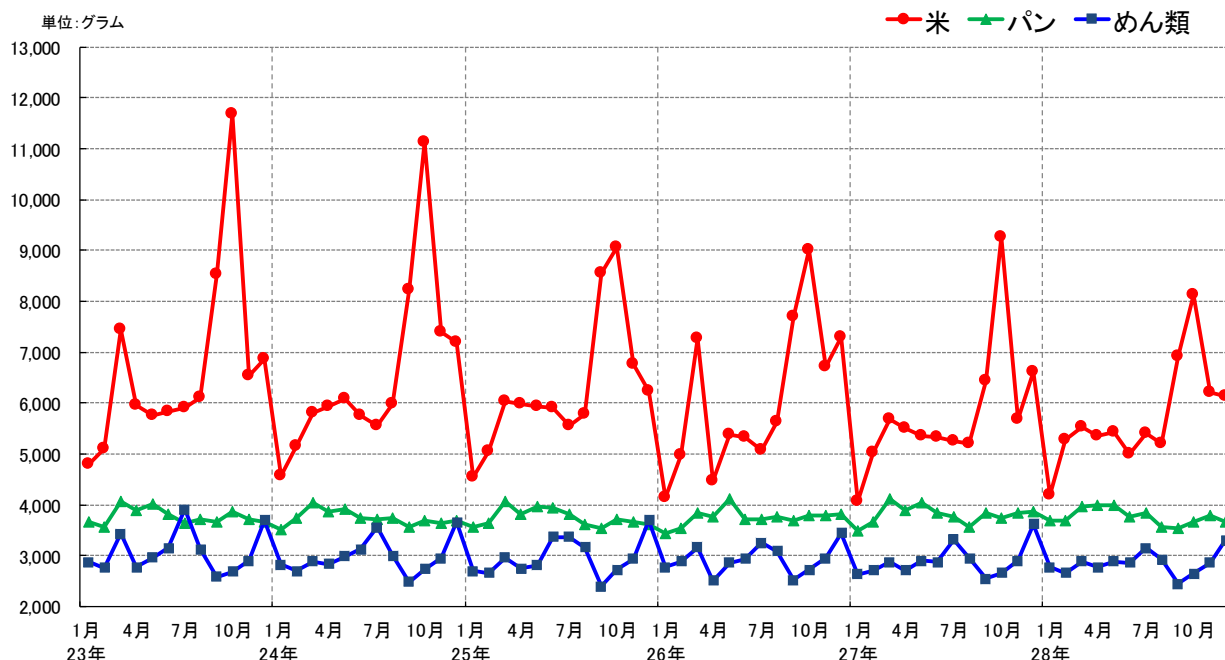
3 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

4 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

## (2) 購入数量の推移（家計調査）

- 総務省が公表している家計調査によると、平成28年12月の米の購入数量は、前年同月との比較で▲7.4%の6.1kg、パンについては▲5.0%の3.7kg、めん類については▲8.6%の3.3kg。

### 1世帯当たり購入数量の推移



### (表) 1世帯当たり購入数量の推移

(単位：グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
平成27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
平成28年1月	4,180	103.0%	3,693	105.7%	2,771	105.0%
2月	5,280	105.0%	3,694	100.7%	2,661	98.2%
3月	5,520	97.0%	3,961	96.1%	2,886	100.2%
4月	5,340	97.1%	3,978	102.5%	2,776	102.3%
5月	5,430	101.5%	3,991	98.8%	2,884	99.3%
6月	5,000	94.0%	3,767	97.9%	2,860	99.5%
7月	5,390	102.5%	3,833	101.9%	3,153	95.2%
8月	5,210	100.2%	3,560	99.9%	2,924	99.1%
9月	6,910	107.3%	3,536	92.2%	2,444	96.0%
10月	8,120	87.8%	3,653	97.8%	2,652	99.6%
11月	6,210	109.1%	3,780	98.5%	2,856	98.4%
12月	6,120	92.6%	3,665	95.0%	3,308	91.4%

資料： 総務省「家計調査」

注：1 二人以上の世帯の数値である。

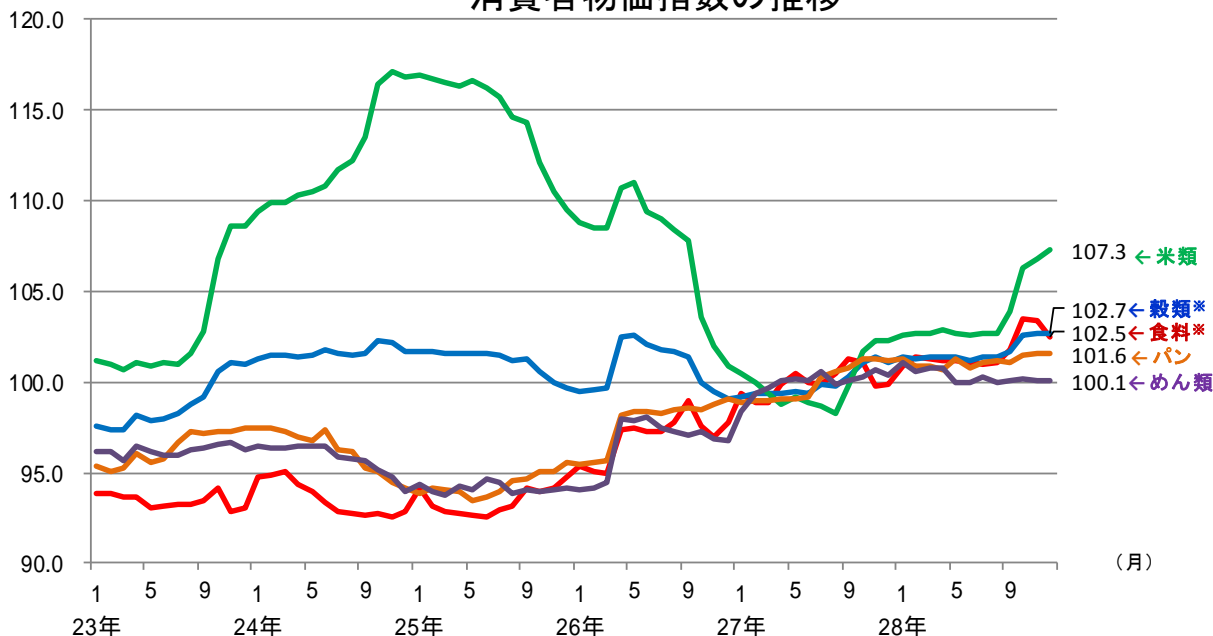
2 平成20年から平成27年については、年間の購入数量を示す。

3 米は精米ベースである。

### (3) 消費者物価指数（27年基準）の推移

- ・ 総務省が公表している消費者物価指数によると、平成28年12月の米類の指数は、先月との比較では+0.5の107.3ポイント。
- ・ なお、前年同月との比較では+5.0ポイント。

消費者物価指数の推移



注：1 図中の実線は、平成27年の平均価格を100とした数値となる。  
 2 図中の数値は、平成28年12月の消費者物価指数となる。  
 3 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

(表) 消費者物価指数の推移（対前年同月比）

(平成27年=100、指数)

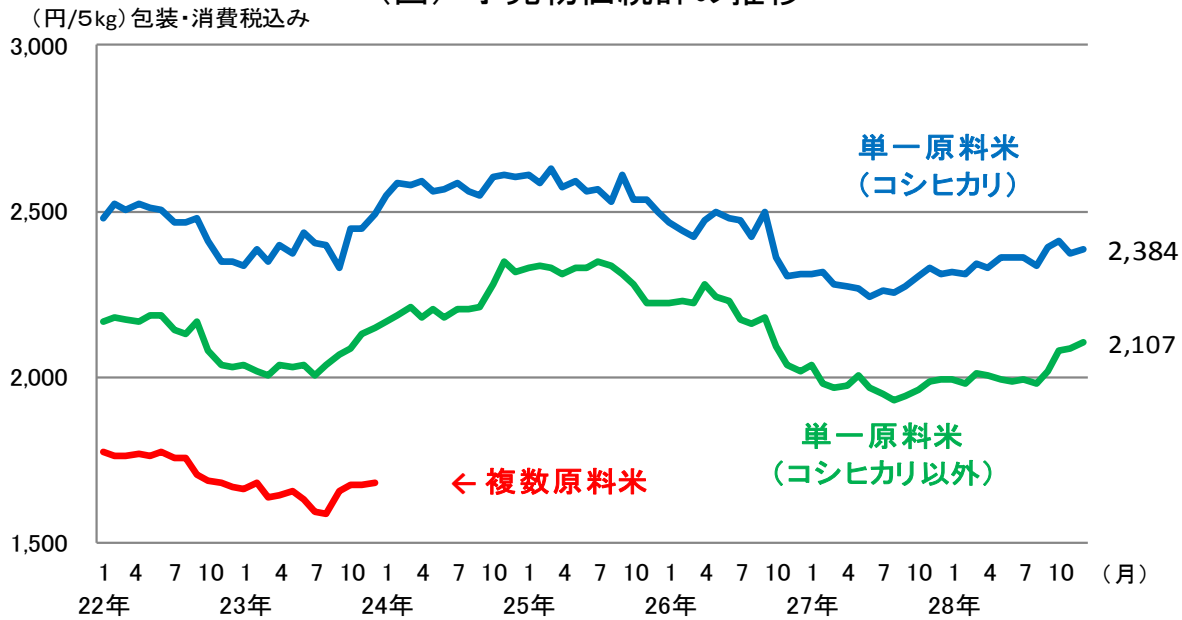
	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成17年	90.9	▲0.9%	98.9	▲6.6%	117.7	▲13.3%	118.3	▲12.9%	88.1	▲1.1%	88.5	▲0.8%
平成18年	91.3	0.5%	97.2	▲1.7%	114.1	▲3.1%	114.7	▲3.0%	88.0	▲0.1%	87.4	▲1.2%
平成19年	91.6	0.3%	96.7	▲0.5%	112.1	▲1.8%	112.8	▲1.6%	88.6	0.7%	87.0	▲0.5%
平成20年	93.9	2.6%	102.9	6.4%	110.7	▲1.3%	111.4	▲1.3%	99.8	12.6%	97.2	11.7%
平成21年	94.1	0.2%	103.7	0.8%	111.1	0.4%	111.6	0.2%	100.1	0.3%	98.8	1.7%
平成22年	93.9	▲0.3%	100.4	▲3.2%	107.2	▲3.5%	107.7	▲3.5%	96.2	▲3.9%	97.0	▲1.9%
平成23年	93.5	▲0.4%	98.8	▲1.6%	103.0	▲4.0%	103.4	▲4.0%	96.4	0.2%	96.2	▲0.8%
平成24年	93.6	0.1%	101.7	3.0%	112.4	9.2%	113.3	9.6%	96.3	▲0.1%	95.8	▲0.4%
平成25年	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
平成26年	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
平成27年	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
平成28年1月	100.9	1.5%	101.4	2.2%	102.6	2.1%	102.7	2.1%	101.3	2.4%	101.1	2.7%
2月	101.4	2.5%	101.3	1.9%	102.7	2.7%	102.7	2.7%	100.9	2.0%	100.6	1.2%
3月	101.3	2.5%	101.4	2.0%	102.7	3.3%	102.8	3.4%	100.9	1.9%	100.8	1.2%
4月	101.2	1.3%	101.4	2.0%	102.9	4.1%	102.9	4.2%	100.7	1.6%	100.8	0.7%
5月	101.2	0.7%	101.4	2.0%	102.7	3.5%	102.7	3.6%	101.3	2.2%	100.0	▲0.2%
6月	101.1	1.1%	101.2	1.8%	102.6	3.8%	102.7	3.9%	100.8	1.6%	100.0	0.0%
7月	101.0	1.1%	101.4	1.5%	102.7	4.1%	102.8	4.2%	101.1	0.8%	100.3	▲0.3%
8月	101.1	0.6%	101.4	1.6%	102.7	4.5%	102.8	4.6%	101.2	0.6%	100.0	0.1%
9月	101.8	0.6%	101.7	1.4%	103.9	4.1%	104.1	4.3%	101.1	0.3%	100.1	0.0%
10月	103.5	2.3%	102.6	1.4%	106.3	4.6%	106.6	4.8%	101.5	0.2%	100.2	▲0.2%
11月	103.4	3.6%	102.7	1.3%	106.8	4.4%	107.0	4.5%	101.6	0.3%	100.1	▲0.6%
12月	102.5	2.5%	102.7	1.6%	107.3	5.0%	107.8	5.2%	101.6	0.4%	100.1	▲0.3%

資料： 総務省「消費者物価指数」（平成27年基準）  
 注：1 表中の数値は、平成27年の平均価格を100として指数化したものである。  
 2 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。  
 3 穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。  
 4 平成17年から平成27年のデータは年平均、平成28年1月以降は月次データを用いている。

#### (4) 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、平成28年12月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、単一原料米（コシヒカリ）で、前月より+0.5%、前年同月より+3.1%の2,384円。
- 単一原料米（コシヒカリ以外）は、前月より+1.0%、前年同月より+5.9%の2,107円。

(図) 小売物価統計の推移



注：図中の数値は、平成28年12月の価格となる。

(表) 小売物価統計の推移

(単位：円/5kg)

	うるち米				
	単一原料米 (コシヒカリ)	対前年 (同月)比	単一原料米 (コシヒカリ以外)	対前年 (同月)比	複数原料米
平成17年	2,804	-	2,375	-	2,040
平成18年	2,744	▲2.1%	2,341	▲1.4%	1,996
平成19年	2,670	▲2.7%	2,288	▲2.3%	1,950
平成20年	2,610	▲2.2%	2,270	▲0.8%	1,832
平成21年	2,531	▲3.0%	2,201	▲3.0%	1,812
平成22年	2,462	▲2.7%	2,136	▲3.0%	1,739
平成23年	2,399	▲2.5%	2,053	▲3.9%	1,649
平成24年	2,577	7.4%	2,223	8.3%	-
平成25年	2,567	▲0.4%	2,307	3.8%	-
平成26年	2,428	▲5.4%	2,173	▲5.8%	-
平成27年	2,285	▲5.9%	1,973	▲9.2%	-
平成28年1月	2,318	0.3%	1,990	▲2.2%	-
2月	2,309	▲0.2%	1,980	▲0.1%	-
3月	2,343	2.8%	2,008	2.0%	-
4月	2,329	2.6%	2,005	1.7%	-
5月	2,357	4.1%	1,994	▲0.4%	-
6月	2,357	5.3%	1,985	0.8%	-
7月	2,360	4.3%	1,991	2.3%	-
8月	2,333	3.6%	1,980	2.5%	-
9月	2,391	5.1%	2,019	4.0%	-
10月	2,411	4.5%	2,079	6.0%	-
11月	2,372	1.8%	2,086	5.2%	-
12月	2,384	3.1%	2,107	5.9%	-

資料：総務省「小売物価統計」

注1：東京都区部の数値である。

2：特売を除いた価格である。

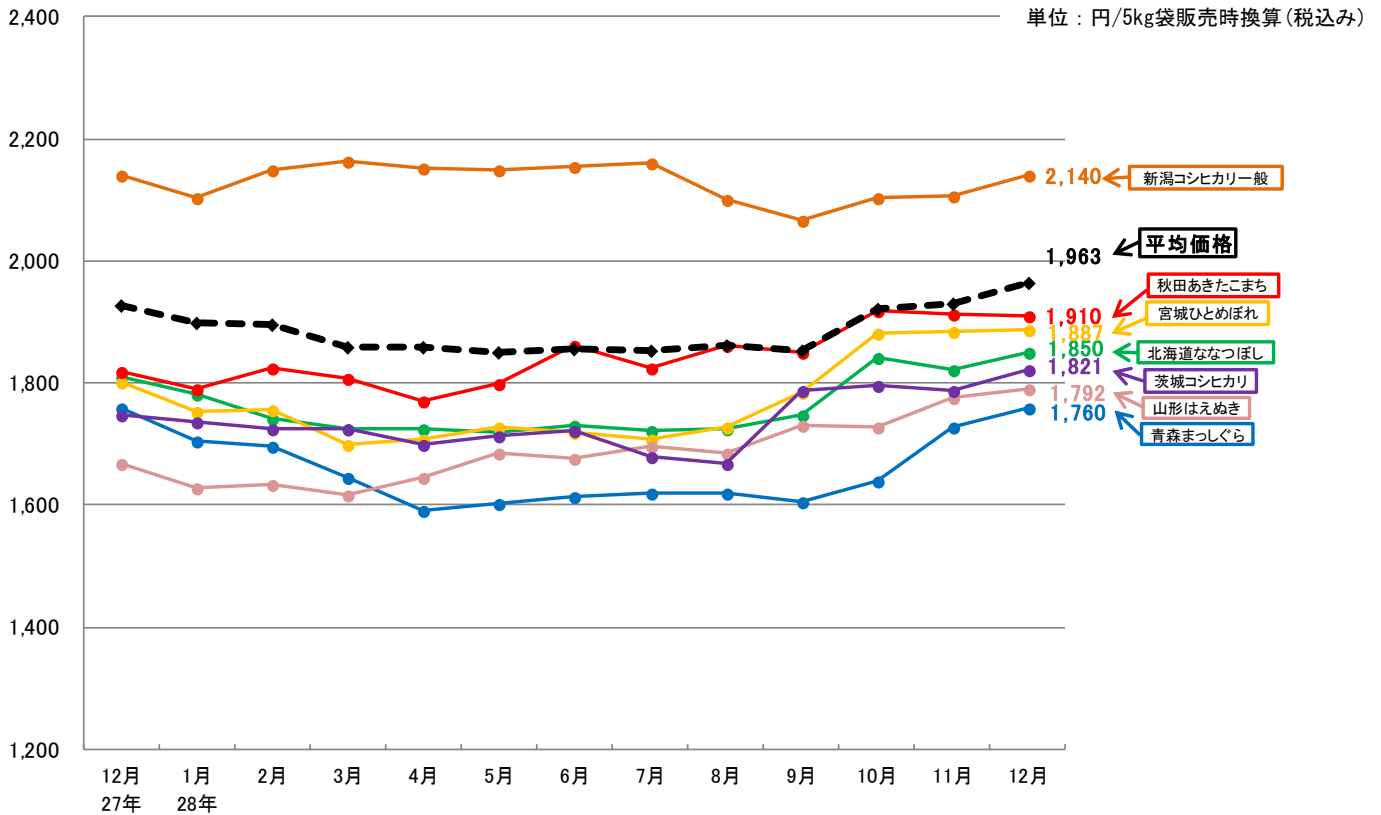
3：精米ベースである。

4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

## (5) 小売価格の推移 (POSデータ)

平成28年12月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、前月より+32円、前年同月より+37円(+1.9%)の1,963円。

(図)小売価格の推移



(表)小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄							全POS取引 平均価格
	北海道 ななつぼし	青森 まっしぐら	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	茨城 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	
27年12月	1,811	1,758	1,803	1,820	1,667	1,747	2,142	1,926
28年1月	1,782	1,705	1,754	1,791	1,629	1,737	2,104	1,897
2月	1,742	1,698	1,757	1,826	1,633	1,725	2,148	1,895
3月	1,726	1,645	1,700	1,807	1,618	1,726	2,163	1,859
4月	1,724	1,591	1,709	1,771	1,644	1,700	2,152	1,859
5月	1,718	1,603	1,728	1,798	1,686	1,714	2,148	1,849
6月	1,732	1,615	1,720	1,861	1,676	1,721	2,154	1,857
7月	1,721	1,621	1,707	1,826	1,697	1,679	2,160	1,852
8月	1,725	1,620	1,729	1,860	1,685	1,667	2,101	1,862
9月	1,746	1,604	1,785	1,849	1,732	1,789	2,065	1,853
10月	1,842	1,639	1,882	1,919	1,729	1,796	2,103	1,921
11月	1,823	1,727	1,885	1,913	1,776	1,788	2,106	1,931
12月	1,850	1,760	1,887	1,910	1,792	1,821	2,140	1,963
対前月比	1.5%	1.9%	0.1%	▲0.2%	0.9%	1.8%	1.6%	1.7%
対前年同月比	2.2%	0.1%	4.7%	4.9%	7.5%	4.2%	▲0.1%	1.9%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注：1 (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,040店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

5 価格に含む消費税は8%である。



## Ⅶ MA米（一般・SBS）の動向

### （１） MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オースト ラリア	その他	合 計	うち	
							一般輸入	SBS輸入※
平成7年度	19	11	3	9	1	43	42	1
平成8年度	23	14	4	9	1	51	49	2
平成9年度	29	15	5	9	1	60	54	6
平成10年度	31	15	8	11	3	68	55	12
平成11年度	34	16	9	12	2	72	59	12
平成12年度	36	17	10	12	2	77	63	12
平成13年度	36	15	14	11	1	77	66	10
平成14年度	36	15	11	10	4	77	71	5
平成15年度	36	15	11	9	5	76	65	10
平成16年度	36	19	10	2	10	77	66	9
平成17年度	36	19	8	2	12	77	66	10
平成18年度	36	18	8	5	10	77	65	10
平成19年度	36	24	8	－	1	70	59	10
平成20年度	43	26	7	－	1	77	66	10
平成21年度	36	33	7	－	1	77	66	10
平成22年度	36	35	2	4	1	77	73	4
平成23年度	36	24	6	7	4	77	66	10
平成24年度	36	28	5	6	1	77	66	10
平成25年度	36	35	0	4	2	77	70	6
平成26年度	36	33	6	1	1	77	75	1
平成27年度	36	34	6	0	1	77	73	3
平成28年度 (12月末現在)	26	23	1	3	0	49	47	2

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は万実トン。

注： 1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 万実トンと万玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

## (2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成28年度)

(単位：トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成28年4～6月分	15,460	平成28年4～7月分	2,910
4月分	300	平成28年8～11月分	3,221
5月分	875	平成28年12～平成29年3月分	
6月分	1,612		
7～9月分	24,101		
7月分	426		
8月分	676		
9月分	953		
10～12月分	20,437		
10月分	718		
11月分	2,972		
12月分	3,445		
平成29年1～3月分			
1月分			
2月分			
3月分			
小計	71,975	小計	6,131
合計	78,106		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

## (3) SBS輸入米の見積合わせ結果(平成28年度)

(単位：実トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成28年9月7日)	一般米	5,266	508	80		36		1,526		7,416
	砕精米	2,356	100	300	144	100				3,000
第2回 (平成28年12月16日)	一般米	5,169	576	538		600		1,501		8,384
	砕精米	2,600	100	300						3,000
合計	一般米	10,435	1,084	618	0	636	0	3,027	0	15,800
	砕精米	4,956	200	600	144	100	0	0	0	6,000
平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計 (参考)	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000
平成25年度計 (参考)	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	1,326	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	100	0	4,316
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	2,244	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	150	0	16,452

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成23～28年度

## VIII その他

### (1) 水稲うるち玄米の農産物検査結果

- 平成28年産水稲うるち玄米の平成28年12月31日現在の検査数量は、前年産の同月と比べ+2%の421万トン。
- 1等米比率については、前年産より+1.1ポイントの84%。

#### ① 検査数量の推移（累計）

単位：千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
24	13	223	1,732	3,750	4,156	4,313	4,411	4,532	4,657	5,041
25	23	265	1,869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
26	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	4,869
参考:前年比	93%	96%	86%	93%	93%	93%	93%	93%	93%	92%
28	18	231	1,656	3,564	4,036	4,212				
参考:前年比	161%	105%	108%	102%	102%	102%				

注：1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

#### ② 検査数量及び等級比率（年産別）

単位：トン、%

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27	4,868,582	4,016,682	687,771	82,654	81,475	82.5	14.1	1.7	1.7
28(注2)	4,212,317	3,520,278	584,832	58,301	48,906	83.6	13.9	1.4	1.2

資料：農林水産省とりまとめ

注：1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 28年産米については、平成28年12月31日現在（速報値）。

## (2) 平成28年産水陸稲の作付面積及び収穫量

全 国 都 道 府 県	水 陸 稲 計		水				
	作付面積 (子実用)	収 穫 量 (子実用)	作付面積 (子実用) ①	10 a 当たり 収 量 ②	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別		
					10 a 当たり 収 量 ③	10 a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④
	ha	t	ha	kg	kg	kg	
全 国 (1)	1,479,000	8,044,000	1,478,000	544	531	517	103
北 海 道 (2)	105,000	578,600	105,000	551	536	524	102
青 森 (3)	42,600	257,300	42,600	604	590	569	104
岩 手 (4)	50,300	271,600	50,300	540	530	519	102
宮 城 (5)	66,600	369,000	66,600	554	542	517	105
秋 田 (6)	87,200	515,400	87,200	591	577	554	104
山 形 (7)	65,000	395,200	65,000	608	597	578	103
福 島 (8)	64,200	356,300	64,200	555	538	526	102
茨 城 (9)	70,000	362,500	69,300	521	509	516	99
栃 木 (10)	57,600	316,900	57,400	551	541	528	102
群 馬 (11)	15,400	77,800	15,400	505	489	479	102
埼 玉 (12)	31,700	156,600	31,700	494	481	475	101
千 葉 (13)	55,800	305,900	55,700	549	538	525	102
東 京 (14)	152	629	151	415	406	401	101
神 奈 川 (15)	3,120	15,400	3,120	495	484	478	101
新 潟 (16)	116,800	678,600	116,800	581	565	524	108
富 山 (17)	38,100	215,600	38,100	566	555	525	106
石 川 (18)	25,600	136,700	25,600	534	525	504	104
福 井 (19)	25,100	134,300	25,100	535	518	499	104
山 梨 (20)	4,990	27,300	4,990	547	537	532	101
長 野 (21)	32,700	204,000	32,700	624	615	609	101
岐 阜 (22)	22,200	107,900	22,200	486	476	478	100
静 岡 (23)	16,000	84,000	16,000	525	519	513	101
愛 知 (24)	27,700	144,300	27,700	521	512	499	103
三 重 (25)	27,600	144,100	27,600	522	511	488	105
滋 賀 (26)	31,900	170,300	31,900	534	525	506	104
京 都 (27)	14,800	76,400	14,800	516	507	501	101
大 阪 (28)	5,310	26,800	5,310	505	491	480	102
兵 庫 (29)	37,000	185,400	37,000	501	490	489	100
奈 良 (30)	8,710	45,700	8,710	525	512	500	102
和 歌 山 (31)	6,720	34,100	6,720	507	496	484	102
鳥 取 (32)	12,700	66,300	12,700	522	515	504	102
島 根 (33)	17,700	93,500	17,700	528	521	500	104
岡 山 (34)	30,400	162,000	30,400	533	521	515	101
広 島 (35)	24,100	128,000	24,100	531	523	512	102
山 口 (36)	21,000	107,500	21,000	512	502	492	102
徳 島 (37)	11,700	57,300	11,700	490	487	469	104
早 期 栽 培 (38)	4,470	21,500	4,470	480	478	459	104
普 通 栽 培 (39)	7,180	35,700	7,180	497	494	475	104
香 川 (40)	13,200	67,100	13,200	508	504	493	102
愛 媛 (41)	14,200	72,100	14,200	508	501	493	102
高 知 (42)	11,800	54,000	11,800	458	456	454	100
早 期 栽 培 (43)	6,580	31,600	6,580	481	479	476	101
普 通 栽 培 (44)	5,180	22,200	5,180	428	425	427	100
福 岡 (45)	36,000	180,400	36,000	501	481	479	100
佐 賀 (46)	24,800	129,200	24,800	521	504	503	100
長 崎 (47)	12,000	59,500	12,000	496	481	462	104
熊 本 (48)	33,800	178,100	33,800	527	508	497	102
大 分 (49)	21,300	107,400	21,300	504	481	480	100
宮 崎 (50)	16,800	83,700	16,800	498	485	483	100
早 期 栽 培 (51)	...	...	6,730	461	454	470	97
普 通 栽 培 (52)	...	...	10,000	523	505	491	103
鹿 児 島 (53)	21,000	101,400	21,000	483	467	469	100
早 期 栽 培 (54)	...	...	4,610	429	416	434	96
普 通 栽 培 (55)	...	...	16,400	498	481	479	100
沖 縄 (56)	785	2,270	785	289	286	305	94
第 一 期 稲 (57)	560	1,970	560	351	348	365	95
第 二 期 稲 (58)	225	306	225	136	132	161	82

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。
- 3 全国の収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 4 (参考)の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10 a 当たり収量、④10 a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、各全国農業地域に所在する農家等が使用しているふるい目幅について、その目幅が大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

収 穫 量 (子実用) ⑥=①×②	稲		陸 稲				
	参 考		作付面積 (子実用)	10a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量 (子実用)	(参 考) 10a 当 たり 平均収量 対 比	
	主食用 作付面積 ⑦	収 穫 量 (主 食 用) ⑧=⑦×②					
t	ha	t	ha	kg	t	%	
8,042,000	1,381,000	7,496,000	944	218	2,060	94	(1)
578,600	99,000	545,500	-	-	-	nc	(2)
257,300	36,800	222,300	2	198	4	79	(3)
271,600	47,100	254,300	x	x	x	x	(4)
369,000	63,600	352,300	-	-	-	-	(5)
515,400	69,300	409,600	x	x	x	x	(6)
395,200	56,800	345,300	-	-	-	-	(7)
356,300	60,100	333,600	2	175	4	101	(8)
361,100	67,200	350,100	652	212	1,380	91	(9)
316,300	53,600	295,300	232	239	554	103	(10)
77,800	14,100	71,200	7	157	11	97	(11)
156,600	31,200	154,100	4	139	5	103	(12)
305,800	53,900	295,900	31	246	76	134	(13)
627	151	627	1	160	2	119	(14)
15,400	3,110	15,400	5	207	10	119	(15)
678,600	101,500	589,700	2	230	5	105	(16)
215,600	33,800	191,300	-	-	-	nc	(17)
136,700	23,200	123,900	-	-	-	nc	(18)
134,300	23,600	126,300	-	-	-	nc	(19)
27,300	4,940	27,000	-	-	-	nc	(20)
204,000	31,700	197,800	-	-	-	nc	(21)
107,900	21,700	105,500	-	-	-	-	(22)
84,000	15,800	83,000	1	217	1	103	(23)
144,300	26,900	140,100	-	-	-	-	(24)
144,100	27,000	140,900	-	-	-	-	(25)
170,300	30,200	161,300	-	-	-	nc	(26)
76,400	14,300	73,800	-	-	-	-	(27)
26,800	5,310	26,800	-	-	-	nc	(28)
185,400	35,400	177,400	-	-	-	nc	(29)
45,700	8,680	45,600	-	-	-	nc	(30)
34,100	6,720	34,100	-	-	-	nc	(31)
66,300	12,500	65,300	-	-	-	nc	(32)
93,500	17,300	91,300	-	-	-	nc	(33)
162,000	29,200	155,600	-	-	-	nc	(34)
128,000	23,400	124,300	-	-	-	nc	(35)
107,500	19,800	101,400	-	-	-	nc	(36)
57,300	11,500	56,400	-	-	-	-	(37)
21,500	...	...	-	-	-	nc	(38)
35,700	...	...	-	-	-	nc	(39)
67,100	13,200	67,100	-	-	-	nc	(40)
72,100	14,200	72,100	-	-	-	nc	(41)
54,000	11,600	53,100	-	-	-	nc	(42)
31,600	...	...	-	-	-	nc	(43)
22,200	...	...	-	-	-	nc	(44)
180,400	35,400	177,400	-	-	-	nc	(45)
129,200	24,600	128,200	-	-	-	nc	(46)
59,500	12,000	59,500	-	-	-	-	(47)
178,100	32,500	171,300	0	139	0	99	(48)
107,400	21,100	106,300	-	-	-	-	(49)
83,700	15,500	77,200	1	113	1	56	(50)
31,000	...	...	...	...	...	nc	(51)
52,300	...	...	...	...	...	nc	(52)
101,400	20,200	97,600	3	143	4	67	(53)
19,800	...	...	...	...	...	nc	(54)
81,700	...	...	...	...	...	nc	(55)
2,270	785	2,270	-	-	-	nc	(56)
1,970	...	...	-	-	-	nc	(57)
306	...	...	-	-	-	nc	(58)

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

6 陸稲の(参考)10a当たり平均収量対比とは、10a当たり平均収量(原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

## (別冊)「資料編」の目次

I	在庫情報	
	平成26・27年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成27年7月末から28年6月末) (速報)	1
II	米の価格情報	
	業者間取引の状況	12
	① 日本コメ市場 (随時取引の結果)	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス (取引会の結果)	
	③ (株)加工用米取引センターの取引結果	
	④ 米の現物市場の状況	
III	主食用米以外 (輸出を含む)	
	(1) 加工用米及び新規需要米の取組状況等	15
	① 加工用米の生産量	
	② 新規需要米の用途別認定状況	
	③ 加工用米・新規需要米等の取組状況 (平成28年産、都道府県別)	
	(2) 飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	17
	(3) 政府備蓄米の運営	18
	備蓄米の買入入札の結果 (落札実績) (平成23~28年産)	
	(4) 商業用の米の輸出量及び金額の推移	19
	(5) 主な増加要因 (輸出業者等からのヒアリング結果による)	20
	(6) 米菓の輸出量及び金額の推移	21
	(7) 日本酒 (清酒) の輸出量及び金額の推移	22
IV	消費動向	
	(1) 米の消費動向 (米穀機構による調査)	23
	(2) 小売価格の推移 (POSデータ、主な銘柄)	26
V	その他	
	(1) 米取引関係者の判断 (米穀機構による調査、平成29年1月分)	27
	(2) 平成27年産水陸稲の収穫量	32
	(3) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移 (全国)	35
	(4) 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量 (子実用) の年次別推移	35
	(5) 麦・大豆の需要情報	37
	① 29年産麦の産地別銘柄別入札結果	
	② 27年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
	(6) 野菜等の需給情報	43
	(7) 米の安定取引研究会報告書の概要	45

米に関するマンスリーレポート (本編・資料編) は、農林水産省のホームページからご覧いただけます。

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>



## マンスリーレポートに関する問い合わせ先一覧

### 【農林水産省】

問い合わせ先	連絡先
政策統括官付農産企画課 ・企画班（林） ・米穀需給班（佐々木・石田・萱場）	03-6738-8973

### 【地方農政局等】

問い合わせ先	連絡先
北海道農政事務所 生産経営産業部 生産支援課	011-330-8807
東北農政局 生産部 生産振興課	022-221-6169
関東農政局 生産部 生産振興課	048-740-0100
北陸農政局 生産部 生産振興課	076-232-4302
東海農政局 生産部 生産振興課	052-223-4623
近畿農政局 生産部 生産振興課	075-414-9020
中国四国農政局 生産部 生産振興課	086-224-9411
九州農政局 生産部 生産振興課	096-300-6224
内閣府沖縄総合事務局 農林水産部 生産振興課	098-866-1653

### 【米に関する情報の公表をメールマガジンでお知らせしています！】

農林水産省では、米に関する各種情報を皆さまにお伝えできるよう「米に関するメールマガジン」を発刊しております。

当該メールマガジンにご登録いただくことにより、農林水産省が毎月公表している「相対取引価格・数量」「契約・販売状況」「民間在庫の推移」などの情報に加え、米に係る各種資料について、公表後、直ちにメールでお知らせいたします。

メールマガジンの配信につきましては、農林水産省ホームページからご登録ください。

#### 【メールマガジン配信登録】

農林水産省ホーム > 報道広報 > メールマガジン

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>